

官報

號外

明治二十九年三月二十五日

水曜日

內閣官報局

第九回衆議院議事速記録第四十五號

明治二十九年三月二十四日(火曜日)午後一時二十七分開議

議事日程 第四十五號 明治二十九年三月二十四日

午後一時開議

- 第一 臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法 第一讀會ノ續(特別委員)
臺灣總督府所屬雇員ニ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ヲ適用スルノ法 第一讀會ノ續(特別委員)
律案(政府提出)
- 第二 明治二十七年豫備金支出ノ件(政府提出)
承諾ヲ求ムル件(特別委員)
- 第三 明治二十七年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件(政府提出承諾ヲ求ムル件)
豫備費支出ノ件(政府提出承諾ヲ求ムル件)(特別委員)
- 第四 明治二十七年各特別會計東京大阪兩砲兵工廠外支出ノ件(政府提出承諾ヲ求ムル件)
豫國及朝鮮國在留日本人取締法案(鈴木充美君外一名提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第五 帝國圖書館設立ノ建議案(鈴木充美君外三名提出)
棉作改良獎勵費豫算案ニ關スル建議案(喜多川孝經君外二名提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第六 牛痘苗製造業者處分ニ關スル建議案(脇坂行三君外三名提出)
- 第七 絹織物保護建議案(久保九兵衛君外三名提出)
- 第八 水產傳習所官設建議案(改野耕三君外五名提出)
- 第九 測候所増設ニ關スル建議案(濱田儀一郎君外二名提出)
- 第十 天氣豫報暴風警報ヲ全國ニ普及スル建議案(多田作兵衛君外二名提出)
- 第十一 高等學校ヲ獨立セシムルノ建議案(波多野傳三郎君外五名提出)
- 第十二 義勇兵團設置建議案(直原守次郎君外一名提出)
- 第十三 別格官幣社ヲ臺灣ニ建設スルノ建議案(北原信綱君外二名提出)
- 第十四 水火消防組ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(特別委員)

- 第十九 山形縣下郡界變更法律案 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第二十 日光山社殿修繕ニ關スル請願(請願委員)
- 第二十一 大和國古社寺保存ニ關スル請願(請願委員)
- 第二十二 家祿賞典祿處分法案 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第二十三 明治二十七年法律第二十號中改正法律案 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第二十四 鐵道敷設上本位軌道採用ニ關スル建議案(特別委員)
- 第二十五 廣軌鐵道ニ關スル建議案(特別委員)
- 第二十六 明治二十二年法律第十號改正法律案(片岡健吉君外八名提出) 第一讀會
- 第二十七 臺灣調查ノ建議案(目黒貞治君外四名提出)
- 第二十八 炭量調査所設置ニ關スル建議案(藤金作君提出)

○議長(楠本正隆君) 諸君、是ヨリ諸般ノ報告ヲ爲シマスル

(佐脇書記官朗讀)

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

明治二十九年年度歲入歲出總豫算追加案

明治二十九年年度特別會計歲入歲出豫算追加案

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スルモノ

政府委員左ノ通り仰付ラレタル旨內閣總理大臣臨時代理黑田樞密院議長ヨリ通牒アリ

農商務省所管事務政府委員

貴族院ニ於テ營業稅法案、民法中修正案、葉烟草專賣法案、烟草稅則中改正法律案、酒造稅法案、自家用酒稅法案、混成酒稅法案、沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案、明治十九年勅令第六十一號稅率改正法律案、登錄稅法案、事業公債條例案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリ

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

飯匙蛇毒醫學研究並ニ該蛇懸賞捕獲ニ關スル建議案

提出者 大島 信君

米原敦賀間鐵道柳ヶ瀬隧道改修及水害補助ニ關スル建議案

提出者 小畑岩次郎君

波多野傳三郎君外三十二名ヨリ區裁判所出張所設置ノ請願ヲ會議ニ付スヘキノ要求アリ

特別委員左ノ通り指名セリ

蠶種檢査法案審查特別委員

朝倉 親爲君

堀内 賢郎君

加賀美嘉兵衛君

松尾 寛三君 中村 彌六君 久保田 右作君
小畑 岩次郎君 佐藤 忠望君 中村 克昌君
輸出羽二重検査所法案審査特別委員
荒井 啓五郎君 小室 重弘君 大原重右衛門君
金岡又左衛門君 久保 九兵衛君 竹村 藤兵衛君
島村 成達君 坪田 仁兵衛君 松田 吉三郎君

議長(楠本正隆君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

○加賀美嘉兵衛君(二百八十八番) 鐵道工費豫算ニ關スル兩院協議會ノ報告
ヲ此場合ニ於テ致シタウゴザイマス

議長(楠本正隆君) 登壇ヲ促シマス

(加賀美嘉兵衛君演壇ニ登ル)

○加賀美嘉兵衛君(二百八十八番) 鐵道工費豫算ニ關スル兩院協議會ノ結果
ヲ規則ニ依リマシテ、協議委員會中ヨリ報告ノ任ニ本員ガ命ゼラレマシテ、茲
ニ報告致シマス。協議會ノ正副議長ハ、前回ニ申上ゲマシタル通デゴザリ
マス。本日ハ午前九時カラ此會ヲ開キマシテゴザリマス。衆議院ノ方
ハ梶山鼎介君ガ議長席ニ著カレマシテ、議事ヲ整理致サレマシテゴザリ
マス。其結果ハ貴族院回付ノ案ニ對シマシテ、或ハ貴族院ノ修正致シマシ
所ヲ入レ、或ハ多少ノ修正ヲ致シマシタル部分モゴザリマス。其巨細ノ事
ハ、詰リ書記官ノ方カラ朗讀ニナルデアラウト思ヒマス。茲ニ其大要ヲ
申上ゲマス。特別會計豫算ノ第一條ノ中「其」ト云フ字ノ下ヘ「ノ」ノ字ヲ
入レコトハ、ツレカラ「乙」號ノ通り「ト」字ヲ「リ」ノ字ヲ削リ
ト云フコトハ、孰モ貴族院ノ修正ニ同意致シマシテゴザイマス。ツレカラ總
テ此豫算案中ニ書イテアリマス。所ノ「神奈川名古屋間」トアリマス。ハ、
鐵道敷設法ノ決議ノ結果ト致シマス。總テ「八王子名古屋間」ト云フコトニ
改メマシテゴザリマス。金額ノ上ニ於キマシタル、稍、修正ヲ加ヘタ處ガ
ゴザリマス。又急ヲ要シマス。餘リ數字ノ事デゴザイマス。カクド、シクモゴザ
マス。其概略ダケヲ申上ゲマス。詰リ三十五年、三十六年度中ノ八王子、
名古屋間ニ關スル中央鐵道ノ工費ニ關スル分ヲ削除致シマシタルデゴザリ
マス。其結果ト致シマシテ、二十五年、二十六年度ノ豫算ノ金額ガ減リマ
シテ、其波及スルタメニ其總額ガ減ズルコトニ爲リマシタル、即チ總額ハ五千
九百九十二万六千六百六十三圓ト云フコトニ爲リマス。隨ッテ其内譯モ殘ラズ改
テ參リマス。デゴザリマス。此金額ヲ修正致シマシタル事ニ就イテハ、
一言致サナケレバナラヌコト。心得マス。抑、此案ニ就イテ兩院ガ衝突致
シマシタルハ、八王子、神奈川間ノ鐵道ヲ官設ニスルカ、或ハ民設ニスルカ
ト云フ事柄モ外ナリマセヌ。其手續ノ上カラ法律上ノ解釋論モ出テ參リマシ
タガ、其衝突ノ根本ハ、神奈川、八王子間ノ鐵道、官、私何レニスルカト云
フコトニ過ギマセヌ。此衝突ハ不幸ニシテ協議會ニ於テモ纏リマセヌ。又本
會ニ於テモ纏リマセヌ。其結果ト致シマシテ、政府カラ提出致シマシタル鐵道
敷設改正案ハ消滅ニ歸シマシテゴザイマス。其消滅致シマシタルハ、矢張
豫算ニ影響ヲ及シマシテ、其神奈川、八王子間ノ豫算ノ百何万ト云フ金ノ纏
ラヌタメニ其儘局ヲ結ンデシマヒマス。詰リ豫算全部ガ不成立ニ爲ルト

云フコトハ免レマセヌ。僅カ一線路ノ中ノ一局部ノ金額ニ致シテ、百餘万圓
ノ衝突ノタメニ、五大線路ノ六千万圓以上ノ殘ラズ。鐵道工費豫算ガ消滅ニ
爲ルト云フコトハ、協議會員ニ於テモ頗ル憂慮致シマシタル、深思熟考ノ末
ニ、唯今報告致シマシタル通ノ金額ニ修正ヲ致シマシタル次第デゴザイマス。
鐵道敷設法ノ改正案ノ敗レマシタル以上ハ、鐵道敷設法ニ書イテアル所ノ六千
萬圓ト云フ所ノ今日ノ鐵道工費ト云フモノハ存シテ居リマセヌ。サスレバ此
鐵道工費ノ豫算ヲ議定スル場合ニモ、六千万圓ノ範圍内ニ於テ議定セナケレ
バナラヌ事デゴザリマス。神奈川、八王子間ヲ除イテ、尙ホ六千万圓ノ上
ガ七百餘萬圓ノ金額ガ出テ居リマス。六千万圓ノ範圍内ニ之ヲ當嵌メヤウト
スルニハ、何レノ線路ノ中カラ其餘分ナル所ノ金ヲ削リ去ラナケレバナラヌ
ト云フコトニナリマス。其何レノ線路ヲ捨テヤウト致シテ見マシタル所
ガ、孰モ鐵道第一期線ハ國家ノ縱貫線、或ハ縱貫線路ニ連絡致シテ居ル必要
ナ線路デアリマス。ツレ故ニ已ムヲ得ズ中央線ノ一番仕舞ノ、三十五年、
三十六年度ノ中カラ、七百餘萬圓ヲ削リ去リマシテ、六千万圓ノ範圍内ニ嵌
込ムコトニ致シマシタル、其他ノ線路ニ就イテ取捨修正致シマス。協議會
ガ付託サレタル條項以外ニ就イテ決議スルト云フコトハ、權限上如何ト云
フ心配ガ起リマシテ、是ガ協議會員ノ多數ハ差支ナイコト、認メテ居リマス
。併ナガラ成ルベクハ託サレタル權限ノ餘リ廣過ギル解釋ニ致スヨリモ、確
ニ此條項ニ於テ託サレタル條項ノ中デ修正ガ出來ナラバ、ツレガタメ
ニ將來慣例ヲ遺スコト、思ヒマス。唯衝突シタル所ハ中央線ノ一部分デゴザ
イマス。中央線ノ條項ニ就イテ取捨修正致シタルデゴザイマス。デ、唯
此案ノ通ニナリマス。繼續事業ノ中ノ一部分ガ、其豫算ガ未定ニ爲ッテ
居ルト云フコトハ、多少不都合ノ感ハ免レマセヌケレドモ、事今日ノ場合ニ
至リマシテ、動モスレバ五大鐵道ノ工費ガ——其豫算ガ消滅ニ歸スルト云フ
場分デゴザリマス。成ルベク避ケ得ラル、限ハ避ケテ、便法ニ依リナケ
レバナリマセヌ。故ニ斯ノ通ニ修正致シマシタル、此修正ニ就イテハ實行ノ責
ニ當ル所ノ當局者ノ考ハ如何デアアルカト云フノデ、其意見ヲ尋ネマシタル所
ガ、白根遞信大臣其他ノ政府委員モ出席致サレマシタル、此修正通ニシテ一向
差支ナイ、政府ハ此修正ノ通議決ニ爲ッタルコトナラバ、其決議ニ從ッテ實行
致シテ更ニ差支ナイ積デアル、唯此三十五年、三十六年度ノ中央線ノ工費
豫算ハ、次ノ議會ナリ、又其次ノ議會ナリ、何レ他日ノ議會ニ協賛ヲ求メル
コトデアアルカラ、今日ハ此通ノ修正ノ通デ差支ナイト云フコトデゴザイマ
ス。今日運輸交通ノ益ニ必要ナル場合、殊ニ何時今日ノ國家ト致シマシタルハ
鐵道ノ大輸送ヲ煩サナケレバナラヌト云フ場合ニ際シテ、此國家ノ必要ナル
五大鐵道ノ工費豫算ノ協賛ヲ經ルコトニ、縱令一年タリトモ延ビルト云フコ
トハ、頗ル國家ノタメニ憂慮スベキ事柄デアリマス。カクシテ、協議會ハ深ク
茲ニ顧慮スル所カアツテ、本案ノ通修正致シタル次第デゴザリマス。
○星亨君(八番) 一寸協議委員會ノコトニ就イテ御尋致シマスガ、唯今八王
子ヨリ神奈川ノ間ヲ付託サレタル委員ガ其付託サレタル所ノ八王子ヨリ名古屋
屋間ノ經費ヲ削減スルト云フ權ガアルト云フノデ、修正スルト云フコトニ委
員會デハ極ッタルデスカ

○加賀美嘉兵衛君(二百八十八番) 極リマシタカラ、斯様ナ修正ヲ致シマシ

○星亨君(八番) 然ラバ尙ホ承リマスガ、委員會ニ於テ他ノ方ニ於テ修正シ

○加賀美嘉兵衛君(二百八十八番) 他ノ項、例ハ陰陽連絡線トカ、鹿兒島線

○星亨君(八番) 今迄サウ云フヤウナ例ガゴザイマスガ、私ハ例ハアルマイ

○加賀美嘉兵衛君(二百八十八番) 唯今マデノ例ハナイコトデゴザイマス、

○星亨君(八番) 日程變更ノ上デ申シマス

○議長(楠本正隆君) 協議會ノ成案ハ、朗讀ヲ後トデ致サセマスガ、差向議

○議長(楠本正隆君) 多數、加賀美君提出ノ日程變更ノ動議ハ可決セラレマ

(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 此日程變更ニハ討論ヲ用ヒマセヌガ、其前ニ質問ダケ

○星亨君(八番) 日程變更ノ上デ申シマス

○議長(楠本正隆君) 多數、加賀美君提出ノ日程變更ノ動議ハ可決セラレマ

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、加賀美君提出ノ日程變更ノ動議ハ可決セラレマ

(町田書記官朗讀)

乙號

鐵道建設費

金五千九百九拾貳萬壹千六百六拾參圓

鐵道建設費

內
金四百五拾六萬圓
金五千五百參拾六萬壹千六百六拾參圓
此改定年額左ノ如シ
明治二十八年年度
金貳百五拾貳萬圓
金九拾五萬千七百八圓
金九拾六萬八千貳百九拾貳圓
金參拾五萬圓
金貳拾五萬圓
明治二十九年年度
金四百五拾萬圓
金百貳拾萬圓
金百萬圓
金百四拾萬圓
金九拾萬圓
明治三十年年度
金六百七拾七萬七千參百參拾參圓
金百八拾萬圓
金百六拾貳萬七千參百參拾參圓
金百九拾萬圓
金九拾萬圓
金拾五萬圓
金四拾萬圓
明治三十一年年度
金八百九拾四萬七千四百七拾圓
金貳百貳拾萬圓
金貳百九拾萬圓
金百五拾四萬七千四百七拾圓
金六拾萬圓
明治三十二年年度
金八百八拾四萬七千六百七圓
金貳百拾萬圓
金四百六拾萬圓
金五拾四萬六千六百七圓
金百六拾萬圓
明治三十三年年度
金八百七拾四萬參千七百四拾七圓
金貳百四萬參千七百四拾七圓
金四百六拾萬圓
金百五拾萬圓
金六拾萬圓

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道
項 敦賀富山間鐵道
項 八王子名古屋間鐵道
項 篠ノ井鹽尻間鐵道

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道
項 敦賀富山間鐵道
項 八王子名古屋間鐵道
項 篠ノ井鹽尻間鐵道

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道
項 敦賀富山間鐵道
項 八王子名古屋間鐵道
項 篠ノ井鹽尻間鐵道

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道
項 敦賀富山間鐵道
項 八王子名古屋間鐵道
項 篠ノ井鹽尻間鐵道

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道
項 敦賀富山間鐵道
項 八王子名古屋間鐵道
項 篠ノ井鹽尻間鐵道

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道
項 敦賀富山間鐵道
項 八王子名古屋間鐵道
項 篠ノ井鹽尻間鐵道

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道
項 敦賀富山間鐵道
項 八王子名古屋間鐵道
項 篠ノ井鹽尻間鐵道

又、ソレハ總テ實況ニ依ッテ配付スレバ、却テ其當ヲ得ルト云フ考ガゴザイマシタカラ、遂ニ食料ノ方ハ削減致シマシテ、而シテ所謂加俸手當ノ方ニ於テ幾分加増スト云フコトノ順序ヲ取リマシタ、而シテ其結果ハ十萬何ガシト云フ減額ニ爲リマシタ、是ガ大藏省所管ニ於テ削減ノ大體ノ趣意デゴザイマス、ソレカラ次ハ陸軍省所管ニ於テ削減ヲ致シナシタ、ソレハ總テ陸軍省ニ於テハ軍事費ニ於テ十九萬二千六百二圓何ガシ——十九萬二千六百二圓何ガシト云フモノヲ削リ、又憲兵費ト稱スル中六萬三千二百二圓何ガシト云フモノヲ減シマシタ、デ、合セテ二十五萬五千六百五圓何ガシト云フモノ、運搬費ト云フヤウナモノガゴザイマスサウデアリマスガ、其運搬費ノ中二割ヲ減シタノデアアル、ソレハ種々攻究ノ末二割減ズルガ相當ト考ヘテ減シタ、ソレカラ雜給雜費ト云フ中一割ヲ減シタ、是亦實際一割ヲ減ズルヲ相當ト考ヘテ減シタ、サウシテ其結果トシテ、唯今御報告申シタ如ク二十五萬五千六百何ガシト云フモノヲ減ズルコトニ爲ッタ、次ニハ歲出ノ——臨時歲出ノ部分デゴザイマシテ、大藏省所管ニ於テ是モ減シマシタ、是モ臺灣ノ事業費減シタノデアアルガ、僅カ四千何ガシヲ減シタ、是レ亦前申ス如ク、食料ガ矢張這入ッテ居ル、事業ヲスル人ニ對スル食料ガ這入ッテ居ッタノデアアルカラ、ソレヲ、減シテ四千何ガシヲ減シタ譯ニ爲ル、ソレカラ陸軍省ニ就イテハ、臨時軍事費ニ於テ減シテゴザイマス、是ハ臨時軍事費ニ於テ二百七十八萬四千三百七十五圓ト云フモノヲ減シテゴザイマス、此減シタル項ハ鐵道隊ニ於テ減シ、又建築部ニ於テ減シ、兵站屬部ト、兵站部ニ於テ減シ、ソレカラ船ヲ雇上ゲル料ニ於テ減シ、石炭ノ買上代ニ於テ減シ、其結果前申ス二百七十八萬何ガシト云フモノヲ減ズルコトニ爲ッタ、是モ矢張調ベタ上デ斯ウ云フヤウニ減シテ、而シテ臺灣ノ事業ハ吾々ノ希望スルガ如ク出來ルト云フ考ヲ以テ減シマシタモノデゴザイマス、次ニハ海軍省所管ノ中二十三萬三千五百八十餘圓減シタル、以下少シ減シタルヤウニナッテ居ル、デ、此減シタル譯ハ重ニ此船又ハ石炭買入等ニ於テ減シタルノデゴザイマス、重ニ船ノ石炭ノ買入等ニ於テ減シタル、唯今御報告致シマシタ減額ヲ相當ナリトシテ、委員ニ於テハ之ヲ可決致シマシタノデゴザイマス、而シテ尙ホ私ハ諸君ニ希望致シマス、ハ、時期モ切迫致シマシタカラ、願ハクハ吾々ノ功ヲ空シクセラレナイヤウニ、速ニ議事日程ヲ變換サレテ、可決アラントコトヲ希望致シマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 議事日程ノ變更ニ就イテ決議ヲ採リマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 別段御動議ガナクバ、議事日程ハ變更セラレタルモノト決シマス、此ヨリ議題ヲ一應宣告シマス、明治二十九年年度歲入歳出總豫算追加案號、歳入歳出全部ヲ合セテ議題ニ供シマス

(戊)明治二十九年年度歲入歳出總豫算追加

○田中正造君(二百九十番) 私ハ議長ニ少々伺ヒマスルガ——議長ニ伺ッテ、次ニ政府委員ニ聞クノデゴザイマスガ……

○議長(楠本正隆君) 是ハ通告アリマスニ依ッテ、其積デ……
○田中正造君(二百九十番) 私ハ久シク病氣デ引込シテ居リマシタカラ、ツイドウ云フ議事ノ運ビデアッタカラ分ラヌ事ガ大分ゴザイマスガ、此唯今ノ此處ヘ御配付ニ爲リマシタ、此原案ノ文部省ノ事ヤ、何カノ此豫算ノ追加ト云フモノガ配付ニ爲リマシテゴザイマス、一體豫算ノ事ハムツカシイモノデアッテサウチヨイト行カナイモノデアアルカラシテ、凡ツ十五日ト云フモノハ先ツ普通餘地ヲ置イテ、豫算ノ調査ヲシナケレバナライ……

○議長(楠本正隆君) 田中正造君——文部省ノ所管ノ事ハ別問題デアッテ、唯今議題ト爲ッテ居ルノハ大藏省、陸軍省及海軍省ノ所管デアアル

○田中正造君(二百九十番) 例ト云フモノモ、昨日出來タヤウニ爲ッテ居リマス、又前カラサウ云フ例ガアルトシタナラバ、實際ニ於テ明後日閉場スルト云フノハ、今日豫算案ガ出ルト云フヤウデハ、ドウモ私ハ不穩當デアルト思フノデアアリマス、併ナガラ私ハ憲法ヲ取調ベテ言フノデモ何シデモナイ、唯是ガ出タノニ就イテ豫算委員ガ、機敏ナ賢明ナル御方デモ、此議員三百人ガ神ノ如キ者デモ、ドウモ今日豫算ヲ御出シナッテ、之ヲ續イテ議スト云フノドウ云フモノデゴザイマセウカ、先例ガアラウガ、何ガアラウガ、是ハ惡ルイ例デアアルカラ匡スト云フコトニシナケレバナライカト思ヒマスカラ、是ハ唯議長閣下ニ於テ……

○議長(楠本正隆君) 文部省ノ事ハ別問題デアアル、唯今議題ト爲リテ居ル分ハ、時期ノ切迫ヨリシテ、委員長ノ報告ト爲リ、議場之ヲ迎ヘテ、議事日程ハ變更サレマシタ、即チ議會ガ之ヲ速ニ決シタシトノ動議ヲ容レタル結果ト考ヘマス

○田中正造君(二百九十番) 私ノ伺ヒマシタノハ文部省ノ……

○議長(楠本正隆君) 文部省ノハ此議題ニハナイ

○田中正造君(二百九十番) 議題デハゴザイマセヌ、此處ニ是ガ來タカラ、勿論唯今ノニ對シテノ議論ヂヤアナイ、昨日アタリマデハ宜イト云フコトニ爲ッテ居ルノデスカ、サウナライナイノデゴザイマスレバ、昨日決議ニ爲リマシタノハ惡ルイ例デアアルト云フコトダケハ、今日此議會デ述ベテ置カケレバナライ、今日議會ガ閉會ニ爲ルト云フトキニ、此豫算ヲ出スト云フコトハ、隨分ヤリ兼ネナイ手際デアアル、如何ニ議會ガ穩當デ、ズンノ議案ヲ通過スルノハ本年ノ大勢トハ云ヒナガラ、明後日閉場ヲスルト云フ今日ニ爲ッテ豫算案ヲ出スト云フモノハ、何ト議會ヲ心得テ居ルカ、人間タル者ニ出來ルカ、出來ナイカ、官判ヲ捺スナラ出來ル(草刈親明君「捺シタマヘ」ト呼フ)捺セ——何ヲ、汝ニ物ヲ言フノデハナイ、汝ノヤウナ物知ラズニ物ヲ言フノデハナイ、宜シク國家ノ責任ヲ持ッテ鄭重ニ調ベル議員ニ向ッテ言フ、汝ノヤウナ三百ニ言フノデハナイ

○議長(楠本正隆君) 是ハ議題外ノ御質問デアアルニ依ッテ、議長ハ之ヲ許シマセヌ

○中島祐八君(百六十三番) 議長

○議長(楠本正隆君) 通告ニ從ハウト思ヒマスガ、通告ガアリマス、歳出ノ部、大藏省所管ノ第四項ニ對シテ通告ガアリマス——江藤新作君
○中島祐八君(百六十三番) 江藤君ヨリ私ノ方ガ先キニ通告ヲ致シテ置イタ

○議長(楠本正隆君) ツレハ先キデアッテモ條項ガ違ヒマスカラ……
○中島祐八君(百六十三番) 唯今ノ事ハ十九款ノ四項デアリマセヌカ
○議長(楠本正隆君) 大藏省所管ノ十九款ノ第四項
○中島祐八君(百六十三番) 私ノ通告モ十九款ノ第四項デアル
○議長(楠本正隆君) 未ダ議長ノ手許ニ達シマセヌ
(江藤新作君演壇ニ登ル)

○江藤新作君(百八十六番) 私ハ唯今議題ニ上ボッテ居リマス、此歳出經常部、大藏省所管ノ第十九款ノ第四項、製藥所費ト云フノヲ全ク削除シタイト云フノ意見デゴザイマス、此費タル僅ニ百八十五萬幾ラト云フ些々タル金額デゴザイマス、併ナガラ此金額ノ影響スル所、其關係ノ及ス所ノ事ヲ考ヘテ見レバ、誠ニ重大ナルモノデゴザイマス、此項目ニ依ッテ考ヘテ見マズレバ、政府ハ日本ノ國法ヲ以テ嚴禁シテアル所ノ阿片ヲバ、縱令多少ノ制限ハアルニモセヨ、或制限ノ下ニ臺灣ニ於テ許サントスルノ趣意デアルト云フコトハ明デアル、此問題ノ決定如何ニ依リマシテハ、阿片ヲバ先ヅ日本國ノ一部分ニ於テ公許スルト云フコトニ爲ルモノデゴザイマス、此事タル決シテ輕々ニ看過スルコトハナラヌト信ジマスニ依ッテ、願ハクハ私ノ言フ所ヲ暫ク御靜聽ニナツテ、諸君ノ御贊同ヲ望ムノデゴザイマス(簡單ニ願ヒマス)ト呼フ者アリ)固ヨリ簡單ニ言ヒマス、政府ノ人ガ何ヲ以テ臺灣ニ阿片ヲ許スト云フコトニ爲ツタカト云フノニ、承リマスルニハ阿片ヲ喫マセナケレバ、臺灣人ハ此阿片ノ毒ニ罹ツテ居ル癮トカ云フ病氣ヲシテ居ルヤツハ、此阿片ヲ喫マセナケレバ、死ンデシマフ、死ンデシマフニ依ッテ此阿片ヲ許ス、又一ツニハ全ク將來永久ニ之ヲ許スノデハナイ、此阿片ヲ成ルベク價ヲ高クシテ、事實ニ於テ漸々ニ禁止シテ往カウト云フ趣意デアルト云フコトデゴザイマスガ、此事ニ就イデ私ハ考ヘルニ、阿片ヲバ禁ゼント欲スルナラバ、今日創業ノ際ニ於テ禁ジナケレバ、將來一度此阿片ヲ許スト云フ門戸ヲ破ッテ置イタナラバ、將來ニ於テ逆モ之ヲ禁ズルト云フコトハ出來マス、私ハ考ヘルノデアリマス、況ヤ多少ノ制限ハアルニモセヨ、一度阿片喫烟ノコトヲバ臺灣土人ノ或一部ニ許シマシタナラバ、此傳播ノ度ハ如何デアルカト云ヘバ、既ニ今日臺灣ニ在住シテ居リマスル日本ノ軍人軍夫ヲ問ニ、幾ラカ此阿片ヲ喫ム者モアルト云フコトヲ承リマシタ、此傳播ノ勢ヲ以テシマズレバ、此阿片ハ臺灣ノ土人ノミナラズ、日本人ニ是ガ傳リ——臺灣ニアル日本人ニ傳ツタノハ、遂ニハ内地ニモ到ルデアラウ、所謂癮ト云フ病氣ヲヤルヤツハ、獨リ臺灣人ノミナラズ、數十年ノ後ニハ東京ノ真中ニ於テ此癮ト云フヨイノノ病氣ガ出來ルト云フコトニナルカモ知レナイ、政府ハ臺灣人ノ少數ナル小部分ノ人間ヲ救ハシメ、小惠ヲ以テ此阿片ノ禁制ヲ或ル制限ノ下ニ許シタ、其結果ハ遂ニハ日本全國ニ阿片毒ノ蔓延ヲ來タスト云フヲモ願マシテ、斯ノ如キ製藥所杯ト云フ姑息ナル手段ヲ設クルニ至ツタノハ、私ガ誠ニ歎息ニ堪ヘナイ所デゴザイマス、政府ハ臺灣ノ小部分ヲ救フタメニ、日本人ヲバ、四千万ノ同胞ヲバ犠牲ニ供シテモ、此ノ阿片ノ毒ヲ臺灣人ニ喫マシテ、臺灣人ノヨイノノ救フタメニ、日本全國ニ阿片毒ノ傳播スルノヲ願ミナイト云フノハドウ云フ譯デアラウ、又阿片ヲバ全ク此處ニ禁ジテシマヘバ、支那ヨリ必ズ密輸入ガ行レル、密輸入ガ行レルニ依ッテ、此

ニ或制限ノ下ニ許シテ置ク方ガ——斯ウ云フ意見デアリマスガ、併ナガラ政府ノ言フ所ノ之ヲ高價ニ賣ル、高價ニ賣ルデ而シテ段々禁ジテ往クト云フナラバ、高價ニ賣ルナラバ必ズ安キ所ノ阿片ガ支那ノ内地ヨリ輸入シテ來ルト云フコトハ明デアル、サウスレバ政府ガ制限シヤウト云フ趣向ト云フモノハ、全ク立タヌコトニ爲ルデアリマス、政府ガ宋襄ノ仁ニ流レテ、姑息ノ策ヲ取ツテ、遂ニ此阿片ノ毒ヲ今日創業ノ際ニ於テ禁ズルコトガ出來ヌハ誠ニ歎息ニ堪ヘヌ、何故ニ斯ノ如キ事ニ至ツタカト云フコトヲ考ヘテ見マスルニ、政府ハ此臺灣全體ニ對スル經營ノ大方針ガ恐クハ立ッテ居ルマイト私ハ考ヘル、政府ハ如何ナル方針ヲ以テ臺灣ヲ經營セントスルカ、臺灣ヨリ利益ヲ吸收スルタメニ臺灣ヲ經營スルノ方針デアラウカ、或ハ臺灣ヲ以テ日本ノ要領ト爲スト云フ考デアラウカ、今政府ノ爲ス所ヲ以テ見マスレバ、阿片ヲ賣ル、阿片ヲ賣ルデ二百何十萬圓カノ金ヲ得ルト云フカラ考ヘテ見マスレバ、先ヅ政府ノ考デアラウ臺灣ヲ以テ日本ノ營利ノ土地ト爲シ、利益ヲ營ム、日本人ヲシテ利益ヲ營マシムルノ土地ト爲スト云フノ考デアラウカ、果シテ臺灣ヨリ得ル所ノ利益ト云フモノハ幾千デゴザイマス、此阿片ノ拂下代三百五十萬圓ニ、地租其他ノモノヲ加ヘマシテ、六百何十萬圓トカ云フモノ、歲入ガアルト云フコトデアアル、然ルニ歲出ハ幾ラデアアル、歲出ハ千八百萬圓カリノ歲出ニ爲ツテ居リマスガ、是ハ臨時軍事費杯ハ除キ去ツテ、千八百萬圓バカリノ費用ガ入ルノデアアル、僅カ六百萬圓ヲ得ルタメニ千八百萬圓ノ金ヲ費サナケバナラヌト云フナラバ、利益ノ點カラ論ジテ、決シテ割ニ合ハヌト云フコトハ明デアラウト私ハ考ヘル、又此臺灣ガ將來發達シマシテ、今日ノ人口ガ増殖シテ、遂ニハ五六萬ノ人口ニ爲ツテ、又租稅ノ上リ高モ多クナツタト見タ所ガ、先ヅ臺灣ノ面積杯ヲ以テ比較シテ見マスレバ、先ヅ我九州杯ト殆ド匹敵スルモノデゴザイマスガ、九州ノ比例ヲ以テ見レバ、其歲入ハ凡ソ一千万位ニ止ルデアラウト私ハ考ヘルノデアアル、一千万ノ歲入ヲ得ルタメニモ、臺灣ニ向ッテハ一千八百萬圓以上ノ金ヲ費サナケレバナラヌト云フコトナラバ、臺灣ハ日本ノ營利ノ土地ト爲シテ何ノ役ニ立タヌト云フコトハ明カナ事デアアル、又此臺灣ノ土地ヲ得ルガタメニハ日本ハドレダケノ損害ヲ被ツタカト云ヘバ、臺灣ニ向ッテハ殆ド十萬ニ近イ兵ヲ出シ、又此タメニ費シタル所ノ軍事費ト云フモノハ幾千萬圓デアアルカ分ラヌ、又此幾千萬圓ノ軍費、又此臺灣ノ戰爭ノタメニ死ンダ所ノ、病死或ハ戰死ハ殆ド二萬ニ達シテ居ルト云フコトデアアルガ、此二萬ノ人ヲ殺シ、幾千萬ノ軍資ヲ費シ、其上半近衛師團長ノ宮殿下サヘモ失ツテ、斯ノ如キ非常ノ損害ヲ取ツタ臺灣ヨリ、僅ニ六百萬圓ノ歲入ヲ得、千八百萬圓ノ國費ヲ費サナケレバナラヌト云フ、割ニ合ハヌ臺灣ヲ取ツテ、而シテ日本ノ國法ヲ嚴禁シテ居ル阿片マデモ許シテ、臺灣ノヨイノノ病者ヲ養フタメニ、日本ノ國法ヲ破ツテ、日本ニ此毒ノ蔓延スルヲモ願ミヌト云フノハ何デアルカ、本員ニハ少モ分ラナイ所デアリマス、故ニ臺灣ヲ以テ營利ノ土地ト爲セバ、決シテ割ニ合ハヌ處デアアル、故ニ私ガ考ヘルニハ、臺灣ヲバ日本ノ要領ト爲シ、南方ノ領ト爲スト云フ點ヨリ論ジマスレバ、ツレハ或ハ臺灣ハ誠ニ帝國ニ取ツテハ必要ナ場所デアラウ(簡單)ト呼フ者アリ)宜シウゴザイマス、簡單ニ述ベマス、臺灣ヲ斯ノ如ク日本ノ要領ト爲サント致シマスルニハ、一方ニハ臺灣ヲ以テ臺灣人ヲ

日本人種同様に同化シテシマフ、又到底王化ニ服セザル臺灣土人ハ放逐シ
テシマフト云フコトノ策ヲ取ラナケレバナラヌト考ヘル、此策ヲ取ツテ往
カントスレバ、或ハ辯髪ヲ斷タシムルトカ、或ハ阿片ヲ嚴禁シテシマフトカ
云フコトハ必要デアル、然ルニ斯ノ如キ姑息ナル手段ヲ以テ、阿片ヲ許シ、
臺灣ノ野蠻ヲ養フテ置イテ、其タメニ國法モ破リ、而シテ此臺灣ガ何ニナル
カ、要領ニハナラヌノデアル、臺灣ヲシテ日本ノ南方ノ鎮ト爲サシメントス
ルナラバ、速ニ彼ヲシテ我王化ニ服セシメ、日本ノ風俗人情同様に、臺灣ノ
土蠻ヲ爲サシムルト云フコトガ必要デアル、ソレデ今日ニ於テ阿片ヲ禁
ジ、此阿片ヲ禁ズルタメニ死シマフトカ、或ハ支那ノ内地ニ往ツテシマ
フトカ云フヤウナヤツハ、我日本ノ領土内ニ置イテ、何ノ必要モナイ人間
デアリマスカラ、斯ノ如キ者ハ早ク死シテシマフカ、若クハ支那ノ内地ニ逃
込シテシマフガ、私ハ却テ宜カラウト考ヘルノデアル、此先キノタメニ論
ジマシテモ、今日ハ阿片ヲ嚴禁スルト云フノハ、帝國百年ノ長計ヲ定メルタ
メニ誠ニ必要デアル事デアルト考ヘルノニ、政府ハ如何ナル情實ノタメニ糾
サレタノカ、斯ノ如キ事ヲ、製藥所費ヲ云フ姑息ナル手段ヲ以テ、阿片毒
ヲ此ニ養ハントスルノハ如何ナル事デアルカ、私ハ少モ解シナイ所デゴザイ
マス、殊ニ伊藤總理大臣ハ何ト云ハレタノデアリマス、馬關談判ノ際ニ李
鴻章ニ向ツテ、此阿片ハ臺灣ニ向ツテ斷然ト禁ジテ御覽ニ入レルト云フコト
ヲ公言セラレタト云フコトデアル、其舌ノ根ノ未ダ乾カヌ中ニ、今日ニ於テ
製藥所費ヲ云フ姑息ナル手段ノ下ニ此阿片ノ毒ヲ許スト云フノハ、彼ガ平生
ノ誠ニ倫安姑息ナル手段ト云ヒナガラ、誠ニ國家ノタメニ私ハ慨歎ニ堪ヘ
ヌコトデアリマス、故ニ(惡ルイ事ハ分ツテ居ル)ト呼フ者アリ(惡ルイ事ガ
分ツテ居ルナラバ贊成ナサレ...)故ニ今日ニ於テ、此阿片ノ毒ヲ今日創業ノ
際ニ於テ斷然トシテ禁止シテシマフト云フ方針ヲ取ルト云フコトハ、誠ニ必
要デアルト考ヘルマスニ依ツテ、此十九款ノ第四項ノ製藥所費百八十万幾ラ
ト云フ金額ヲ全然削除シタイト云フノ意見ヲ提出致シマス、願ハクハ諸君ノ
贊同ヲ望ミマス

○議長(楠本正隆君) 中島祐八君

(早川龍介君) 此次ノハ贊成デスカ、反對デスカ「ト呼フ」
(中島祐八君演壇ニ登ル)

○中島祐八君(百八十二番) 諸君、私モ唯今江藤君ノ御議論ト同様デア
テ、此十九款ノ第四項ト、ソレト臨時部ノ第十款、臺灣事業費ノ中カラ六万
五十圓ヲ減ズル、ソレト此阿片ニ關スル所ノ歳入ヲ悉ク削除スルト云フノ意
見デアリマス、併ナガラ昨日來此議場ノ趨勢ヲ見マスレバ、此議事日程ガ昨
日俄ニ變更サレテ、豫算案ノ討議ニ移リマス、此十有幾ノアル所ノ追加
豫算ガ、實ニ一瞬間ニ結了サレテシマッタ、思フニ昨日ハ俄ニ日程ガ變更
サレタコトデアリマスカラシテ、豫算委員ヲ除クノ外ハドナタモ豫算案ヲ御
携帶ニハナルマイト思フ十有幾ノ追加豫算ヲ悉ク諸君ガ御記憶ニ爲ツテ居
ル事デアル、御諸君ニ爲ツテ居ル事デ、實ニ私ハ驚入ツタ次第デアル、議場
ノ有様デス様デアリマスカラシテ、茲ニ此修正動議ヲ提出致シタ所ガ、到底
多數ノ御贊成ハアルマイト思フ、併ナガラ江藤君モ述ベラレル通、將來ニ重
大ノ關係ヲ持ツテ居ルモノデアリマスカラシテ、聊カ吾々ノ意思ヲ明ニシテ

置カウト思フ、此阿片ノ事ニ就キマシテハ、委員會ニ於テモ大略其意見ヲ申
述ベテ置イタ、此事ハ今日斷然禁止スベキモノデアツテ、決シテ私ハ姑息ノ
政策ヲ施スモノデアルマイト思フ、先日來委員會ニ於テ段々此事ヲ政府委員
ニ尋ネテ見マス、政府ニ於テモ矢張禁止スルト云フ所ノ見込デアアル、併
ナガラ今日遽ニ禁ズルコトノ出來ナイト云フモノハ、此阿片ノ害毒ニ一日罹
タモノハ、之ヲ斷然禁ジテシマヘバ、所謂癮毒トカ云フモノニ罹ツテ、却テ
死ヲ早メル故ニ、已ムヲ得ズ藥用阿片トシテ、其害毒ニ罹ツタモノニ拂下ゲ
ルト云フコトデアアル、又今日遽ニ之ヲ禁ジテモ、到底密輸入ト云フモノハ防
グコトガ出來ナイ、ソレ故ニ民政局長ニ於テ拂下ゲテ、サウシテ早晩禁止スル
方法ヲ執ルト云フコトデアリマス、如何ニモ其目的ハ至極宜シイ、併ナガラ
斯様ナ手段デアラナラバ、到底其目的ヲ達スルコトハ出來ナイト思フ、如何ナ
ル時期ニ及ンデモ、此阿片ノ害毒ヲ絶ツト云フコトハ決シテ出來得ナイ事デ
デアラウト考ヘル(止メタマヘ、分ツテ居ル)ト呼フ者アリ(暫ク罵詈ヲ御止メ
ナサイ)(罵詈ナコトハナイ、分ツテ居ル、止メタマヘ)ト呼フ者アリ(抑
此密輸入ヲ防グコトガ出來ナイト云フコトデアラナラバ、縱令民政局長此害
毒ニ罹ツタ者ニ限ツテ拂下ゲテ、追々ニ禁止スルト云フコトニシテモ、決
シテ其效ノナイ事デアアル、即チ密輸入ガ行レルナラバ、民政局長カラ拂下ゲ
トシタ處ガ、彼等ノ社會ハ決シテ此煩雜ナル所ノ手數ヲ掛ケ、高價ヲ拂ッ
テ民政局長カラ買フ者ハナイ、皆此密輸入ノモノヲ使フト云フコトハ必然ノ事
デアラウト思フ、故ニ彼等ノ間ニハ此密輸入ニ依ツテ、依然トシテ用ヒラレ
居ツテ、民政局長ガ早晩禁止スルト云フ所ノ目的ハ、決シテ達シ得ルコトハ出
來ナイコトデアラウト考ヘル、少シク皮肉ノ言カハ知レマセヌケレドモ、却
テ民政局長ガ此製藥所ナルモノヲ設ケテ、阿片ヲ拂下ゲルト云フコトニシマス
ルナラバ、一斤若干ノ利益ヲ得テ、サウシテ此臺灣ノ經費ノ一部分ニ充テ
ルト云フコトニ爲ルノデアリマス、吾々ハ斯様ナ收入ヲ斷然シテ排斥シナケ
レバナラナイコトデアルト考ヘル、併ナガラソレモ一時ノ事デアツテ、早晚其
目的ヲ達シ得ラレル事デアラナラバ宜シイ、マダ忍ブコトガ出來マスケレ
ドモ、前ニ述ベマシタ通、密輸入ヲ防グコトガ到底出來ナイ、出來ナイノミ
ナラズ、尙ホ一方ニハ民政局長買取レルト云フ便利ノアル事デアリマスカラ
シテ、彼等ノ社會デハ何時マデモ用ヒラレテ居ル所謂此阿片ノ害毒ニ罹ルモ
ノガ大ニ増加スルモ、決シテ減ズルコトハナイ事デアラウト思フ、獨リ減ズ
ルコトノナイノミナラズ、追々日本人トノ交際モ頻繁ニ爲ルコトデアリマス
ルカラシテ、必ズ日本人ノ中ニモ此害毒ニ罹ル者ガアルコトデアラウト思
フ、若シ果シテ吾々同胞ノ中ニ此害毒ニ罹ルヤウナ者ガアルコトニ爲リマシ
タナラバ、實ニ私ハ將來最モ恐ルベキ所ノ深憂デアルト考ヘル、ソレ故ニ如
何ナル處置ヲ取リマシテモ、又如何ナル嚴刑酷律ヲ用ヒマシテモ、此阿片ヲ
使用スル者ニ向ツテハ、嚴酷ナル所ノ處置ヲ施サナケレバナラヌコトデア
ラウト思フ、斯様シマシタナラバ、サウ嚴酷ナ事ヲスルノハ、新領土ノ民心ヲ
收攬スルノ策デナイ、即チ彼等ヲ撫育スルニハ、多少寛容スルコトガナケ
レバナラヌト云フ御議論モアルカハ知レマセヌケレドモ、今日却テ此姑息ノ政
策ヲ施シマスノハ、將來ノ大逆政ヲ施スノト同様ナ結果ヲ來スコトデアリマ
スカラシテ、私ハ今日ニ於テ斷然タル所ノ處置ヲ取ツテ、縱令彼等ノ社會ヲ

舉テ犧牲ニ供セシメ、彼等ノ社會ヲ絶滅スルモ、此阿片ノ害毒ト云フモノハ、斷然今日ニ杜絶セシメナケレバナラヌコトデアルト信ズル、ソレ故ニ阿片ニ關スル所ノ歲出入ハ、悉ク删除シタイト云フ意見デアリマス

○早川龍介君(二百一十一番) 私ハ之ニ就イテ賛成ノ意ヲ述ベヤウト思フ、一寸一言申シタイ、江藤新作君ノ千八百萬圓ヲ出シテ、サウシテ六百萬圓ノ利ヲ得ラレト云フ說ニハ、千八百萬圓ヲ年々二十年三十年出シテ、六百萬圓得テ居ルト云フ譯デハナイ、唯是ハ經營ノ策ニ起ツタ事デ、或ハ二年三年ノ間此臺灣ヲ經營スルノ間ノ費用デアルト云フコトヲ一言述ベテ置キマス、阿片ノ事ヲ唯今述ベラレマシタガ、是ハ世故形勢ニ通曉シタ人間ヲシテ、而シテ其病者ヲ救フタメニ、殊ニ國庫ノ收益ガアルト云フ非常ナル明案ト拙者ハ考ヘル、故ニ拙者ハ之ニ大賛成デアル

(政府委員辦理公使水野遵君演壇ニ登ル)

○政府委員(水野遵君) 討論終局ノ前ニ一言一寸申シマス、長イ事ハ申上ゲマセヌ、阿片ノ事ト、サウシテモウ一ツアリマスルデ、一ツ申シマス、短クヤリマス、阿片ハモウ別段ニ唯今御説ニ反對スルモノデゴザイマセヌ、政府ノ方モ嚴禁スルノ目的デアリマス、而シテ其事柄ハ數回豫算委員會ニ於テ述ベマシテゴザイマスルガ故ニ、諸君ハ定テ速記録デ御承知ト信ジマスルデ、相述ベマセヌガ、一ツ此處デ申シテ置カシナラヌハ、阿片ノ病ニ罹ルテ居ル、癮ニ苦ンデ居ル者ヲ、政府ハ宋襄ノ仁ヲ以テ、之ヲ救フガタメニ阿片ヲ輸入スルト云フコトガ、江藤君及中島君ノ御立論ノ骨子ノヤウニ伺ヒマシタ、政府ハサウデヤナイ、嚴禁スルニ就イデハ、中ニハ死ンデモ喫マナケレバナラヌト云フ者ガアツテ是ガ密輸入ノ導ニ爲ツテハ相成ラヌ、故ニコレニハ喫マシテヤツテ、其他ノ者ニハ嚴禁ヲ致ス、矢張嚴禁ヲスベキハ嚴禁ヲシテシマツテ、ソレデ宜シイ、後トノ者ダケハ政府デ取締ヲシテ喫マシテ、是モ漸次三十年位デハ、モウナクナツテシマフデアラウト思フ、兩君ノ御説ハ、誠ニ愉快ハ愉快デアルケレドモ、如何ナル方法ヲ以テシテモ嚴禁シナケレバナラヌ、其如何ナル方法ト云フコトハ、大變當局者ハ苦デ、苦ミヌイタ上、即チ今日豫算ニ提出シテアリマスル費用ヲ要スルノデアリマス、是デ、阿片ノ事ハ申シマセヌ、唯若シ是ガ出來ヌヤウニナリマス、阿片ヲ禁ゼントシテ却テ阿片ノ病毒ヲ蔓延セシムル、何トナレバ、支那ノ内地ノ方ヨリハ漸ク百哩バカリデ、ヒヤン／＼デモ何デモ持ツテ參リマス、アスコニ居ル人間ハ、阿片ヲ喫ムヤツガ支那ノ内地ニ逃ゲテ往ツテ喫ンデ呉レ、バ宜イガ、決シテ彼ノ土地ノ事情ハサウデアリマセヌ、内地デハ食糧ノナイノニ苦ンデ、仕舞ニ臺灣ニ出テ來タ人間ガ臺灣ニ土著シテ、今日住ンデ居リマス、支那ニ往ケト云ツタ處デ、到底往クベキ人間デハゴザイマセヌ、ソレ故ニ政府ニ於テハ種々穿鑿ノ上デ斯様ナ方法ヲ設ケマシタ、モウ一ツ是ハ諸君ニ御再考ヲ願ヒタイノデゴザイマスガ、金額デハ僅カ十萬三千圓十錢ト云フ減額ニ爲ツテ居リマス豫算委員會ノ決議ハ——此豫算委員會ノ決議ハ何故ニ是丈ノ減額ニナツテ居ルカト申スト、民政局長ニハ總テ食料ヲ給セヌ、而シテ加俸五分ノ二ヲ増シテ、五分ノ二半、即チ十分ノ三遣ルト云フ御論カラ斯ウナリマシタ、是ハ理窟ノ上デ大變ニ困リマス、何ゼト申シマスルニ、次ノ方ノ陸軍省、海軍省ノ軍事費ノ方デハ、食料ヲ遣ルコトノ決議ニ爲ツテ居ル、

同シク總督府ノ官吏トシテ、民政局、及軍務局ト竝ンデ居ル、例ヘバ内地デ陸軍省ト内務省トアル處デ、陸軍省ノ官吏ニハ政府ハ食料ヲ給シ、内務省ハ手辦當デヤレト云フコト、同シ結果ニ爲リマス、是ガ果シテ理窟ノ上、又實際ニ於テモ其通、總督タル者ガ文武ノ兩官吏ヲ臺灣ニ於テ統御シテ參リマスルノニ、左ノ手ノ官吏ニハ食料ヲ給シ、右ノ手ノ官吏ニハ食料ヲ給サズ、手辦當デヤレト云フコトハ到底出來ナイ相談デアリマス、併ナガラドウ云フコトカ、奇妙ニモ豫算委員會デハ、昨晚是ガ成立チマシタ故ニ、今日茲ニ政府委員ガ愚癡ヲ竝ベマシタ所ガ、到底成立タヌカト存ジマスケレドモ、元來日本ノ國民ハ、臺灣ハ大切ナ所ダニ依ツテ、能ク治績ヲ舉ゲナケレバナラヌコトヲ罵々申シテ居ルコトハ、諸君ノ御承知ノコトデアル、然ルニ長クセヨ、長クセヨト言ヘバ人ヲ選バナケレバナラヌ、人ヲ選ブニハ、名譽カ若クハ利益ヲ與ヘナケレバ使ハレルモノデハナイ、一例ヲ言ヘバ、内地ニ現ニ奉職シテ居ル官吏ヲ、食料ヲヤラナイケレドモ、臺灣ヘ往ツテ忠義ヲ盡セト言ヘバ、拙者ハ病氣ダトカ、或ハ故障ガアルトカ言ツテ往カナイデ、大變當局者ハ困ツテ居ル、ソレニ斯ウ云フコトニ爲リマス、誠ニ臺灣ノ前途ハ心配ニ堪ヘマセヌ、ドウカ是ハ金額ハ僅カ十萬圓デアルケレドモ(簡單ニヤリタマヘ)ト呼フ者アリ、簡單ニヤリマス、御贊成ヲ下サレバ……到底是ハハムヅカシイコトノ御注文デアル、ソレ故ニ國家ガ官吏ヲ待ツニ斯ノ如キ不權衡不平均ナルコトヲ以テヤラウト云フコトハ、餘程御無理ナ御注文デハナイカト思フ、願ハクハ金額ハ十萬圓ノコトデゴザイマス故ニ、總テ原案ニ復活ニ爲ランコトヲ希望致シマス、左様致シマセヌト、現ニ陸軍省ノ官吏ハ飯ヲ喰ハシテ貰ヒ、内務省ノ官吏ハ手辦當デヤレト云フコトヲ、東京デ此衆議院ノ決議ヲ以テ命ゼラレルノト同シ事ニ爲リマス、ソレデ是ダケハドウゾ原案ニ復活ノコトヲ希望致シマス

○目黒貞治君(二十五番) 一寸修正ガゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 何條ノ修正デアリマスカ

○目黒貞治君(二十五番) 第十九款第二項、民政費デ此修正ノ金額ハ九萬三千八百二十五圓デアリマス、其理由ハ臺灣ノ官吏、即チ文官ノ方デアリマス、是ハ唯今水野政府委員ノ述ベラレマシタ如ク、矢張海軍モ、陸軍モ、又文官ノ方モ同様ニ、原案ニ出テ來タノデアリマス、又今日ノ支給方モ同様ノ支給ニ爲ツテ居リマス、然ルヲ豫算會ニ於テ、初ニ在リマスノハ食料ヲ給スルト云フコトガ甚ダ不穩當デアル、故ニ食料ヲ削除致シマスルト云フコトニ爲ツテ、單純ナル彼ノ増給トシテ、十分ノ二ニ過ギナイ方ニ一旦決議ニ爲リマシタ、ソレカラ

○議長(楠本正隆君) 目黒君ノハ原案復活ノ御意見デスカ

○目黒貞治君(二十五番) 原案ヨリ聊カ違ヒマス、ソコデ其決議ハ甚ダ不穩當ト云フ所ヨリシテ、昨夜一旦會議ガ終ツテカラ再議ヲ開キマシテ、或ル委員ノ發議ニ依ツテ一割ヲ増シ、即チ三割ヲ加俸スルト斯ウ云フコトニ爲リマシタ、此三割ト云フモノハ、何レニ依ツタモノデモナイ、甚ダ當ヲ得ナイモノト認メマス、故ニ唯今述ベマシタ所ノ九萬三千八百二十五圓ヲ増シテ、五分ノ二ノ加俸ヲ給シテ遣ラウ、五分ノ二ヲ増ストキニ在ツテハ、稍ニ陸軍ノ將校、海軍ノ將校ニモ鈞合カ取レテ往ク、其理由ハ私ガ喋々セズトモ、同ジ

處ニ居ル、同シ總督ノ下ニ在ッテ、同シ臺灣ノ事務ヲ執リ、同シク高等官デアリマスル、又同シク判任官デアリマスルニ、一方ハ五分ノ二ノ加俸ノ外食料ヲ與ヘ、一方ハ單純ニ唯加俸三割ヨリ與ヘヌト云フノハ、甚ダ鈞合ガ取レヌノデアル、而シテ相當ノ人ヲ得ラレヌト云フコトハ、事實上明デゴザリマスカラシテ、是ガ雙方同様支給ニ爲ル筋合ヲ取リ、決議ヲ致シタイト思ヒマスカラ、滿場諸君、御賛成アラシコトヲ希望致シマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ

○早川龍介君(百一十一番) 一寸伺ヒマスガ、サウスルト唯今日黒君ノ御説ハ、此十九款ノ第一項ノ民政費ノ處ダケデ増スト云フノデスカ

○目黒貞治君(二十五番) 唯今ノ處ハ、民政費ニツレヲ加ヘレバ宜シイト思ヒマス

○早川龍介君(二百一十一番) サウスルト、二項、三項、四項ノ處ハ修正ガアリマセヌカ

○議長(楠本正隆君) 目黒君ノ修正説ハ二項、三項、四項ニハアリマセヌ

○早川龍介君(二百一十一番) 本員ハ唯一言致シマスガ

○議長(楠本正隆君) 未ダ問題ニ爲ル、ナラヌガ分リマセヌカラ、後トデ通告ガ他ニ在リマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 暫ク御待チナサイ、該案ハ全部ヲ議題ニシテアリマス、二問題ニ就イテ討論ヲ數度スルノハ不都合デモアリ、又言論終局ニ依ッテ、先キノ通告ニ演説サセヌト云フモ無理ニ當リマス、最早多數ハアリマセヌ、第二款ニ通告ガアリマス

○佐々木正藏君(百十八番) 十九款ニ就イテ、少シ修正説ヲ述ベマス、唯今日目黒君ヨリモ修正説ガ出マシタガ、私ノハ此金額ハ即チ十萬三千何程ト云フ減額ヲ政府案、即チ原案ニ復活スルト云フ趣意デゴザイマス、併ナガラソコデ修正ノ意味ヲ述ベルト云フコトハ、金額ハサウデアリマスガ、昨日以來豫算會ニ於テ種々説ガアリマシタノハ、文官ニ食費ヲ與フルト云フノハ不都合デアルト云フノガ要旨ニ爲ッテ、此金額ハ減額ニ爲ッテ居リマス、ソレ故ニ食費ト云フ名義ヲ全ク之ヲ止メテシマフデ、即チ加俸ニ此金額ヲ充テ、文官ニモ、即チ食費ハ廢スルケレドモ、金額ハ之ヲ是認シテ、加俸トシテ之ヲ給スルト云フコトニ致シタイ、金額ノ點ニ就イテハ、原案ニ復活スルコトヲ賛成シ、其名義ハ加俸トシテ、食費ト云フモノヲ廢スルト云フコトノ趣意デアリマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○宮崎榮治君(二百八十二番) 政府委員ニ質問ヲ致シマス、唯今臺灣ノ民政費ニ於テ、種々修正説ガ出マシタガ、ソレハ前ニ政府委員ノ原案維持説ガ出マシタ處ニ、或ハ基イタモノデハナイカト思ヒマスカラ、茲ニ一ツノ質問ヲ致シタイ、ト申シマスノハ昨日ノ豫算委員會ニ於テ再議ヲ求メタ末ニ、唯今ノ金額ニ就イテハ政府委員ハ満足ヲ表セラレタノデアアル、此通ノ減額デアアルナラバ誠ニ結構デアルト云フコトデアリマシタガ、政府委員ハ唯今演壇ニ登ッテ御演説ニ依ッテ見レバ、昨日ノ豫算會ニ於テ満足ヲ表セラレタノハ、此本議場ニ於テハ翻ッテツレデハイカヌト云フ所ノ意見ハ、ドノ點カラ起ッタモノデ

アリマスルカ、昨日豫算會ニ於テ述べマシタ所ハ、全ク眞實ノ満足ト云フ譯デナカッタノデゴザリマセウカト云フ疑ガ起リマス

〔政府委員辦理公使水野遵君演壇ニ登ル〕

○政府委員(水野遵君) 唯今ノ御質問ニ御答申シマス、豫算委員會ノ進行ノ事ヲ本會ニ申スノハ如何ト存ジマス、故ニ私ハ何モ申シマセナシタデゴザリマス、(ツレデ宜イ)ト呼フ者アリ、併ナガラ御尋ガアレバ據ナイデ申シマスガ、今ノ宮崎君ノ結果ダケヲ以テ満足シタト云フテ、前ノ行掛リヲ仰シヤラナイニ依ッテ、此政府委員ハ豫算會ト本會ニ向ッテ、舌ヲ二枚ニ使フヤウニ思ハレテハ困ルニ依ッテ申シマス、前ノ豫算委員會ノ第一ノ決議ハ、食費ヲ取ッテ仕舞ッタギリデ、外ニ何モヤラヌト云フ、サウスルト一例ヲ舉ゲマスレバ十二圓ノ判任ト云フモノハ、十五圓何ガシデ臺灣ニ在勤センナラスコトニ爲ル、サウスルト唯ノ人夫デモ二十餘圓取リテ居リマス、其人夫ヨリ七八圓安クテ、物ノ高イ、米ガ一圓デ四升モスル處デ飯ヲ食ヘト申シタ處デ、食ヘヤウガナイノデ、豫算委員會デ御嘆キ申シタ、私ハ泣キ且ツ訴ヘタ處ガ、御容レ下サラズシテ、再議ノ末斯ウ云フ決議ニ爲ッタガ故ニ、前ノ二對シテハチットモ寛ギガ附カナンダガ、再議ヲ下サッテ、私ノ衷情ヲ御斟酌下サタノハ有難シト御禮ヲ言ッタノデス、是ニ決シテ賛成モ何モ致シテ居ラヌノデス

○議長(楠本正隆君) 第二款ノ通告ニ移リマス尾崎行雄君

○尾崎行雄君(百四十八番) マダ殘リノ款ノ中ニモ、處々ニ意見ガアリマスカラ、願ハクバ此決議ハ一款ヅツ御採ニナッテ、先ツ第十九款ノ決ヲ舉グルヤウニ希望致シマス、全部ヤル採ト云フテ、一人モ原案ヲ見テ居ル者モナクシテ、手品ヲ使フ如ク決議ヲサレテハ甚ダ困ルノデアアル

○議長(楠本正隆君) 問題ハ全部ヲ問題トシマシタ、決議ヲ採ルトキハ修正説モアリマスカラ、部分ヲ分ケテ決議ヲ採リマス

○尾崎行雄君(百四十八番) 討論終結ガ起ッタキニハドウ致シマス

○議長(楠本正隆君) 皆順ヲ逐フテ修正説ヲ出サシメ、討論ヲ許シテ、其討論ニ附イテ一々終局トスル……

○尾崎行雄君(百四十八番) 討論終結ハ許サヌト云フノデスカ

○議長(楠本正隆君) イヤ、左様デハナイ

○尾崎行雄君(百四十八番) 議場ガ討論終結ヲ決シタラドウデス、昨日ノ有様ハ、何タル體裁デアアル、アノ通不體裁ハ、何人ガヤラセタノデアリマス

○議長(楠本正隆君) 然ラバ、尾崎君ハ此第二款ニ於テノ演説ガアルニ依ッテ、決議ノ後ニ登壇ヲ許シマス

○尾崎行雄君(百四十八番) 二款ヲ議ニ附スル……

○議長(楠本正隆君) 第十九款ヲ決議ヲ採ッテ、然ル後……

○早川龍介君(二百一十一番) 十九款ハ原案ヲ賛成

○議長(楠本正隆君) 目黒君ノ修正ト、佐々木君ノ修正ガアリマスル

○目黒貞治君(二十五番) 本員ノハ、佐々木君ト併セマスル

○早川龍介君(二百一十一番) 佐々木君ノ説ヲ賛成致シマスル

(星亨君「主人チヤントヤッテ貰ハネバ困ル」ト呼フ)

○議長(楠本正隆君) 佐々木君ノ修正ハ、矢張原案復活ノ金額ニ爲リマスカ、

サウ致セバ、目黒君モ矢張其意味ヲ宜シイト云フコトデアルカ、一應御協議致シマス

○佐々木正藏君(百十八番) 即チ金額ハ原案ニ復シマス、食費ト云フ方ヲ廢シテ、加俸ト云フ方ニ致シテシマフト云フ趣意デゴザリマス

○議長(楠本正隆君) 佐々木君ノ加俸ト云フコトハ、此豫算ニアリマセヌ、金額ヲ復スト云フコトダケナレバ……

○佐々木正藏君(百十八番) 此議案ノ款項ニハ現レテ居リマセヌ、御示ノ通……ソレデ原案ハ政府案ヲ賛成致シ、即チ希望ヲ述ベルト云フコトニ止ルト認メテ願ヒマス

○田中正造君(二百九十番) 私ハドウモ、此政府委員ニ少シク質問ヲ致シテ、決心スル所ガゴザリマス故、質問致シテ此場合……

(議長ハ決議ノ宣告ヲ致シテ居ルト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 最早討論終局ト爲ツテ、決議ヲ採ル場合デアリマス

○田中正造君(二百九十番) サウデスカ

○議長(楠本正隆君) 然ラバ、約マル所委員會修正案、ソレヨリ原案ト及ビマス

○星亨君(八番) 削除説ガ出テ居リマス、是ハ三十人以上何ガアルカラ、之ヲ採ツタ方ガ宜シ

○議長(楠本正隆君) 此第四項ハ、即チ削除ノ説ガアルニ依ツテ、先ヅ委員會修正案ノ決ヲ採リマス、第三項マデ委員會修正案ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、因テ第三項マデハ委員會ノ修正案通ニ決シマス、四項ハ特別ニ決議ヲ採リマス、委員會ノ修正ヨリ先ヅ決ヲ採リマス、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者

○議長(楠本正隆君) 是レ亦多數

(少數々々ト呼フ者アリ)異議ノ申立ヲシマスト呼フ者アリ

○金岡又左衛門君(百六十番) 然ラバ、本員ハ異議ノ申立ヲシマス

○議長(楠本正隆君) 異議アレバ致方ハアリマセヌ——閉鎖ヲ命ジマス

○早川龍介君(二百十一番) 一言一寸承ツテ置キタイ、是ハ唯今ハ修正ニ就イテ決ヲ採ラレト云フト……

○議長(楠本正隆君) 委員會ノ修正ニ就イテノ決議デアリマス

○早川龍介君(二百十一番) 然ラバ若シ此修正ガ倒レマスル時分ニハ、又原案ヲ一ツ採ラナケレバナラヌ

○議長(楠本正隆君) 勿論ノ事、其位ノ事ハ議長ガ心得テ居リマス——記名ノ投票ヲ用ヒマス、委員會ノ修正ニ賛成ハ白、反對ハ青——點呼ヲ始メマス

(町田書記官氏名ヲ點呼ス)

○議長(楠本正隆君) 開匣ヲ致シマス——開鎖

(書記官投票ノ數ヲ計算ス)

○議長(楠本正隆君) 投票ノ結果ヲ報ジマス

總數 百九十九

可トスル者 百十四
否トスル者 八十五

即チ第四項ハ委員會ノ修正通ニ決シマス、第五項ハ原案ニテ御異議ナシト認メマス、因テ原案通過決シマス、次ハ陸軍省所管、海軍省所管ヲ合セテ、歳出部ヲ以テ討論ノ議題ニ供シマス——尾崎行雄君

(尾崎行雄君演壇ニ登ル)

○尾崎行雄君(百四十八番) 諸君、陸軍省所管第二款ノ軍事費ニ就イテ一ノ動議ヲ提出致シマスガ、其大體ノ趣意ハ、豫算委員會ニ於テ減シタモノ、上、尙ホ七十七万三千七百六十五圓餘リヲ減サウト云フ動議デアリマス、其趣意ヲ簡略ニ辯シマスレバ、此軍事費ハ威海衛ニ遣ル兵隊ノ費用ガ一ツ、守備トシテ臺灣ニ送ル兵隊ノ費用ガ一ツ、ソレノ二ツヲ合シタモノガ即チ此第二款ノ軍事費デアリマスガ、臺灣ニ送ル守備隊三旅團ハ内地カラシテ——内地ノ各師團カラ平等ニ取ツテ、ソレヲ送出シマスレバ、丁度送出シタダケ内地ニ於テ、新ニ兵隊ヲ募ツテ是ヲ補充シヤウト云フノガ、原案ノ趣意ニ爲ツテ居リマス、即チ表面ニハ見エナイケレドモ、事實ニ於テハ一師團半ノ軍備擴張案ガ此處ニ再ビ出タノデアリマス、先般五師團ヲ擴張シテ、日本全國ノ兵備ヲ十二師團ト爲シタ上、北海道ガ他日出來レバ一師團、此臺灣ニ補充スルガタメニ一師團半、彼是併セマスレバ日本帝國ノ軍備ハ十四師團半ニ爲ルト云フ全部ノ計畫デアアル、斯ノ如キ陸軍大擴張ノ必要アルヤ否ヤ、先般十二師團ニ致サウト云フトキダスラモ、當議場ニ於テハ色々議論ガアツテ、帝國ノ防備トシテ十二師團ノ兵ハイラヌト云フ説スラアツタノデアリマスガ、今ヤ再ビ斯ノ如キ案ヲ出シテ、隱約ノ間ニ一師團半ヲ殖スト云フコトニ爲ツテ居ル、此事ニ就イテハ、先般總豫算ヲ議スル際ニ、兒玉陸軍次官、其他ノ人カラ諸君ニ向ツテ、一應説明ヲシテアツタノデアアル、元來十二師團ニ擴張ヲ致スガ、臺灣ノ兵備ハ此外デアルト云フコトハ、委員會ニ於テモ、本議場ニ於テモ、再三陸軍ノ政府委員ハ説明シテアル、故ニ議員諸君ハ無論サウ承知シテ、十二師團擴張ノ案ヲ議シタ答デアルノニ、先日來豫算委員會ノ有様ヲ見マスレバ、今日ニ至ツテ始テ臺灣ニ向ツテ兵備ヲ更ニ別ニ置クト云フ説ヲ聽イテ、意外ニ驚ク人ガ十二師團賛成者ノ中ニモ見エル、其反對者ノ方ニモ見エルト云フノハ實ニ意外ノコトデアリマス、其驚ク人ガアル前ニ、再三ノ明言ガアルニモ拘ラズ、今更驚ク人ガアルト云フタメデモゴザリマスルガ、過日豫算委員會ノ節ニ再三ノ明言シタ事柄ヲ政府委員ハ——陸軍省ノ政府委員ハ俄ニ取消シテ、臺灣ノ兵備ハ十二師團ノ外デアルト云フコトヲ再三述ベタ、其舌ノ根未ダ乾カザルニ俄然變説シテ、此度ハ七年タデバ矢張増サヌコトニスル積デアアル、七年タツテ十二師團ガ完全致シマスレバ、臺灣ニ送ル兵隊ニ向ツテハ、内地ニ於テ補充ヲ致サヌ積ニ計畫ヲ變ジマスシタト云フコトヲ述ベラレマシタ、豫算委員會ニ於テ無事ニ此案ガ通過シタト云フノモ、畢竟其陸軍省ノ變説、即チ前ノ説ヲ取り——正誤致シタト云フコトガ、説ヲ變ヘタト云フコトガ、豫算委員會ヲ通過シタ一ツノ原因デアラウト見ユルマデニ、其一言ハ利目ノアツタ事柄デアリマス、併ナガラ二十九年ノ豫算ヲ議スルニ當ツテ、二十九年ニ使ヒ拂フベキ經費ヲ議スルニ當ツテ、七年先キニドウスル、斯ウスルト云フ言葉ヲ當ニシテ之ヲ賛成スルガ如キハ、本員等ノ

無論認認スル能ハザル所デアリマス、元來政府委員ガ七年先キノ計畫杯ヲ明言スルダケ職權ヲ帶ビテ居ルヤ否ヤスラ疑ハシイノデアル、若シ本員ヲシテ信ズル所ヲ言ハシムレバ、七年後ニ至レバ再ビ變説致スト云フコトハ、此處ニ斷言シテ誤ラヌト信ズルノデアリマス、是ハ他日此速記録ヲ七年後ニ出シテ見タナラバ、必ズ政府ハ七年後ニ至ッテ變説ヲスルト云フコトヲ斷言致シマス、縱シ變説ヲシナイ、今日ノ明言僅ニ數日前ニ述ベラレタコトヲ翻シテシマフト云フガ如キ政府ガ、七年後ノ約束ハ確ナリト假ニシタ處ガ、此豫算ニ何ノ關係ガアル、二十九年ノ事ニ、七年以後ノ話ガ何ノ役ニ立チマス、免ニ角此處ニ於テ臺灣ニ出兵隊ハ缺ケタダケ、内地ニ於テ補充スルト云フ主義ガ一度極リマシタナラバ、他日十二師團ニ爲ッテ後デモ、十三師團ニ爲ッテ後デモ、今ノヤウナ取り方ヲ致シテ、全國各師團カラ平等ニ人員ヲ取ッテ、中隊ガ獨立スルコトノ出來ナイヤウナ取り方ヲ致シマスレバ、縱シ内地ノ兵備ハ二十師團ニ爲ッテ處ガ、是ハ補充シナケレバナラヌ譯ノモノデアル、即チ今日ニ於テ之ヲ補充スルトセザルトハ、師團ガ少イト多イトキノ關係デハナクシテ、主義ノ上、即チ臺灣ニ出兵隊ノ出シ方ニ依ッテ違フノデアル、例ヘバ聯隊ヲ割イテ出シ、旅團ヲ割イテ出スト云フコトヲ致シマスレバ、補充スルノ必要ハナイノデアル、之ニ反シテ全國各師團ノ中隊カラ何人ト云フ如キ取り方ヲ致シマスレバ、日本ノ軍備ガ縱シ三十師團ト爲ッテタトシタ處ガ、中隊ハ獨立ヲ失フガ故ニ、之ヲ補充シナケレバナラヌ必要ガ起ル、故ニ兵備ノ増加スルトシナイトハ、補充ノ必要ガアルトナイトニ關係ヲ持タズシテ、取り方ノ趣向ガ違フガタメニ、即チ取りヤウノ主義ガ違フタメニ、此取方デスレバ何年タツテモ補充ヲシナケレバナラヌト云フノデアルガ故ニ、吾々ハ其取り方ヲ變ヘテ、聯隊ダケ分ケテヤル、旅團ダケ各地方カラ取ルト云フ如キ、獨立ヲ失ハナイヤウナ趣向ニシテ、臺灣ニ三旅團ノ兵ヲ出シテ、而シテ之ヲ補充致サヌヤウニシタイト云フ動議ノ趣意デアリマス、サウ致シマスレバ、十二師團ガ十二師團、即チ其中先般擴張ヲ致シタ五師團——一師團三旅團トシテ、五師團、即チ十旅團デアリマス故ニ、此十旅團ノ現役ノ兵、徵兵トシテ年々取ル所ノ者ハ、現役兵ハ三年ニシテ、十旅團ダケ纏メルト云フ當局者ノ著手順序方法決定ッテ居リマスカラ、三年ニシテ十旅團纏レバ、一年ニ於テハ概略三旅團少シ餘ノ兵ガ免ニ角、シッカリ纏ッタモノデハナイケレドモ、三旅團餘ノ兵ハ二十九年度、三十年度、何レノ年ニ於テモ出來テ行クト云フ計算ニ爲ッテ居リマスカラ、縱シ内地ノ中カラ三旅團ヲ分ケテ臺灣ニ出シタ處ガ、先般ノ軍備擴張ニ依ッテ、二十九年度以降ニ於テ毎年出來上ッテ來ルガ故ニ、之ヲ除イテ外ニ補充スルノ必要ハナイト云フ點カラシテ、七十七万有餘圓ノ金ヲ削ラウト云フ動議ヲ出シマス、是ニ就イテ或ル一派ノ説ハ、政府モ二年タツテ現役兵ガ既ニ十二師團ニ充ツルダケノ現役兵ガ出來タナラバ、三年以後ニハ現役兵ハ十二師團ニ充ツルト云フ政府ノ計畫デアリマスガ、七年掛ルト云フノハ、豫後備何カノ充實スルノ數ヘテ、軍備擴張ノ計畫ニ七年掛ラナケレバナラヌト云フ計畫デアリマス、三年タテバ免ニ角現役兵ガ充ツルノデアル、日本ノ現役兵ハ三年以後ニ於テ、北海道ヲ除キ、臺灣ヲ除イテモ二十七旅團ノ兵ガ——現役兵ガ日本ニ於テ出來ルト云フ譯デアル、若シ此方法ニ依ッテ補充シテ參リマスレバ、今日

以後三年ノ後ヲ見マスレバ、北海道ヲ除キテモ二十七旅團ノ現役兵ガ日本ニ於テ出來ル、即チ日本ノ壯丁ヲ引上ゲテ、二十七旅團ヲ作ルダケノモノハ、北海道ダケノ防備ヲ除イテモ、ツレダケノ現役期限ノ壯丁ヲ役ニ服セシムルト云フ趣向ニナリマス、ツレハ取りモ直サズ、先般ノ十二師團ニシテ我帝國ノ防備ハ足レリト言ッテ、其言葉トハ直チニ衝突シテ、十二師團即チ二十四旅團デ宜イト申シタ、其言葉ガ三年ノ後ニ至レバ二十七旅團ノ兵ガ、北海道以外ニ於テ出來ルト云フ譯デゴザイマスカラ、取りモ直サズ、先般ノ軍備擴張ノ計畫ノ一部分ニ衝突スルノ是ハ原案デアアル、是ニ於テ或ル一派ノ人ハ、然ラバ三年タツテ現役兵ガ十二師團ニ充チタ後ハ、臺灣ニ送ッテ兵隊ニ向ッテハ、別ニ補充ヲセスト云フ趣向ニシテハドウカト云フ説モ出マシタ、是ニ對シテハ政府委員ハ三年以後デアアルカラ、是亦今日ニ於テ明ニ約束スル權利ハナイモノデアル、併ナガラツレニ對シテ曖昧ニ其言葉ヲ使ッテ、三年タツテ現役兵ガ充チタナラバ、補充ノ頭數ヲ少シ減ラスコトガ出來ル、段々補充ノ頭數ヲ減ラシテ往カウト云フコトヲ述ベラレマシタケレドモ、三年以後デアナイ、僅カ四五日以前ノ言葉スラ當ニナラナカッタ、共同シ人ノ言葉ニ對シテハ、吾々ハ三年以後ノ約束ニハ、勿論重キヲ置クトハ出來マセヌ、假ニ三年以後ノ約束ヲ政府ガ履行スルモノト見タ處デ、前ニ十二師團ヲ以テ我國ノ防備足レリト云フ、其言葉トハ違ヒマスルガ故ニ、幾許カ補充シテ往カウト云フコトハ、即チ幾許カ十二師團以外ノ兵ヲ置カウト云フコトデアッテ、前ノ計畫トハ違ヒマスルガ故ニ、吾々ハ十二師團ヲ以テ臺灣マデモ守リヲ附ケル、即チ此度派出スル所ノ三旅團ニ對シテハ一人ノ補充ヲ致サヌ、ツレガタメニ要スル經費ハ極ク僅ニ積ッテモ七十七万三千七百有餘圓、之ヲ第一項ヨリ第十八項ニ至ルマデノ各項ニ割リ當テ、ツレダケノ金額ヲ引去ル積デアリマスガ、其各項ノ金額ハ茲ニ巨細ノ表ヲ持ッテ居リマス故ニ、若シ此議ヲ可決スルナラ、直チニ各項ニ割當テ、此場ヲ通過セシムルコトニ致シタイト云フ動議ノ趣意デアリマスルガ故ニ、願ハクハ先般ノ十二師團ノ擴張ニ贊成シタル諸君、十二師團デハ帝國ノ守ガ足ラナイト云フガ如キ説ヲ述ベナカッタ諸君ハ、此議ニ贊成ヲシテ、十二師團以外ニ一師團ノ擴張ト云フガ如キ原案ヲ此際可決スルト云フガ如キ過ニ陷ラザランコトヲ希望致シマスル

（贊成々々ト呼フ者アリ）

○田中正造君（二百九十番） 政府委員ニ質問デスカラ、ドウカ御許シヲ願ヒマス、今此處ハ陸軍ノ處デ質問スルノデスガ、御答ニナルノハドナタデモ宜シイ、ツレデ私ガ御問申シマスルノハ、臺灣ノ事ハ固ヨリ創業ノ際デアッテ、容易ナラヌ御心配モ爲スツテ居ルデゴザイマセウ、是カラ先ヅ陸軍ヲ置クニ致シマシテモ、第一軍人ノ居ル地面ニ就イテ御聽申シテ置キタイノハ、此臺北ト云フ處ノ、先ヅ城ノ内外ノ地面ヲ、近頃内田幸太郎ト云フ人ガ八千坪之ヲ買上ゲタト云フコトガゴザイマス、城ノ内外外デ——城ノ外デアレバ免ニ角、城ノ内ト云フト、兵隊ノ這入ル處デアリマスカラ、是ガ果シテ眞デアリマスレバ、陸軍ノ御方モ御承知デナケレバナラナイ、民政局デハ固ヨリ是等ハ御存ジダラウト思ヒマスガ、唯一方ヲ聽イテハ分リマセヌカラ、果シテサウ云フコトガ有ルカ無イカ、又其八千坪ノ買上代ハ何程デア買上ゲタノデア

ルカ、内田幸太郎ト云フ組合商業——近頃アチラヘ往ッテ居ル組合營業者ト云フ中ニ、内田幸太郎ト云フ者ガアッテ、臺北ノ城ノ内外ト併テ八千坪程買ッタト云フコトデアリマスガ、此事ヲ一ツ伺ヒタイ

(政府委員辦理公使水野遵君演壇ニ登ル)

○政府委員(水野遵君) 御答致シマス、是ハ私ガアチラニ居リマスカラ、私ヨリ御答致シマス、内田某ガ買ッタト云フコトハ能ク存ジマセヌガ、アスコノ實況ハ政府ハ土地ノ賣買ハ公ニハ許シテ居リマセヌ、色々ノ人ガ買ッタト云フ風説ガアリマスガ、ソレハ土地ヲ所有シテ居ル臺灣人ト私ノ契約ヲシテ、恰モ動産ノ賣買ノヤウナ風ニシテヤッテ居ルノデス、其買ッタ人ガ先キニ價セ物ヲ攫ンデ損ヲスルヤラ、ドウカト云フコトハ、政府ノ方デハ存ジマセヌ、ソレハ何トナレバ政府ハ今土地ノ調査中デアアル、ソレ故ニ其間デ私ニヤッテ居ルト云フコトハ、政府ノ方デハ未ダ認メテ居リマセヌ、且城ノ内外デゴザイマスレバ、アスコノ城ノ内外ト云フモノハ、城ノ内ニモ田ガ作ッテアル、唯城ト云フノハ、石ノ塀ガ築イテアルタケデ内外ノ區別ガ立ッテ居リマスル、故ニ日本ノ城ノ内トハ趣ガ違ッテ居リマスル、デ、ソレハ序ニ申上ゲテ置キマス

○田中正造君(二百九十番) 豫メ御斷リ申シテ置キマスガ、専門者モ不案内デアアルシ、又當局者モ隨分居カナイ事モアルデゴザイマセウ、ソレヲ以テ取ッテコチラノ議論ノ種トスルト云フノデハナイ、唯隨分モノハ居カナイモノデアアルカラ、或ハ參考ト爲リ、或ハ御忠告ニモ爲ラウカト思ヒマスノデ、質問ヲスルノデアリマスガ、然ラバ近頃城ノ内外ノ地面ハ官デ御買上ニ爲ルト云フコトノ風聞ガ事ラル、サウ云フコトガ果シテナイモノデアレバソレマデ、ソレカラ一體此今ノ八千坪ト云フモノハ何程デ買ッタノデアアルカ知レマセヌカ、唯今政府委員ハ御存ジガナイ、ソレハ御存ジハナイデゴザイマセウ、全ク……是ハ大阪カラ出張シテ居ル所……

(平島松尾君議長今ノハ問題ナンデスカト呼フ)

○議長(楠本正隆君) 田中君、問題外ノ質問ハ此場合許シマセヌ

○田中正造君(二百九十番) 問題外デナイノダ、城ノ内外ト云フコトハ、陸軍ガ持ッテ居ル處デアアル、其地面ガ知ラズニナクナッテシマフトカ、或ハ何人ガ買ッタトカ云フコトヲ聽カナケレバナラナイ——何人ガサウ云フ間拔ナ議論ヲ吐クノデアアル、氣樂ナ人間デアアル

○議長(楠本正隆君) 田中正造君、地面ノ事ハ問題外

○田中正造君(二百九十番) 地面ノ事ハ問題外ト言ッテカラ、官ノ無神經ノヤツガ此議院ニ居ルナラバ暫ク措イデ、軍用ノ——陸軍ヲ議スノニ陸軍ノ居ル處、其居ル所ヲ聞クノニ——政府ニ質問スルノハ、何デ問題外デアアルカ、之ヲ質問スルノガ何デ差支ヘルカ

○議長(楠本正隆君) 議場ノ整理上、問題外ノ事ハ許シマセヌ

○田中正造君(二百九十番) ソレハ狹ク解スルカラデアアル、苟モ立法院ニ於テツンナ解釋ハナイノデアアル、何ノタメニ國家ノ不爲ニ爲ルコトガアルノニ……

○議長(楠本正隆君) 靜肅ヲ請ヒマスル——和田彦次郎君

○栗原亮一君(八十六番) 私モ通告シテアル

○議長(楠本正隆君) 栗原君ハ臨時郡ノ方デス

○栗原亮一君(八十六番) 私ノモ矢張經常部デアリマス、尾崎君ニ對シテ反對デアリマス

○議長(楠本正隆君) 臨時部ト申ス通告ヲ書記官長ヨリ議長ニ報告ニ爲ッテ居リマス

○栗原亮一君(八十六番) 私ノ方ガ前ニ通告ガシテゴザイマスガ、如何デゴザイマスカ

○議長(楠本正隆君) ソレニシテモ和田君ノ方ガ早イ

○和田彦次郎君(二百五十九番) 唯今尾崎君ノ動議ヲ出サレマシタ此陸軍省所管第二款ノ點ニ方ッテ、一切ノ補助費ニ當ル、臺灣ニ派遣致シマスル所ノ臺灣守備兵ノ補充ニ當ルベキ所ノ經費七十七万三千餘圓ト云フモノヲ此額ノ内ヨリ減シタイト云フ動議ガ出マシテゴザイマス、是ニハ私ハ反對ノ意見ヲ懷イテ居ル者デゴザイマス、要シマスルニ、原案ヲ出サレタ趣旨ニ基イテ、此案ハ議スベキモノナリト云フノ意思デゴザイマス、ソレハ當局者即チ軍隊編制上ノ事等ノ實際ニ當ッテ居ラル、人ミ、質問致シテ聞キ得マスル所ニ依リマスレバ、軍備ノ擴張後、完成後ニ於テハ決シテ補充ヲシヤウト云フコトハ言ハナイ、軍備ノ擴張ト云フコトハ、既ニ是認セラレ、議決ヲ經タケレドモ、其完成ト云フコトハ、今ヨリ七年ノ後ニ在ルノデアアル、其完成ノ出來ナイ、マダ充實ドコロデハナイ、擴張ト云フコトノミ決シテ實ヲ得ナイ時ニ於テ、之ヲ派遣シテ後ト補充セヌト云フコトハ、今日東洋ノ形勢、此日本ノ國防上ニ於テ、政府ノ最モ憂フル所デアアル、其論ニ賛成スルコトハ出來ヌ、同意スルコトハ能ハヌト云フ趣意デアアル、如何ニモ私ハ是ハ尤ナリト考ヘルデアリマス、其擴張ノ軍隊ハ七年ノ後ハ完成スル所ノ仔細ヲ聞キマスルニ、凡ソ本年度ヨリ擴張致シマスルニ著手シテ、中隊ノ編制ガ百三十五人ニ依ッテ成立ッテ居ル、其一中隊ヲ現役兵ダケヲ充テシムルニ、初年度ニ四十五人、二年度ニ四十五人、三年目ニ又四十五人、併セテ一中隊ト云フモノガ、現役兵ダケ三年ヲ經テ後ニ出來得ルノデアアル、而シテ臺灣ノ守備隊ニ派遣スルノハ、現在此四十五人ノ初年度ノ派遣ノ中隊ノ組織モ出來ナイ中ニ、早ヤ今年四、五月ノ頃ニハ、内地ノ方ヨリ派遣シナケレバナラヌト云フノデアアル、何レ内ガ擴張致シマシタ以上、其上ニ一師團半ト云フモノヲ擴張シ、或ハ尾崎君ノ言葉ニ依ッテ申シマスレバ、北海道ノ師團モ擴張ガ出來、遂ニ十四師團半ト云フモノガ出來ルト云フコトニ御説キデゴザイマスルケレドモ、ソレハ七年後ニ於テ、政府ガ今日明言シテ居ルコトヲマルデ食ンデ、サウシテ尾崎君ノ斷言セラレタ一個人ノ御推察ガ、神サンノ言ハレタルガ如ク、少モ違ハヌ時ニハサウカハ存ジマセヌケレドモ、既ニ尾崎君モ先刻來履ニ述ベラレタヤウニ、七年後ノ事ヲ今日ノ政府委員ガ誓ッテ言フト云フコトノ權力アルヤ否ヤ、權宜アルヤ否ヤト云フ位ノ御説デアアルカラシテ、三年後ノ事モ亦然リ、七年後ノ事モ亦然リ今日ニ於テ明言スル所ノ權宜有無ヲ此處デ疑フ位ナラバ三年後ノ事モ亦然リデゴザイマス、然ラバ三年後ノ事ガ測ラレヌノニ、七年後ニ於テ十四師團半ニ爲ルデハナイカ、十四師團半出來ルデハナイカト云フヤウナ口調ヲ以テ、此補充費ト云フモノヲ否決シヤウト言ハレマスガ、

餘リ辯舌ニハ御巧ミカ知リマセヌケレドモ、事實ノ論ニ於テ、餘リ強ヒタル
論ト申シテ差支ナイト考ヘルノデアル、既ニ諸君ニ於キマシテモ、五師團ノ
兵ヲ増シテ軍備ノ擴張ヲスルト云フコトハ、曩ニ是認ニ爲リ、既ニ其事ヲ可
決致シテ居リマス以上ハ、取りモ直サズ軍備ノ擴張ト云フコトニハ御同意
ニ相違ナイト思フ、其軍備擴張ノ出来ヌノ、其内ヲ取ツテ行クト云フコト
ニ爲リマシテハ、擴張ト云フ趣意ニ即チ反シテ來ハシナイカト私ハ思フノデ
アリマス、因ツテ擴張致シマシタ後ノ事ハ、七年後若クハ三年後ノ現役兵ノ
今日ヨリ議スベキ權能有無ヲ疑ハシキ問題ト致シマスレバ、曩ノ事ハ姑
ク措キマシテ、本年此案ノ出テ居ル所ニ就イテ申シマスレバ、マダ軍備ノ擴張
モナンニモ出来テ居ラヌノデゴザイマスルカラ、擴張スルト云フ趣意ガ已ニ
決シテ居ル以上ハ、其出来ヌノニ缺乏シテ、其中ノ缺損スルノヲモ補ハヌ
ト云フコトハ、道理ニ於テアルベキ事デモナイト思ヒマス、因ツテ長クハ述ベ
マセヌケレドモ、修正ハ色々アリマスルケレドモ、ソレハ補充ニ當ツテ修正
デハゴザイマセヌ、金額ヲ七十七万三千ナンボト云フ尾崎君ノ説ヨリモ、三
百餘万圓ノ減額ヲ私ハ贊成スル者デアリマスガ、此補充兵ノ費用ニ方ツテ七
十何万圓ヲ削ルト云フ説ニハ、徹頭徹尾反對スルノデゴザイマス
○尾崎行雄君(百四十八番) 三百餘万圓ト云フノハドコデゴザイマス、嘘デ
ハゴザイマセヌカ
○和田彦次郎君(二百五十九番) 嘘デハゴザイマセヌ、ナゼ嘘ダ、二百七十
八万ナンボト云フモノヲ減シテ、サウシテ經常費ノ方デ三十万圓ヲ減シマス
ル、三百萬ニナルデハナイカ、決シテ嘘デハゴザイマセヌ
○議長(楠本正隆君) 栗原亮一君

(栗原亮一君演壇ニ登ル)
○栗原亮一君(八十六番) 私ノ説モ、今和田君ガ述ベラレタ所ノ説ト、此原
案維持ノ精神ニ就キマシテハ、大體ハ違ハヌデアリマス、即チ實ニ今日ハ會
期ノ迫ツタコトデアリマスカラ、茲ニ喋々ヲセヌデアリマスガ、方今——東洋
ノ形勢ニ於キマシテ、内地ノ兵備ヲ空虚ニスルト云フコトハ、甚ダ是ハ憂フ
ベキ事デアリマス、實ニ今日ハ擴張ノ名アッテ未ダ擴張ノ實舉ラザル事デア
リマスカラ其間ニ於テ補充ヲスルト云フコトハ、其兵力ノ上ニ於テ已ムヲ得
ヌト云フコトヲ認メタノデアリマス故ニ、私ハ補充ノ事ニ就イテハ最も原案
ヲ維持スルノ精神デアリマス、是ダケデ宜シイ
○田中正造君(二百九十番) 二百九十番ハ議長ノ御宣告ニ依ツテ伺ヒタイ事
ガアル、此原案外デアアルカラト云ツテ、政府ニ質問スルノハ原案外デアアルカ
ラト云ツテモ餘程注意ヲシナケレバナラヌ、茲ニ政府ガ泥坊ヲシタト云フ原
案ハ出シマスマイ、政府ニ質問スルニ、原案外ト云フコトニ爲ルト、政府
ハ泥坊ヲシタト云フ質問スルニ、ドウ云フ數目ニ就イテ質問スルカ、此私
ハ質問スルノハ左様ナ譯ナ質問デハナイ、マサカ政府ガ泥坊ヲシタト云フ
質問デハナイ、即チ軍隊ニ關係ノアルコトデアアルカラ、幸ヒ民政局長モ軍人
ノ人モ居ルカラ、ソレヲ問題外ト云フ、三百年モ二千年モタッ
タ内地ノコトヲ議スル心持デ、窮屈ノ心持ヲ以テ臺灣ノ費目ヲ議スハ片腹痛
イ話デアアル、諸君ノ中ニ臺灣ノ事情ヲ知ツテ居ル者ハ幾人アルカ、己ハ知ツ
テ居ルト云フ面付ヲスルノガ實ニ分ラナイノデアアル、不親切極ルノデアアル、

此六千坪ト云フ地面ヲ——臺北縣廳ノ中ニ在ル銀行ガ、一万五千兩デ買ツタ
地面ヲ抵當ニシテアルノデ、此地面ヲ……
○議長(楠本正隆君) 田中正造君——田中正造君……
○田中正造君(二百九十番) 官デ買フ時ニ、民政局ノ土木ノ課長ヲヤツテ居
ル人ノ名前デ買ハシテ置イテ、自分ハ又之ヲ買受ケ官ニ賣ラウト云フノデア
ル、斯ウ云フコトハ今日如何ナル原案ニ在ルカ——政府委員ニ質問スルノ
デ、果シテサウ云フコトガ有ルカ、無イカト云フコトヲ聞クノデアアル
○議長(楠本正隆君) 田中正造君、議長ニ御質問デハナクシテ、御演説ニナッ
テ居リマス、政府ニ質問ガアル時ニハ、相當ノ手續ヲ致シテ質問スベキ規定
ガアリマス、今ハ議題ニ關係ナイ質問ハ許シマセヌ

○厚地政敏君(三十一番) 私ハ極簡單ニ此席カラ申シマスガ……
○栗原亮一君(八十六番) 一寸——前ノ演説ニ附言シテ置キマス、原案維持
ノ精神ヲ以テ修正案ヲ維持スルノ説デアリマスカラ、是ダケ述ベテ置キマス
○厚地政敏君(三十一番) 極簡單デアリマスカラ、此席カラ尾崎君ノ説ニ贊
成ノ意ヲ表シテ置キタイト思ヒマス、吾々ハ豫算ノ分科及總會ニ於テ尾崎君
ニ贊成ノ説ヲ述ベテ置イタ通、茲ニ尾崎君ニ贊成ノ説ヲ述ベル、元來和田
君、栗原君ヨリシテ、擴張デナイ補充デアルト云フコトヲ申サレタガ、其實
擴張ニ過ギナイ、即チ臺灣ノ守備隊ハ、三旅團置クハ新ニ擴張スル事實ニ爲
ル、此三旅團ノ兵ノ内地ノ兵ノ中カラ遣ルコトガ出来ヌカト云フニ、出来ヌ
コトハナイノデアアル、此擴張ハ一年若クハ二年、長クテ三年ノ間ニ臺灣ニ送ル
ル兵三旅團位ハ出来ル、吾々ノ思フ所ニ依レバ一年——著手ノ初年ニ於テ三
旅團ハ送ルト云フコトハ出来ル考デアアル、多少足ラナイ所ハアラウガ、二年
目ニハ守備隊三旅團ヲ送ル方法ハ出来ルデアアル、ソレダケヲスレバ宜シイ
ノデアアル、其間内地ノ兵ヲ分ケテ、臺灣ニ守備隊トシテ送ルニ差支ナイト
思フノデアアル、栗原君ハ此危急ノ場合ニ於テ、内地ノ兵ヲ臺灣ニ守備隊トシ
テ送ルハ、如何ニモ危險デアルト云フ意見デアアルガ、吾々ハ左様ニハ認メナ
イ、陸軍省ノ計畫或ハ臺灣ニ守備三旅團ヲ置イテ、サウシテ臺灣ニ一師團
若クハ一師團半ノ兵ヲ、北海道ニ一師團ノ兵ヲ計畫スルノ目的ニ過ギナイト
思フ、今ヨリ其基礎ヲ作ラントスル計畫ニ過ギヌノデアアルノ目的、其事ハ
豫算委員會ニ於テ述べタ所ガ、政府ハ閣々裡ニ姑息ナシ様ナ事ハシナイ、正
當ニ要求スル必要ガアレバ、其場合ニ求メルノデアアルカラ、此際決シテソ
ナ姑息ノ手段ハシナイト云フコトヲ申サレタガ、私ノ思フニハ三旅團ノ兵ヲ
臺灣ニ守備隊トシテ送ル所ノモノハ内地ノ兵デ以テヤツテ差支ナイ、一年ノ
後カ或ハ初年度ニ於テソレダケノ兵ハ出来ルト思フカラ、實際ニ於テ事實ニ
於テ擴張ト爲ル所ノ事實デアアルカラ、事實ニ於テ擴張ト云フコトニ歸スルカ
ラ、陸軍ノ計畫ハ守備隊ヲ三旅團臺灣ニ増スハ、後ニ臺灣ニ一師團ノ兵ヲ増
シ、又北海道ニ一師團ノ兵ヲ増スト云フコトニ、私ハ今日ニ於テ斷定シテ差
支ナイト思フ、況ヤ政府委員ハ先刻尾崎君ノ申サレタ如ク、一旦ハ十二師團
ノ外デアルト云フコトヲ言ヒ、其後ニ俄ニ十二師團ノ中デアルト云フコトヲ
言ハレタ、何ヲ言ハレルノカ分ラヌ、私ノ質問シタトキハ、政府委員ハ十二
師團ノ中デナイ、即チ在來ノ師團ノ外デアルト云フコトヲ言ハレタガ、其言
ハレタ後ニ、アナタノ質問ノヤウニスレバ、十二師團ヲ擴張シタ目的、其計

畫ハサッパリ分ラナクナルト云フコトヲ御話ガアッタガ、其事ヲ私ハ信シテ、十二師團ノ外デアルト云フコトヲ一度ハ信ジタガ、所ガ分科ニ於テ陸軍ノ決議ヲスル前日ニ其事ヲ取消シテ、多少誤デアッタ、十二師團ノ中デ十二師團ガ完備スレバ、其兵ハ十二師團ノ中デアルト云フテ取消サレタ、斯ノ如ク政府委員ガ言葉ヲ僅カニ二日間ニ變ヘラル、コトデアルトスレバ、是ニ依ッテ考ヘテ見レバ、臺灣ノ守備隊ノ如キハ必ズ將來擴張スル見込ガアツテ、其基礎ヲ造ルニ相違ナイト云フコトハ明白デアアル、即チ後來ニ於テ臺灣ニ一師團ヲ増シ、北海道ニ一師團ヲ増設スル計畫ハ、今日ヨリシテアルデアラウト吾々ハ信ジテ疑ハヌ、若シサウ云フコトデアレバ、是ハ明白ニ明白ニ是ヲ要求サレルガ至當ト思フ、唯聞々裡ニ、姑息ニ之ヲバ知ラズ識ラズノ間ニ擴張シヤウト云フガ如キハ、大ニ贊成シ難イ事デアルカラ、即チ尾崎君ノ説ニ贊成スルデアアル

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、決議ノ順序ハ、尾崎行雄君ノ説ヲ一括シテ決議ヲ採リマス、其次ハ委員會ノ修正ヲ束ネテ決議ヲ採リマス、尾崎君ノ修正説ヲ朗讀サセマス

(町田書記官朗讀)

第一項係給及諸給ヨリ十三万三千六百十四圓七十八錢五厘ヲ減シ第四項糧食費ヨリ三十八万七千五百三十二圓七十八錢三厘ヲ減シ第五項被服費ヨリ十九万七千四百八十五圓十六錢六厘ヲ減シ第八項演習費ヨリ二万九千八百二十八圓九十錢ヲ減シ第九項患者費ヨリ六千四百四十四圓四十五錢四厘ヲ減シ第十七項旅費一万八千八百五十九圓五十錢ヲ減シ第二款軍事費總額ヨリ七十七万三千七百六十五圓五十八錢八厘ヲ減ス

○大島信君(十三番) 一寸一言質問シタイ、贊否ヲ決スルニ甚ダ困ル

○議長(楠本正隆君) 誰ニ質問ナサル

○大島信君(十三番) 政府委員デス——斯ウ云フコトデス、本員ノ贊否ヲ決スルニ甚ダ困リマスカラ質問シマスガ、臺灣ノ守備隊ト云フモノハ、果シテ十二師團ノ中デアルカ、外デアルカト云フコトヲ確答シテ貰ヒタイ、タッタ一言デ宜イ

○政府委員(寺内正毅君) 軍備擴張ガ完成シマスレバ、十二師團ノ中ヨリ出シマスガ、今日ハ已ムヲ得ズ補充ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニ爲リマス

○大島信君(十三番) 何年ノ後

○政府委員(寺内正毅君) 全體野戰師團ノ完成ヲスルノハ七年デゴザイマス(聽エナイト呼フ者アリ)野戰師團ノ完成シマスノハ七年デス、併ナガラ常備ノ旗下一居ル兵卒ハ、三年ヲ以テ出來マス、ソレダケデハ未ダ外ニ出スダケノ餘裕ガナイ、ソレヨリ以後ハ漸々補充ノ兵員ヲ遞減シテ、七年ノ後全ク此補缺ヲ止ムルコトガ出來ル、斯ウ云フ見込デゴザイマス

(採決ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、尾崎行雄君ノ修正説ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマス、次ハ委員會ノ修正ヲ束ネテ一括シテ

決議ヲ採リマス、委員會ノ修正案ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、因テ委員會ノ修正ノ通決シマス——其他修正ナキ箇條ハ別段御動議ガナカラヌケレバ原案ノ通確定ヲ報シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 次ハ歳入ノ臨時部全部ヲ議題ト爲シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○松田吉三郎君(六十三番) 海軍省所管第十一款臨時軍事費

○議長(楠本正隆君) ソレハ質問デスカ、修正ナラバ……

○松田吉三郎君(六十三番) 修正デス

○尾崎行雄君(百四十八番) 本員ハ陸軍ノ方ニ修正ガアリマス

○議長(楠本正隆君) 松田君——尾崎君ノ通告ガ先キニナツテ居リマスカラ、後トニ願ヒマス尾崎行雄君

○尾崎行雄君(百四十八番) 餘リ長クナリマセヌカラシテ、此席ヨリ辯シマス、此陸軍ノ軍事費千八百萬圓ノ中ニハ、朝鮮ニ派遣スル所ノ兵隊ノ經費ガ籠ッテ居リマス、朝鮮ニ派遣スルモノ、臺灣島ニ臨時ニ派遣スルモノ、ソレカラ内地特設部隊ト云フ經費ヲ合シテ、第一項ニ爲ッテ千八百萬圓ト云フ大額ニ上ボツテ居リマスガ、此中最モ小サキモノハ朝鮮ニ派遣スル軍隊ノ經費七十有餘萬圓ト云フノデ、是ニ對シテ本員ハ増額ノ動議ヲ出スノデアリマス、即チ此豫算委員ノ修正案ニ對シテ辯ズルガ分リ易イト思ヒマスガ、豫算委員ノ修正ハ、千八百萬圓ト云フノヲ千五百八十有餘萬圓ニ減ラスト云フノデアルガ、本員ハ此減ラシ方ヲ三十二萬四千四百七十二圓十八錢四厘ダケ減ラシ方ヲ少クシヤウ、即チ豫算委員ノ千五百八十一萬圓ト云フモノニ向ッテ、三十二萬四千圓餘ノ金額ヲ加ヘテ修正ヲシヤウト云フ議デアリマス、其理由ハ、朝鮮ニ目下出シテ居ル所ノ兵隊、公使館、居留地人民ノ保護、及電信、兵站等ノタメニ出シテ居ル兵隊ノ全數ガ、政府ノ報告ニ依レバ二千七百八人朝鮮ニ行ッテ居ル、ソレヲ二十九年度ニ於テハ、凡ソ三分ノ一ニ減ラシテ八百七十八人ダケ朝鮮ニ駐メヤウト云フノガ政府ノ計畫デアリマス、現在二千餘人アルノヲ八百七十八人ニ減ラスト云フノガ、政府ノ計畫デアリマス、依ッテ此豫算ガ出來テ居リマス、今朝鮮ノ形勢ヲ見マスルト、暴徒ハ各地ニ起リ國王スラモ宮中ニ居ラズシテ、或ハ他國ノ公使館ニ駐ッテ居ラル、ト云フガ如キ形勢デアツテ、其暴徒ノ勢ヤ日ニ益々猖獗ニ起イテ、我同胞兄弟ハ朝鮮各地ニ於テ陸續屠殺セラル、ト云フ今日ノ現狀デアリマス、目下斯ノ如キ場合ニ遭遇シタナラバ、兵隊ヲ増スト云フコト、我帝國ノ面目、利益、及人民ノ生命財產ノ安全ヲ保護スベキ職任ヲ帶ビテ居ル所ノ政府ノ仕事デナケレバナラヌト本員等ハ考ヘテ居ルノニ、我政府ハ此際此場合ニ於テ朝鮮ノ守備隊ヲ減ラシテ、兎ニ角二千人以上ノ者ヲ八百七十八人ニ致サウト云フコトニ至ッテハ、實際其意ノアル所ヲ了解スルニ苦シムノデアアル、政府ノ辯明ニ依リマスレバ唯今ハ後備ノ歩兵ガ二大隊朝鮮ニ這入ッテ居ル、即チ戰時ノ編制デアルガタメニ、一大隊各、九百人ヅツ、即チ千八百八十人ノ後備歩兵隊ガ朝鮮ニ往ッテ居ル、其中ノ一大隊ハ公使館及居留人民ノ保護ニ任ジテ居ルガ、他ノ一大隊ハ京城、釜山間ノ電信ノ保護ノ任務ヲ帶ビテ居ルノデアアルガ故ニ、

此電信保護ノ任務ヲ帶ビテ居ル、兵隊ハ、居留人民ノ安危ニ關係ガナイガ故ニ、是ハ一切引上ゲテシマフ、而シテ此戰時ノ編制ノ九百人ニ代ユルニ常備ノ編制ノ常備隊五百六十三人ヲ以テシヤウト云フガ政府ノ内譯ノ仕方デアツテ、之ヲ要スルニ此内輪ハ如何ニアラウトモ、後備ガ現役兵ニ代ラウトモ、但シハ憲兵ガ多少往カウトモ、兎ニ角人民保護ト一般ニ理解サレテ居ル兵隊ガ二千人以上アル、現在ノ者ヲ八百七十八人ニ減ラスト云フデアリマスル故ニ、彼ノ朝鮮人民ヨリ見レバ増サナケレバナラヌト云フ今日ノ場合ニ於テ減ラスト云フコトハ、即チ日本政府ノ臆病心ヨリ出テ、漸次兵隊ヲ引上ゲテ逃仕度ヲスルト彼等ハ見テ、愈々我帝國ヲ侮辱シ、我人民ニ向ッテ害意ヲ逞ウスルニ違ヒナシ、又居留人民ヨリ見マシレバ、兎ニ角電信守備ノ兵隊ニセヨ、何ノタメニセヨ、帝國ノ兵隊ガ數多ク往ッテ居ルノガ、段々減ッテ僅ニ三分ノ一少シ以上ニ爲ッテシマフト云ヘバ、居留人民ハ頗ル不安心ノ位置ニ陷ラナケレバナラヌ、サナキダニ平壤在留ノ商賣人ノ如キハ、隊ヲ成シテ皆家ヲ疊ンデ引上ゲナケレバナラヌト云フ今日ノ場合ニ爲ッテ居ル、斯ク今日此處テ述ベテ居ル此間ニ於テモ、朝鮮各地ニ於キマシテハ、同胞兄弟ハ如何ナル慘虐ノ有様ニ陷ッテ、暴徒ノタメニ虐殺セラレツ、アルカ分ラヌト云フ有様デアル、此場合ニ於テ我守備隊ノ兵隊ヲ減セラレテ、愈々我帝國ノ名譽ヲ傷ケ、朝鮮ノ愚民ヲシテ愈々帝國ヲ輕蔑スルノ憂ヲ生ゼシメ、而シテ朝鮮在留人民ノ不安心ヲ招クト云フコトハ、苟モ當局ノ人ノ爲スベキ所デナイト考ヘマスルガ故ニ、此處ニ於テハ步兵一大隊ヲ派出スル代リニ、ソレヲ増シテ凡ソ二大隊増シテ、即チ三大隊派出スルコトニ致シタイ、其人員ハ政府ノ案デハ五百六十三人デアルガ、ソレヲ三倍ニ致シテ一千七百八十九人ト致シタイ、其經費ハ政府ノ案ニ依レバ十六万二千餘圓デアル、其三倍ダケヲ殖シテ、即チ三十二万四千圓ヲ此處ニ加ヘルト云フノガ本員ノ動議ノ趣意デアリマス、但シ此豫算ノ作り方ハ一千八百萬圓ト云フ金ヲ唯一項ニ立テ、アリマスル、故ニ此中ニ僅カ三十二萬圓位ノ減シ方ヲ少ク致シマシタ所ガ、何ノタメニサウナッタノデアルカ、豫算ノ表面ノ上ニ於テハ明ニ分リマセヌケレドモ、既ニ是ニ於テ此趣意ヲ明言ヲ致シ、此事ヲ速記録ニ留メテ、此金額ヲ殖ス以上ハ、當局者タル者ハ德義上此金ハ朝鮮ノ兵備ヲ増スト云フヨリ外ニ使フコトノ出來ナイト云フ責ヲ負フニ違ヒナイ、故ニ吾々ハ其責任ヲ負ハシムルガタメニ此説ヲ提出致シマス、豫算委員ノ修正額ニ加フルコト三十二万四千四百七十二圓餘ヲ以テスルト云フ説デアリマス

(贊成々々)ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 尾崎君ノ唯今ノ陸軍省所管中ニ就イテノ修正説ニハ、確ニ定數ノ贊成アリト認メマス

○星亨君(八番) 一寸意味ガ分ラヌノデスカラ、尾崎君ニ質問シヤウト思ヒマス、尾崎君ハ此兵ヲドコニ遣ルト云フノデアリマス、今例ヘバ各地デ殺サレテ居ル處ヘ、朝鮮ノ内地ヘドンノ兵ヲ遣ルト云フコトニ爲リマス、今朝鮮ニ於テハ居留地ト爲ッテ居ル處、單ニ法律ニ於テ日本人ガ居ラレル處ヘ遣ルト云フコトニ爲ルノデアリマス、其所ノ處ヲ一寸ハッキリシマセヌカラ……

○尾崎行雄君(百四十八番) 居留地ニ遣ルノミナラズ、若シ一朝暴徒ガ京城

ニデモ侵入スルト云フ場合ニ於テ、彼ノ朝鮮カラ頼ガアレバ、之ヲ以テ暴徒ノ鎮壓ニモ當テヤウト云フノデアル

○星亨君(八番) サウスルト、ソレマデハドコニ置クト云フコトニ爲リマス、若シ朝鮮政府カラデモ頼ガアレバ宜シイガ、頼ノナイ間ハドコニ置クト云フノデスカ、居留地ニ殘ラズ置カナケレバナラヌト云フコトニ爲ルト、京城ニモ、釜山ニモ、元山ニモ、是ダケハ置カナケレバナラヌ、人ノ國ノ何處ヘデモ持ッテ往クト云フコトハ出來ヌコトデスカ、其意味ガ分ラヌカラ……

○尾崎行雄君(百四十八番) 分リサウナモノト思ヒマス、本員ハ此處ニ幾ラノ兵、京城ニ於テハ幾ラ、釜山ニ於テハ幾ラ、元山ニ於テハ幾ラト云フガ如キ行政官ニ命令書ヲ附シテ、此豫算ヲ議決シヤウト云フノデアリナイ、是等ハ公使館モアリ、其他ノ局ニ當ッテ居ル者ガドコニドノ位ヤルト云フノ見込ハ立ッテアル、ソレハ彼等ノ職分デアル、故ニ本員ハ其配置命令書ヲ附ケテ此豫算ヲ議決シヤウト云フノデアリナイ、ソレハ當然ノ事ト考ヘル

○松田吉三郎君(六十三番) 海軍省所管第十一款ノ臨時軍事費ヲ七十八万三千二百九十六圓五十二錢二厘ト修正ヲ致シマス、豫算會ニ於キマシテハ、此船ノ借上噸數ヲ原案デハ七千五百三十八噸餘ト云フモノヲ五千噸ト減シタノデアリマス、又單價ニ於キマシテモ二割ヲ減シマシタ所ガ、尙ホ段々調査ヲ致シマスルト云フト、實際七千五百噸餘ト云フモノヲ五千噸餘ニ減シテハ差支ヲ生ズルヤウニ考ヘマス、故ニ尙ホ一千噸ヲ増シテ六千噸ト致シ、サウシテ豫算會デハ七十二万二千九百六十二圓三十八錢二厘ト云フモノヲ先刻讀上ダタ七十八萬餘圓ト修正ヲ致シマシタ減額ハ十七万三千二百五十圓二十五錢六厘ト爲リマス、修正額ヨリハ六萬圓餘殖エマシタ

(贊成々々)ト呼ブ者アリ

○議長(楠本正隆君) 政府委員伊藤君

(政府委員海軍次官伊藤吉君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵伊藤吉君) 唯今ノ此臨時費中ノ豫算案ノ海軍省ノ部分ニ運送船ヲ雇入レマスルコトニ就イテ、既ニ豫算委員ノ査定ニ依リマスルト、七千五百餘噸ノ船ヲ雇入レルコトニシテアリマスルノヲ五千噸ト修正ニ爲ッテ、其上一又一噸ニ就イテノ代價ヲ一割御減シニ爲ッテ居リマス、昨日モ委員會ニ於キマシテ其困難ナコトヲ申述ベマシタガ、固ヨリ此七千五百噸餘ト云フモノハ、船ノ數ニ致シマスルト三艘ニ爲リマス、五千噸デハ小サナ船ヨリカ儉フコトガ出來マセヌノデ、彼ノ臺灣近海ハ非常ナ高浪デアリマス、噸數ノ小サイ船デハ甚ダ困難ヲ極メマス、是非共原案ニ贊成ノ意ヲ申述ベテ置キマシタ、且一噸ニ就イテノ單價ハ二割減シテハ、之ヲ御請合申シテ負ケサセムコトハ出來ヤウト信シテ居リマス、是ニハ一切先ヅ異存ハゴザイマセヌ、何分ニモ五千噸デハ現ニ差支ヘルコトヲ申述ベテ置キマス所ガ、唯今幸ニシテ松田君ノ御修正案ニ於テハ、是ニ一千噸ヲ加ヘテ、六千噸ニスルト云フ御修正案ノヤウニ伺ヒマシタガ、サウ致シマスルト千五百噸程減シマシタ譯デハゴザイマス、併シ六千噸ゴザイマシタナラバ、二千噸ノ船ガ先ヅ三艘得ラレルト思ヒマス、二千噸位ナラバドウカ往ケマセウト唯今思ヒマス、先ヅ政府ニ於キマシテハ六千噸ト云フモノデゴザイマスナラバ、カウノ手順ヲ以テカウノ往ケヤウト存ジマス、此段一寸申述ベ

テ置キマス

○厚地政敏君(三十一番) 一寸松田君ニ御尋致シマスガ、此七千何百噸ヲ五千噸ニ減ズルト云フコトハ、松田君ガ主査會ニ於テ議サレタコトデアル、總會ニ於テモ松田君ハ其説ヲ維持サレタノデアル、然ルニ今又松田君ハ自分ノ説ニ向ッテ修正説ヲ出サレタ、サウスルト何カソレニハ理由ガナケレバナラヌト思フガ、其理由ハ今政府委員ノ説明シタル理由ニ過ギヌノデアルカ、マダ外ニ理由ガアルノデアルカト云フコトヲ御尋シタイ、主査會デ修正動議ヲ出シタイ人ガ、總會杯デモ其説ヲ維持シタル人ガ、今又増額説ヲ述ベラレタリ、實ニ不思議デナラヌ事ガ多イノデアル、因テ是ヲ松田君ニ改メテ御質問申スノデアル

○松田吉三郎君(六十三番) 別ニ理由モ何モアリマセヌ、回數等ヲ能ク調べテ見マスレバ、陸軍ノ方ハ多少二重ノ處モアリマシタガ、海軍ノ方ハ回數等ヲ調ベテ見レバ、此方ノモノヲ持ッテ往ッテ、向フカラ空船デ歸ッテ來ルト云フヤウナ不都合ナ事モゴザイマセヌ、サウシテ見マスルト、實際ニ於テドウモ二艘デハ差支ヘルダラウ、斯ウ見タカラ増シタノデアリマシテ、別段理由ハナイノデアリマス

○尾崎行雄君(百四十八番) 其修正ノ金額ヲ一應述ベテ置キマス、第一款臨時軍事費一千八百萬圓トアルノヲ、本員ハ一千六百四十萬四千三百四圓四十二錢五厘ト改メ修正デアリマス、而シテ是ハ現在ノ兵隊ヲ増スト云フノデナクシテ、現在アルタケノ兵隊ヲ維持シヤ、即チ千八百人引上ゲルコトニ爲ッテ居リマスル故ニ、二十九年四月ニ於テ九百人、九月ニ於テ九百人、千八百人二十九年初ニ於テ引上ゲルコトニ爲ッテ居ル、故ニ其代リニ三大隊ノ兵、即チ千七百八十九人ヲ以テ入代ヘヤウト云フノデアル、兵隊ノ頭數ハ是デモ尙ホ十人バカリ減ルノデアリ、現在ノ兵力ヲ維持スルト云フ趣意ニシテ、別ニ増加スルト云フノデアリマセヌ

○議長(楠本正隆君) 栗原亮一君ハ通告ガアリマスガ、御登壇ナサレマスカ

○栗原亮一君(八十八番) 宜シウゴザリマス

○星亨君(八番) 政府委員ニ質問致シタウゴザイマス、私ハ尾崎君ノ議論ニ多少賛成ノ意味ヲ持ッテ居ルノデスガ、唯其今ノ金ヲ議院デ増スト云フコトハ餘程可笑シイヤウニ思フ、是ニ一ツ疑ガアリマスカラ、一ツ質問ヲシタイノハ、政府委員ニ於テハ今殆ド朝鮮ノ大邱ヨリ北西ノ方ト云フモノハ、電線モ切レシマッテ居ル位デ、之ヲ防グコトガ出來ナイヤウニ爲ッテ居ルノデアアル、ソレデ今ノ兵ヲ以テ既ニ防グコトガ出來ナイノナラバ、尙ホ之ヲ少クスルト云フコトニ爲レバ、固ヨリ防ゲナイカラニ、私ハ考ヘルノデアアルガ、サウ致シマス、電線ハモウ防ガナイコトニナッテシマフ結果ガ生シハシナイカ、ソコヲノ點ハ今ノ兵ヨリ少クシテ、尙釜山ヨリ京城マデノ電信ヲ防ゲルト云フ、チヤント目的ガ立ッテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ、一應聞イテ置キタイモノト考ヘル

○政府委員(竹内正策君) 議長

○議長(楠本正隆君) 登壇ヲ請ヒマス
(「登壇スベシ」ト呼フ者アリ)
(政府委員陸軍省軍務局第一軍事課長陸軍歩兵大佐竹内正策君演壇ニ登ル)

○政府委員(竹内正策君) 出マシタ(大キナ聲デ願ヒマス「ト呼フ者アリ」)大キナ聲デアリマス、今ハ釜山カラ漢口、京城マデノ間ノ電線ハ、後備ノ諸隊デ保護シテ居リマスガ、是ハ初ヨリ引上ゲテ、其代リニハ憲兵ヲ以テ保護サセルノ計畫デアリマス、其計畫ヲ實行スル場合ニ爲ッテ今引上ゲルト云フノデゴザリマス、今後ノ出來事ハ率ザ知ラズ、今マデノ計畫通進行シテ往ク積デアリマスカラ、十分憲兵デ保護ガ出來ル見込デアリマス

○星亨君(八番) 一寸……漢口ト京城ノ間三十里程ハ、兵ガ居ッテモ連モ防ゲナイヤウニ爲ッテ、電信ハ切レテ居ル、ソレ等ハ憲兵ナラ往ケルト云フノデアリマス

○政府委員(竹内正策君) ソレハ憲兵ナラ往ケルト云フ意味デハゴザイマセヌガ、ソレハ一時ノ出來事デ、破レタモノハ修繕ヲ加ヘナケレバナリマス、修繕ヲ加ヘテ、其以上ハ憲兵デ保護スル積デゴザイマス

○中村彌六君(二百五十四番) 私ハ政府委員ニ質問致シマスガ、曾テ某ノ強國ヨリシテ、既ニ日清戰爭ヲ終ツタ曉ニ於テハ、日本デハ多分ナル兵員ヲ發シテ居ルケレドモ、必要ハナイヤウニ思フガ、元來人民ノ保護總テノ事ニ對シテ、日本ハ幾何ノ兵ヲ朝鮮ニ駐在セシムル積ダト云フコトニ對シテ、當時外務大臣ハ之ニ對シテ二大隊ヲ置クト云フコトヲ明言セラレタト云フ、當時軍事ノ事、即チ兵隊ハドレダケ置クト云フコトハ、兵ガ獨立シテ、事アル時ニハ戰ヒ、又國民ノ保護ガ出來ルト云フダケノ十分ナル能力ヲ備ヘナケレバナラヌニ拘ラズ、其事ニ對シテ是ガ當局タル陸軍ニ照會モナクシテ、外務大臣ガ單獨ヲ以テ答ヘタト云フコトハ、甚ダ其當ヲ得ナイト云フコトデ、其軍部ノ當局者ノ間ニ於テ、種々ナル物議ガ生シテ、大ニ驚カッタト云フコトハ、其當時ニ於テ世人ノ耳ニシテ居ル事デアリマシテ、既ニ公然ノ秘密トモ謂フベキ程ニ爲ッテ居ルヤウニ記憶致シテ居リマスガ、果シテ外務大臣ハ左様ナ事ヲ某ノ強國ニ對シテ、二大隊ヲ駐在セシムルト云フコトヲ明言シタデゴザイマス、左様ナ事實ガアレバ、腰弱ナル政府ガ到底茲ニ此案ヲ増シタ所ガ、置ケルヤウナル勝ハナイノデゴザイマスカラ、何モナイコトニ爲ラウト思フ、其斯ノ如キ事實ガ有ッタカ無イカヲ能ク確メテ置キタイ、其以上デ贊否ヲ決シタイ

(政府委員外務次官原敬君演壇ニ登ル)

○政府委員(原敬君) 中村君ノ御尋ハ少シ要領ヲ得マセヌガ、外務大臣ガ何處ニ答ヘタメニ、陸軍ト何ガ起ット云フ話デスカ

○中村彌六君(二百五十四番) チヤント耳ノ穴ヲ開ケテ聽イテ貰ハナケレバ困、露國ヨリシテ外務大臣ニ照會シタ時ニ、外務大臣ハ當時三國干涉ノ間ニ當ッテ、實ニ一舉手一投足ノ事デモ、彼ノ露國ニ對シテ實ニ戰々兢兢トシテ居ルト云フ有様ノ場合ニ當ッテ、日本デハ幾ラノ兵ヲ朝鮮ニ駐在セシメテ人民ヲ保護スル積ダト云フニ對シテ、二大隊置クト云フコトヲ明言セラレタト云フコトデアル、ソレニ對シテ、凡ソ軍人ヲ派遣シテ置クノニ對シマシテハ、其二大隊デアルカ、一聯隊デアルカ、若クハ一旅團デアルカ、其必要ニ對シテハ凡ソ當局者タル陸軍ガ、ドレダケ置クト云フコトノ必要ヲ認メ、ソレニ依ッテ外務大臣ガ答ヘネバナラヌノニモ拘ラズ、即チ其陸軍ニ對シテ其事モナク、外務大臣ガ單獨ニ答ヘタト云フコトハ其當ヲ得ナイト云フコト

○當陸軍ヲ將官等ノ間ニ於テハ種々ナル不平ト言ヒマス、議論ガアツタ
ト云フコトハ、今日ヲ距ルコト既ニ半年モ前ニ、頗ル世ノ中ニ唱ヘタコト
デ、即チ公然ノ祕密ト云フコトマデ世間ニ鳴ッテ居ル、ソレデ外務次官ニハ
ツレダケノ事ヲ御承知デナイカ知ラヌガ、私ノ質問ノ趣意ハ、果シテ左様ナ
事ガアレバ、例ヘバ議會デ、人民保護ノタメニモウ一大隊増ストカ、二大
隊トカ増スト云フ必要ナ事ヲ認メテモ、政府デ左様ナ事ヲ明言シタル以上
ハ、置クコトガ出来マイ、デ、置クコトノ出来ヌモノヲ、勇氣ノ無イモノニ
對シテ金ヲ増シタ所ガ、無駄ダト云フコトデアルカラ、果シテ左様ナ事實ガ
アルナレバ、私ハ贊成ヲシナイ積デアリマスカラ、一寸御尋ヲ致シマス

○政府委員(原敬君) 分リマシタガ、餘リ意外ノ御尋デアアルカラ、實ハ分ラ
ナカッタ、左様ナ事ノ生ジタコトハナイノデス、從ッテ陸軍ト外務ノ間ニ仰
シヤルヤウナ云々モナイ、餘リ意外デゴザイマシタカラ……

○中村彌六君(二百五十四番) 外交ノ事ハ意外ノ事バカリデゴザイマスカ
ラ、誠ニ本員等モ驚入ッテ居ルノデアル、決シテ意外ハアナタバカリニ限ラ
ナイ

○山田泰造君(二百八十七番) 陸軍省所管ノ部ニ於テ御尋ヲシタイ
(政府委員參謀本部第一局長事務取扱陸軍少將寺內正毅君演壇ニ登ル)

○政府委員(寺內正毅君) ドナタデゴザイマシタカ、能ク分リマセヌデシタ
ガ

○山田泰造君(二百八十七番) 今尾崎君其他ノ何ガアリマシテ、一ツ私ハ御
尋ヲシタイコトガアル、ト申シマスルハ朝鮮京城デアリマスガ、我國ノ人
ガ屢々彼ノ國人ニ虐殺セラレタト云フコトガ新聞紙上ニ顯レテ居ル、然ルニ我
國ノ兵隊ガ、マダ朝鮮ニ派遣シテアルト云フコトヲ聞イテ居ル、然ルニ政府
ハ是等ノ保護ヲ與フルノ意アルモノデアルカ、若シ保護ヲ與フルノ意ノナ
キモノトスレバ、甚ダ不必要ナモノデアアル、又保護ヲ與ヘタクモ、其人ノ足
リナイニ依ッテ、即チ兵力ノ不足ノタメニ此金ヲ出シタモノデアアルカ、若シ
兵力ノ足ラザルモノナリトセバ、尙ホ増スベキノ必要アルモノヲ之ヲ減ズ
ルト云フニ至ッテハ、國民ノ意思ニ反スルガ如キ嫌ガアルト思ハレルノデア
ル、此一點ニ就キ御尋ヲ私ハ致スノデアリマス

○政府委員(寺內正毅君) 山田君ニ御答ヲ致シマス、目下朝鮮ニ居リマス兵
ハ、後備ガ二大隊居リマス、其一大隊ハ即チ公使館、人民——日本人民保護
ノタメニ派遣シタモノデアアル、他ノ一大隊ハ、是ハ一昨年日清ノ關係ヲ生ジマ
シタ時ニ、釜山ヨリ京城ニ通シマス所ノ電信ヲ架設シマス其保護ト、竝ニソ
レニ添ヘマス所ノ兵站線路ノ警戒ノタメニ送りマシタ、斯ウ云フ譯ニ爲ッテ
居リマス、然ルニ此二大隊ト云ヒマスモノハ、固ヨリ一昨年ノ事變ガアリマ
シテ、召集ヲシマシタ所ノ後備ヲ使ッテアルノデス、段々時日モ遷延ヲ致シ
マシタ、後備兵ヲ既ニ朝鮮ニ駐在セシムルコト二年餘ニ渉リマシタノデ、ソ
レ故ニ政府ハ此電信線路ニ對シマシテハ、最も多數ノ兵ヲ置クノ必要モナ
シ、又此兵站ノ事モ、既ニ朝鮮ニ駐在ノ兵ガ撤去シマシタ後ハ、餘程仕事ガ
ナクナッテ參リマシタカラ、兵站線路ニ送りマシタ所ノ後備兵ヲ引上ゲテ、
唯單純ニ電信保護ノタメニ今度臨時ニ憲兵ヲ派遣シマシタ、又一大隊ヲ人民
ノ保護ノタメニ送りマシタモノハ、京城、釜山、元山是ノ三箇所ニ送りマシ

タノデ、是ハ固ヨリ其土地ニ於キマシテ受ケマシタ所ノ任務ニ對シテモ、十
分ノ責任ヲ盡シテ、之ヲ邦人ノ保護ニ勉メタノデアリマス、ソレノミナラズ、
此釜山ヨリ京城ノ間ニ居リマシタ所ノ電信ト、兵站路ノ守備ノ目的ヲ持ッテ
居リマシタ所ノ兵モ、我ガ邦人ニ對シテハ固ヨリ保護ノ責任ヲ盡シテ居リマ
ス、決シテ今日マデ我軍隊ガ人民保護トシマシテ、其外上官ヨリ與タ命令
ニ於テ任務ヲ執行セヌト云フコトハナイノデゴザイマス、併ナガラ此軍隊ノ
居リマセヌ所、或ハ遼遠ノ土地ニ於キマシテ、唯土匪其他朝鮮人ノタメニ不
幸ニ陷リマシタト云フコトヲ聞イタコトモゴザイマスガ、是等ハ僅ニ我兵ガ
居ラヌ所デゴザイマス、即チ時ニ出来タ所ノ不幸デアリマス、是ハドウモ軍
隊ノ保護上ノ責任ヲ持ツト云フコトノ場合デハナイト考ヘテ居リマス、先ヅ
一應ソシナコトデゴザイマス

○山田泰造君(二百八十七番) 尙ホ御尋シタイ、本員等ハ朝鮮ニ往ッタコト
ハアリマセヌカラ、事情ハ能ク分リマセヌガ、併ナガラ常ニ注意ハ怠ラヌノ
デアリマス、成程兵備ノナイ處デ災難ニ遭ッタ者ハ仕方ガナイ、併ナガラ當
局者トシテハ豫期シ得ベキ事ガアラウト思フ、然ルニ新聞紙上デ顯ル、所デ
ハ、其兵備ノ稍々近イ所ニモ見エル、又或ハ其兵隊ノ襲撃ニ遭ッタト云フコ
トモ見エルノデアアル、又京城ノ如キハ兵備ヲ——京城ハ實ニ國民ガ參ッテ居
ル所ダカラ、置イテモ然ルベキ所ト思フ所ニナイ、是ハ政府ガ保護スルノ勇
氣ナキモノデアアルカ、保護ヲシタクモ兵備ガ足ラザルガタメニ能ハザルノデ
アルカ、併シ本員等ノ考ヘル所ハ、保護シタクモ其人ノ足ラザルガ故ト思フノ
デアアル、然ルニ政府ハソレトハ違ッテ、却テ兵ヲ引上ゲルト云フ如キニ至ッテ
ハ、朝鮮ニ對スル事柄ハ大イニ我國國民ノ感情ヲ害スルコトガ少カラヌコト、
考ヘマスガ、政府ハ引上ゲテモ安心セラル、ト云フ御見込デアリマスガ、構
ハヌト云フ御見込デアリマスガ、ソコガ私ハ了解致サヌ、ナゼト云フタラ、
今ノ朝鮮ノ政府ハ、政府アリト雖モ政府ナキニ均シ、國王アリト雖モ國王ナ
キニ均シ、即チ我王城ヲ出テ、他國ノ公使館ニ居ルト云フガ如キ、一國ノ
國王トシテアルマジキ形勢ヲ我國國民ハ見テ居ル、此場合ニ於テハ、餘程我國
ハ先キノ宣言ニ對シテモ朝鮮ニ意ヲ注ギ力ヲ懸ケナケレバナラヌノニ、我國
民ガ數多害ニ遭フニ拘ハラズ、此際兵ヲ引上ゲルト云フガ如キハ其意ヲ解シ
難キ所デアアル、故ニ唯今仰セラレ、通、引上ゲテモ安心セラル、ト云フノデア
ルカ、又ハ此位ニシテ大抵ニヨサウト云フノデアリマスガ、ソコヲ尙ホ確メ
テ置キタイノデアリマス

○政府委員(寺內正毅君) 御答ヲ致シマス、政府ハ唯今申シマシタ所ノ、今
日殘シテ置キマセウツ云フ兵隊ヲ殘セバ、我人民ニハ安心シテ保護ガ出來ル
ト思ヒマス

(「ノウウ」ト呼フ者アリ)

○田中正造君(二百九十番) 一寸質問ヲ致シマス、政府委員ニ
(「採決々々」ト呼フ者アリ)

○田中正造君(二百九十番) 議論ヂヤナイ、質問デスカラ

○議長(楠本正隆君) 成ルタケ質問ナラバ……

○星亨君(八番) 今順序ハドウナッテ居リマスガ、反對ト贊成ト云フヤウナ
ノハ盡キテ居リマスガ、若シサウナラバ、私ハ一言茲ニ申シテ置キタイ事ガ

ゴザリマス、申シテ宜シケレバ申シマス
○議長(楠本正隆君) 委員長ガ委員會ニ修正案ニ就イテ缺ヲ補フト云フノデ
スカ、ツレナラバ……

○星亨君(八番) サウ云フ順序ナラバ申シテ置キマス、今ノ朝鮮問題ニ就イ
テハ、餘程諸君モ憂慮セラル、コトデゴザイマス、私モ隨分憂慮シテ居ル
ノデアル、ツレデ今政府委員ニ承レバ電信線路ヲ保護スルコト云フ(田中正造
君「私が發言ノ權ヲ得テ居ル」ト呼フ)而シテ國民ノ保護ハ兵隊ニ於テ保護
スルコト云フヤウニ思ハル、ノデアリマス、サウシマスレバ即チ四中队アレ
バ、或ハ京城、釜山、元山ト云フモノハ保護ガ出來ヤウカト考ヘルノデア
ル、然レドモ若シ此電信線路ヲ尙保護スルコト云フコトデアラバ、私ハ憲
兵デハ連モ保護ノ出來ナイト云フコトヲ思フテ居ルノデス、併ナガラ當局者
ガ保護スルコトガ出來ルト云フナラバ、是ハ議論ノ一ニ爲リマスガ、私ハ唯
當局者ニ望ムノハ、若シ政府ニ於テ電信線路ヲ保護スル、電線ヲ置クト云フテ
保護スルト云フナラバ、餘程是ハ考ヘテ貰ハナケレバナラヌ、即チ憲兵デハ
足リナイカラ、相當ノ兵ヲ出サナケレバナラナイ、然レドモ他國デ——他ノ
國中デアラカラ兵ヲ出セヌト云フコトナラバ、是ハ即チ憲兵ヲ以テマモ宜シ
イガ、憲兵ナラバ多ク出サナケレバ、連モ保護ハ出來ナイト私ハ考ヘルノデ
アル、尙ホ人民保護デアラナラバ、例ヘバ四中队ノ中デ、仁川京城ノ中ニハ
モウ一中隊位置カナケレバ餘程ムヅカシイと思ハレマスガ、願ハクハ四中队
ノ中ナリ、若タハ更ニ一中隊ヲ置クナリシテ、若シ又電信線路ヲ保護スル
コト云フナラバ、憲兵ナリ——憲兵ナラバ餘計増ス、兵ナラバ今位ハ置カナケ
レバナラヌト考ヘマスカラ、是ハ固ヨリ當局者ニ向ッテ餘程注意シテ置カナ
ケレバナラヌコト、考ヘル、即チ尾崎君ノ修正ノ出タノモ此趣意ト考ヘマ
ス、然レドモ私ハ尾崎君ノヤウナ、飛ンデモナイ兵ノ配置モ何モナイト云フ
ヤウナコトデハナイ、故ニ是ハ政府ニ注意ヲ致シテ置イテ、即チ私ノ希望
ヲ言ッテ置ク、尾崎君ニハ私ハ固ヨリ反對スルヨリ外ハナイ、ツレ丈希望ス
ヲ言ッテ置カナケレバナラヌ

(採決々々)ト呼フ者アリ

○田中正造君(二百九十番) ドナタデモ宜シウゴザリマス、十一日事變以
來、朝鮮デ日本人ノ彼等暴徒ノタメニ殺サレマシタ者ノ數ヲ私ハ覺エテ居
マセマスカラ、政府委員ニドナタデモ宜シウゴザリマスガ、ツレカラ軍人ノ十
一日以來、或ハ暴徒ニ襲ハレ、或ハ之ヲ救フガタメニ討死シタモノハ何人
デアリマスガ、此比例ヲ聞キタイ、即チ十一日以來普通ノ日本人ガ總計合
テ何人死ンダカ、死亡者ガ何人アルカ、軍人ガ何人アルカト云フ……

○政府委員(寺内正毅君) 先刻ノ星君ノ御問カラ、先ヅ御答ヲ致シマス

○議長(楠本正隆君) ツレハ注意デアリマスカラ

○政府委員(寺内正毅君) 田中君ノ人民ノ死傷ニ就イテハ、私ハ存シマセ
ヌ、是ハ領事ノ手ヲ經テ參ルモノデアリマスカラ、外務所管ト考ヘマス、軍
隊ノ方ハ過日十一日ト仰シタルノハ、先月ノ十一日デアリマスガ、

○田中正造君(二百九十番) 十一日事變以來

○政府委員(寺内正毅君) 其以來別ニ多數ノ死傷ハゴザリマセヌガ、私モ數
ヲ確ニ記憶シマセヌガ、概略ノ事ヲ申上ゲマスガ、元山カラ此京城ノ方向

ニ當ッテ、鐵嶺ト云フ處ガアル、慥カ春川ノ賊デゴザリマシタカキ參リマ
シタ時ニ、元山ニ居リマス所ノ守備隊長ガ、僅カ軍曹ニ兵數名ヲ附ケテ出シ
マシタ、現狀偵察ニ出シマシタノデス、ツレガ不幸ニモ賊ニ陥リマシテ、一
名ガ歸リマシテ、三名カ四名ガ亡タナリマシタ、其外ハ別段ニ……其後ニ此
電線驛路ニ沿ヒマシタ處デ、可興ノ近傍デ死亡者ガアツタト思ヒマスガ、確ニ
幾人ト云フコトハ覺エマセヌ、若シ御入用ナラバ陸軍部分ツテ居ルコトハ調
ベテ御覽ニ入レテモ宜シウゴザリマス、一寸此處デ私ハ記憶致シマセヌ
○田中正造君(二百九十番) 外務ノ方デ普通ノ日本人ノ死亡數ヲ……

(政府委員外務次官原敬君演壇ニ登ル)

○政府委員(原敬君) 近來殺サレタ者ハ何人カト云フ數ヲ御問ト思ヒマス
ガ、ツレハ報告ノ到著セヌモノモアリ、又一度難ニ遭フテ害セラレタト云フ
報告ガアツテモ、後トデ巡查等ヲ派出シテ見レバサウデナイモノガアリマシ
テ正確ナモノヲ幾人ト云フコトハ申上ゲルコトハ、今日ハ出來兼ネマス
○田中正造君(二百九十番) 今日ノ正確ナ處ヲ……

○政府委員(原敬君) 今日ノ正確ハマダゴザイマセヌ、唯今日極概略ノ處デ
彼此二十人ニ近クハアリマセヌカト想像シマスガ、唯今申ス通報告ノ達セヌ
モノモアリ、達シテモ間違デアツタモノガアリマシテ、確ナ事ハ申上兼ネマス
(此時政府委員外務次官原敬君演壇ヲ降ル)

○田中正造君(二百九十番) オット一寸御待チ、凡ツ、コレ……二百九
十番——朝鮮ノ一大事件ヲ議スルノニ、外務大臣ハ何デアル——外務次官ハ

何デアル、笑ヒナガラ答ヘル、日本人ノ死ンダ數モ碌々分ラヌ、大凡ノ事ヲ
辯解シテ、活キタトカ、死ンダトカ、何ヲ曖昧シタ事ヲ言フ、苟モ我同胞ガ
一人デモ朝鮮デ非命ノ死ヲ遂ゲタト云フコトハ、哀泣悲啼シナケレバナラヌ
ノデアル、何ガ職掌デアル、汝ハ演壇ニ立ツテ笑ツテ居ル……日本國人ノ
死ンダコトヲ、此朝鮮ニ於テ非命ノ死ヲ遂ゲタ人數ガ分ラヌデ、之ヲ答ヘル
ノニ笑ツテ答ヘルトハ何ノコトデアル、汝ガ良心ハ何處ニ在ル……

(退場ヲ命スベシ議會ノ體面ニ關スル)ト呼フ者アリ

○田中正造君(二百九十番) 退場ヲ命ズルナラ退場ヲ命ジロ

(中村彌六君「此位ノ熱心ヲ以テ論ジナケレバナラヌ」ト呼フ)

○田中正造君(二百九十番) 法律ニ背クバ、何時デモツレハ如何ナル事ニデ
モスベシ、吾々、杯ハ……

○議長(楠本正隆君) 田中君、御著席ナサイ

○田中正造君(二百九十番) 渺タル海中ノ一票デアアル、何トデモシロ……ツ
レハ何デ笑ヒナガラ答ヘル

○議長(楠本正隆君) 田中君——田中君

○田中正造君(二百九十番) 日本人ノ死ンダノヲ何デ笑ヒナガラ答ヘタ

○議長(楠本正隆君) 田中君……

○田中正造君(二百九十番) 拙者ハ發狂ハシナイ、何デモ皆覺エテ居ル、法
律ニ觸レルナラ法律ハ受ケル、拙者ハ決シテ斯ノ如キ……今日外務ノ椅

子ヲ占メテ居ルカト思ヘバ、悔シクテ悔シクテ堪ラヌ

○議長(楠本正隆君) 田中君——退場ヲ命ジマス、守衛……

(田中正造君退席シナガラ「議員ノ中ノ笑フヤツハ自由黨ダラウ」ト呼
フ)

○議長(楠本正隆君) 諸君、是ヨリ討論モ盡キマシタニ依ッテ、決議ヲ採リマス、三省ヲ格別ニ採リマス、先ヅ大藏省ノ所管ヨリ始メマス、大藏省ノ所管委員會ノ修正ヨリ決議ヲ採リマス、大藏省所管委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、因テ大藏省所管ハ委員會ノ修正案通ニ決シマス、次ハ陸軍省所管、尾崎行雄君ノ修正説、是ハ既ニ諸君ガ……

○尾崎行雄君(百四十八番) 其前ニ第五款ガ一ツアリマス

○議長(楠本正隆君) 御熟知ノ事デアリマスカラ、別段説明ヲ致シマセヌ、尾崎行雄君ノ修正説ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマス

(異議ヲ申立テマス)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) モウ一應起立ヲ能クシテ下サイ、勘定ヲサセマス

(書記官起立者ノ數ヲ計算ス)

○議長(楠本正隆君) 矢張確ニ少數ト認メマス

(異議ヲ申シマス)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 異議アレバ已ムヲ得マセヌ、閉鎖ヲ命ズ——相變ラズ記名投票ヲ用ヒマス——點呼ヲ始メマス

(肥田書記官氏名ヲ點呼ス)

○議長(楠本正隆君) 開匣ヲ致シマス——開鎖

(書記官投票ノ數ヲ計算ス)

○議長(楠本正隆君) 投票ノ結果ヲ報道致シマス

總數 二百

可トスル者 八十一

否トスル者 百十九

修正案ハ廢棄ニ屬シマス——著席ヲ請ヒマス——ソレカラ委員會ノ修正案ニ就イテ決議ヲ採リマス

○藤田達芳君(六十四番) 一寸一言

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス間ニハ、決採ノ宣告ノ後ハ發言ヲ許シマセヌ……

是ヨリ委員會ノ修正案ニ就イテ決ヲ採リマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 委員會ノ修正案ニ同意ノ諸君起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、因テ委員會ノ修正案ノ通決シマス、——次ハ海軍省ノ所管、松田吉三郎君ノ修正説ヨリ決ヲ採リマス、——松田吉三郎君ノ修正説ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

(多數)又ハ(少數)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 少シ屹立ヲ請ヒマス——多數ト認メマス、因テ松田吉三郎君ノ動議ノ通決シマス、尋イデ此親高ハ是ニ準ジマス、何レ議長ニ於テ整理致シマス、次ハ歳入經常部、臨時部ヲ併テ議題ト爲シマス、直チ

ニ決議ヲ採リマス、歳入ノ經常部ハ原案通、別ニ御異議ハナイト認メマス、歳入臨時部ハ委員會ノ修正案ニ就イテ決ヲ採リマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 御動議ガナケレバ歳入經常部ハ原案ニ決シマス、歳入臨時部ハ歳入ノ部ノ修正ノ結果變動ヲ來スモノ、外凡テ委員會ノ修正案ノ通ニ確定ヲ報ジマス、何レ是ハ議長ニ於テ整理致シマス、是ヨリ後トニ返リマシテ、歳入歳出ニ關スル豫算ノ本目、亦御異議ナシト確定ヲ報ジマス、而シテ此全部ノ整理ハ議長ニ一任アラシコトヲ請ヒマス

(異議ナシ)異議ナシト呼フ者アリ

○星亨君(八番) 是ヨリ委員會ヲ開キタウゴザイ

○議長(楠本正隆君) 豫算會ヲ開キマスニ依ッテ退席ノ請求ガアリマスカラ、御承認ヲ請ヒマス、次ハ日程ノ第一、此臺灣ニ施行スベキ法令ニ關スル法律案ハ、政府ヨリ撤回ノ通知ガアリマス、朗讀ヲ致シマス

(町田書記官朗讀)

臺灣ニ施行スベキ法令ニ關スル建議案

右議院法第三十條ニ依リ撤回ス

明治二十九年三月二十四日

內閣總理大臣臨時代理

樞密院議長 伯爵黑田清隆

○議長(楠本正隆君) 日程ハ第二ニ進ンデ、臺灣總督府所屬雇員ニ官吏ノ恩給法其他ノ法ヲ適用スルノ法律案一讀會ノ續 委員長佐藤里治君

第二 臺灣總督府所屬雇員ニ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ヲ適用スルノ法律案 第一讀會ノ續 (政府提出)

(佐藤里治君演壇ニ登ル)

○藤田達芳君(六十四番) 簡單デゴザリマスデ

○議長(楠本正隆君) ドウ云フ御意見デ

○藤田達芳君(六十四番) 私ノ意見ハ、田中正造君ノ入場アランコトヲ希望スル——其後トデ……

○佐藤里治君(百十二番) 本案ハ委員會ノ經過ヲ先キニシ御報告申シマス、過ル十九日ニ委員長理事ノ選舉會ガアリマシテ、二十一日ニ又會議ヲ開キマシテ、ソレカラ二十三日ニ確定議ヲ致シマシタノデゴザイマス、唯今臺灣ニ施行スベキ法令ニ關スル法律案ト云フモノハ、是ハ隨分議論モゴザイマシタコトデ、詰リ政府ガ撤回ト云フコトデゴザイマスルガ、總督府所屬雇員ニ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ヲ適用スルノ法律案ト云フモノハ、是ハ一致ヲ以テ原案ヲ可ト致シマシタデゴザイマス、デ、是ハ要スルハ内地ノ官吏ト同年ハ總督府ニハ官制ト云フモノガアリマセヌタメニ、總テ一般皆備ト云フ名稱ニ爲ッテ居リマシタ、メニ、此備ノ名稱ノタメニ、同ジク此官吏ノ恩給法ニ與ヘラレヌト云フノハ、甚ダ不公平ナ事デアルト云フ趣旨ニ過ギナイノデ、是ハ誠ニ無造作ナ議案ト考ヘマスルカラシテ、讀會省略ニシテ確定セラレンコトヲ希望致シマス

○肥塚龍君(百七番) 私ハ即チ此臺灣ニ施行スベキ法令ニ關スル法案ト、其次ノ何ノ委員ノ一人デゴザリマスガ、唯今ノ報告ニ依リマスルト、政府ハ此第一ノ日程ノ方ハ、撤回スルト斯ウ云フ唯今ノ報告ニ承ツテゴザリマス、デ、政府ガ撤回スルト云フコトデゴザイマスレバ、撤回ハナラヌト云フ譯ニモ憲法ノ明文デハ參リマス、參リマス、私ハ此事ニ就イテ、政府委員殊ニ水野君ハソコニ出テ居ラル、ヤウデゴザイマスカラ、政府委員ニ一言尋ネテ置キタイ事ガアルノデゴザイマス、若シ政府ガ……

(問題外ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 肥塚君、日程ハ第二ニ移ッテ居リマス

○肥塚龍君(百七番) 日程ハ第一、第二ニ連帶シテ居リマスル委員デゴザイマスカラ

○議長(楠本正隆君) 第一ハ政府ガ撤回致シマスシタ

○肥塚龍君(百七番) 撤回致シマスシタ、撤回スルニ就イテハ唯今委員長ノ報告ガ濟ミマシテゴザイマスカラ、其報告ガ濟ムト同時ニ、私ハ委員ノ一人トシテ、此事ヲバ突止メタイ事ガアルノデアリマス

○議長(楠本正隆君) 第一ノ日程ノ事ニ就イテハゴザイマス

○肥塚龍君(百七番) サウデス、ソレニ涉ッテ居リマス

○議長(楠本正隆君) ヲレヲ許スト隨分測リガ多クナリマス、許シマセヌ

○肥塚龍君(百七番) 併シ未ダ第二ノ日程ハ移ッテ居ラヌデゴザイマセウ

○議長(楠本正隆君) 既ニ第二ニ移リテ、委員長ノ報告ガ今濟ンダ處デゴザリマス

○肥塚龍君(百七番) 委員長ノ報告ハ、第一、第二ヲ合併シテ報告シタノデアッテ、第二ヲ議題トスルト云フ議長ノ宣告ハマダ聽キマセヌ

○議長(楠本正隆君) 第一ノ日程ハ議題ト爲スベキコトヲ宣告シテ、政府ノ撤回ノ次第ヲ朗讀シテ諸君ニ通知シテ第一ハ濟ミマス、ソレカラ第二ヲ改メテ議題ニ供スルト云フコトヲ宣告シテ、委員長ノ登壇ヲ促シ、第二ダケノ事ヲ報告セラレタノデアリマス

○肥塚龍君(百七番) ソレデハ宜シウゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 該案ニ就キ二讀會ヲ開ク如何ノ決議ヲ採ル場合デアリマス

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○吉本榮吉君(八十二番) 讀會ヲ省略シテ、直チニ決議ヲ採ルコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 讀會ヲ省略シテ決議ヲ採ルベシト云フ、吉本君ノ動議

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 吉本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、即チ讀會ヲ省略致シマス

(臺灣總督府所屬議員ニ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ヲ適用スルノ法律案(政府提出))

○議長(楠本正隆君) 御動議ナキヲ以テ、該案全部ノ確定ヲ報シマス、次

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 確定議

(臺灣總督府所屬議員ニ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ヲ適用スルノ法律案(政府提出))

○議長(楠本正隆君) 御動議ナキヲ以テ、該案全部ノ確定ヲ報シマス、次

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 確定議

(臺灣總督府所屬議員ニ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ヲ適用スルノ法律案(政府提出))

○議長(楠本正隆君) 御動議ナキヲ以テ、該案全部ノ確定ヲ報シマス、次

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 確定議

(臺灣總督府所屬議員ニ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ヲ適用スルノ法律案(政府提出))

○議長(楠本正隆君) 御動議ナキヲ以テ、該案全部ノ確定ヲ報シマス、次

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 確定議

ハ第三ニ移リマスル、而シテ日程ノ第六マデ併テ報告ヲ請ヒマス——大津淳一郎君

明治二十七年年度豫備金支出ノ件(政府提出承諾ヲ求ムル件)

(特別委員 長報告)

(大津淳一郎君演壇ニ登ル)

○大津淳一郎君(五十五番) 特別委員會ノ審査ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、日程ノ第三、二十七年年度豫備金支出ト云フノ件ト、日程ノ第四、第五、第六トゴザイマス、第四ハ少シ委員會ニ議論ガアリマシテ、本員等ハ少數ノ意見ヲ提出シテアリマス、願ハクハ是ハ理事ノ木暮武太夫君カラ御報告ニ爲ッテ方ガ宜カラウト思ヒマス、サウ致シタイト存ジマス、デ、此委員會ハ三月九日ニ委員長、理事ノ選舉ヲ致シマシテ、其委員長、理事ハ官報ニ依ッテ諸君ノ御承知ノ通、十一日ヨリ質問會ヲ三回開キマシテ、委員シテ質問ヲ致シテ置キマス、ソレカラ遂ニ三月十八日ニ大體ノ質問ヲ致シマシテ、決議ト云フ場合ニ爲リマシタ、是ハ固ヨリ細カニ支出ノ如何ヲ質問シテ意見ヲ決スルコトデナクテハナルマイト存ジマス、速記ヲ置キマシテ速記ヲ諸君ニ御配付シテ置キマシタカラ、大抵諸君ハ御承知ノコト、思ヒマス、日程ノ第三ノ承諾ヲ致スコトニ決シ、第四ノ其理由ハ木暮君カラ御報告スルトシテ、第五、第六ニ承諾ヲ致スコトニ決シマシタ、若シ是ニ就イテ御質問等ガゴザイマスレバ、調ベタケノコトハ御答ヲ不肖カラ致シマス、尙ホ取調ベテ置イテ、忘レマシタ事ハ御手數デゴザイマスガ、政府委員ニ御質問願フト云フコトニ致スヨリ外ハナシ、此三、五、六ハ即チ承諾ヲ致スト云フコトニ決シマシタ、第四ノ事ハ唯今木暮君カラ御報告申シマス、別ニ御質問モゴザイマセヌケレバ是デ……

○議長(楠本正隆君) 諸君、退席ノ議員諸君ニ通知ヲ致シマスルカラ、少シ決議ヲ猶豫致シマス

○藤田達芳君(八十四番) 日子モ既ニ切迫シテ居リマス、議員ノ數モ昨日モ定員ニ滿タヌト云フコトデ其儘ニ爲ッテ居リマス、田中君ノ事ヤ、如何ニモ狂激ニ當ッテ居リマス、是ハ國家ヲ思フ熱心ノ餘リ、知ラズ識ラズ此ニ至ッタノデアアル、是ハ議員間ニ對シテノ事デアリマレバ格別ノ事デアアルガ、政府委員トシテ如何ニモ輕躁ニ失シ、如何ニモ議員ニ對シテ敬禮ヲ表スルコト云フコトナシ、茲ニ田中君ノ激怒スル所ト爲ッタノデアリマス、斯ノ如キ熱心ナ議員ヲ數時間ト雖モ退場セシムルコトハ、此今日日子切迫ノ場合、甚ダ遺憾トスル所デゴザイマスカラシテ、本員ハ議長ニ切望スル、願ハクハ入場セシメラレンコトヲ希望致シマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 議長ノ退場ヲ命ジタルノハ、整理ノ上ニ於テ已ムヲ得ザルノ事實、不穩當ナ言ヲ發セラレタ次第ヨリシテ、暫ク退席ヲ命ジマシタガ出席ニナレバ其言ハ議長ガ請求シテ取消サシムル積デアリマスカラ、入場ヲ許シマス

○木暮武太夫君(七十七番) 唯今議題ニ爲ッテ居ル第三カラ第五マデノ中デ、三ト五ト六トハ、大津委員長カラ報告ガゴザリマシタ、四ニ就イテハ本員ヨリ報告スル答デゴザイマスガ、第三ノ決ヲ採リマシテ後ニ報告致シタイト思

ヒマスガ、御差支ナクバ第三ダケノ決議ヲ致シマシタ後トデ、本員ヨリ報告致シマス

(此時田中正造君入場ス)

○議長(楠本正隆君) 第三ノ決議ノ後ニ報告ヲ請求致シマスル——是ヨリ第三ノ決議ヲ採リマスル——田中正造君、此場合ハ日程ノ第三ニ承諾ヲ與フルヤ如何ノ決ヲ採ル處デゴザイマスガ、先刻已ムヲ得ザルニ依ッテ、議長ハ田中君ニ對シテ退場ノ處分ヲ行ヒマシタ、先刻ノ御發言中ニハ、不穩ノ言葉ガアルト認メマス、就イデハ何卒御取消アラント希望シマス

○田中正造君(二百九十番) 何デスカ

○議長(楠本正隆君) 不穩ノ言語アリタルト認メマスルニ依ッテ、御取消アラント希望シマス

○田中正造君(二百九十番) 議院ガ取消ヲ命ズルト云フノデスカ、或ハ議長ガ取消サレルト云フノデスカ

○議長(楠本正隆君) 議長ハ、其取消ニ就イテ承諾ヲ請ヒタイ

○田中正造君(二百九十番) 私ハ國家ノ神聖ヲ保ツガタメニ、彼ノ腐敗シタル所ノ官吏ヲ罵リマシタニ相違ゴザイマセヌ、其言語ニ對シテ、議長ガ議場整理ノタメニ處分セラル、コトハ當然ノ事デアリマスカラ、決シテ否ヤハ申シマセヌ、議長ノ權利ニ於テ之ヲ取消サル、分ハ、別ニ異存ハゴザイマセヌ

○議長(楠本正隆君) 即チ議長ハ、不穩ノ言語ダケハ取消ニ爲ランコトヲ請求シマス、而シテ其通承諾ヲ請ヒマス——第三ノ議案ニ就キ承諾ヲ與フルヤ如何ノ決ヲ採リマス、承諾ヲ與フコトニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、因テ本案ハ承諾ヲ與フルコトニ決シマス、日程ハ第四ニ進ミマスル——木暮武太夫君

第四

明治二十七年年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件(政府提出承諾ヲ求ムル件)

(特別委員 長報告)

(木暮武太夫君演壇ニ登ル)

○木暮武太夫君(七十七番) 諸君、明治二十七年年度豫備金支出ノ件、外三件ニ關シマスル審查特別委員會ノ報告ノ中デ、日程ノ第四ニ上ボッテ居リマスル、即チ明治二十七年年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件、此本件ニ就キマシテハ、大津委員長ヨリ御差支ガアリマシテ、本員ガ委員會ノ理事デアル故ニ、本員カラ報告ヲ致シマス、此委員會ノ結果ハ諸君ノ處ヘ御報告ヲ申シタ通、即チ政府ノ承諾ヲ求ムルコトニ就キマシテ同意ヲ致シ、即チ承諾ヲ與ヘテ、責任ヲ解除スルト云フコトニ決定ヲ致シマシタ、其理由ヲ少シク申シマスルガ、此全體ノ金額ハ明治二十七年年度ニ二百二十五万二千六百九十九圓九十六錢二厘ト云フノガ總體ノ金額デアリマス、其内デ重ナルモノヲ私ヨリ御報告致シマスルガ、四万五千圓ト云フノガ電信料デア

間ニ取扱ツタ電信、是ハ四万五千圓ヲ國庫剩餘金ヨリ支出致シマシタ、其次ハ大キイモノダケヲ私ハ申シマスル、囚徒及在監人ノ諸費(ワレハ言フニ及バヌ)議案ニ在ル「ト呼フ者アリ」是ハ内務省ノ方デアッテ、米麥其他騰貴ニ依ッテ起ル費用、是レ亦已ムヲ得ザル事デアッテ、承諾ヲ與ヘマシタ(「簡單」ト呼フ者アリ)大キナモノヲ申シマスレバ、大概左様ナモノデアリマシテ、此全體ニ於テ之ニ承諾ヲ與ヘタト云フノハ、詰リ是等ノ事ハ國家ノ上ニ於テナサルヲ得ザルコトデアアルノデアル、縱令第一豫備金、又ハ第二豫備金ニ於テ、金ガ無クナツタト雖モ此處ニ掲ゲテアル事、即チ臨時帝國議會ノ費用、又ハ傳染病、香港ニ於テ黑死病ガ流行シテ來テ、其タメニ長崎其他ノ四港ニ於テ船舶ノ試験ヲスル其費用、若クハ朝鮮事變ノタメニ在外公館ト電信往復ヲスルト云フヤウナ事ハ、如何ニモ爲サナケレバナラヌ、第一豫備金、第二豫備金ヲ終ッテシマツテ、豫算ニ超過シヤウガ、豫算ノ上ノ金ガ其方ニ極メタ金ガナクナラウガ、是ダケノ事ハ當局者ガ責任ヲ以テヤルベキ事デアッテ、當局者ノ意見ヲ聞キマシテモ、是ハ國家ノ生存上已ムヲ得ザルモノデアッテ、責任ヲ以テ是ダケノ支出ヲ致シタト云フノデアル、委員會ニ於テモ當局者ノ責任ヲ以テ是ダケノ事ヲ致シタト見レバ、是ダケノ金ハ實ニ已ムヲ得ザルモノデアアル故ニ、承諾ヲ與フルト云フコトノ説ガ多數デゴザイマシテ乃チ委員會ハ承諾ヲ與ヘルト云フコトニ爲リマシタ、此事ヲ御報告致シマス

○工藤行幹君(百十番) 委員長ニ質問ヲ致シタイ

○議長(楠本正隆君) 此場合ニ少數者ノ意見ガアリマスカラ、ソレヲ報告シテカラ……

○工藤行幹君(百十番) 質問デスカラ、其前ニ一言御尋シタイ——私ノ質問ヲ致スノハ外デハゴザイマセヌガ、此國庫剩餘金支出ノ事ニ就イテハ、先刻カラ見ルト、其事ノ如何ニ拘ラズ、此議會ハ第一期以來承諾ヲ與ヘナイコトニ爲ッテ居ル、併シ此度承諾ヲ與ヘルト云フコトニ爲ッタノハ、先例ガ惡リト云フコトカラ御議論デアアルノデスカ、大抵其委員諸君ノ中ニモ、是マデ長ク議席ニ列ッテ居ッタ方モアラウト思ヒマスガ、委員ノ名前ハ知リマセヌガ、前ニハ承諾ヲ與ヘナイデ、今度ハ與フルト云フノハ先例ハ惡イカラ、新ニ今度國務大臣ガ責任ヲ持ッテ出シタモノハ承諾ヲ與ヘルト云フノカ、或ハ道理ニ適ッテ居ルカラ與ヘル、前ノハ與ヘヌト云フノカ、其理由ヲ少シク伺ヒタイ、委員長ノ御意見ヲ承リタイ

○木暮武太夫君(七十七番) 委員會ニ於テハ種々議論モ出マシテ、是マデハ與ヘナイガ故ニ、與ヘヌト云フ議論モ出マシタガ、委員會ノ多數ノ意見ハ、免ニ角是ダケノ支出ハ相當ナモノト認メテ承諾ヲ與ヘルコトニ爲ッタ、是マデノ事ニ就イテ別ニ委員會ニ於テ論ハ致シマセヌデ、即チ明治二十七年年度ニ於ケル豫備金支出ノ事ヲ託サレタノデ、是マデノ事ニ就イテハ委員會ノ意思トシテハ何ト云フコトモ決定致シマセヌ

○工藤行幹君(百十番) 議論ガナカッタナラバ宜イガ、アッタナラバ……

○水暮武太夫君(七十七番) 大津君外一名ハ、矢張是マデノ通ニ與ヘナイト云フ說デゴザイマシタ、外ノモノハサウ云フコトハ別ニ述ベナカッタ

○工藤行幹君(百十番) 承諾ヲ與ヘルト云フ理由ハ、議論ガアッタナラバ、ドウ云フ理由デアッタト云フコトヲ伺ヒタイ

○水暮武太夫君(七十七番) 申シマセウ、大體唯今申シマシタ通、事實已ムヲ得ザル事ガ多イノデ、例ヘバ機密費ハ朝鮮事件ノタメ何程モナイモノガ、俄ニ十九萬圓モ入ルト云フコトデ、第一豫備金、第二豫備金ノ金ガナイト云フ上カラ、國庫剩餘金ヲ支出シテ使ハナイ譯ニイカヌ、帝國議會モ左様デ、廣島ニ開クト云フノデ二十四萬モ出テ居ル、是ハ金ガナイカラト言ッテ、帝國議會ヲ開カヌ譯ニイカヌ、黒死病ガ流行シテ日本ニ來サウニナッタテ居ル、ソレヲ防ガナケレバナラヌ、其他斯様ナルモノハ必要ナモノデ、國家ノ生存上缺クベカラザルモノデ、剩餘金ヲ以テ支出シタト云フコトハ、已ムヲ得ヌデ承諾ヲ與ヘルコトニ爲ッテ居ル

○元田肇君(七十四番) 一寸御尋シマスガ、少シ自分ニ分ラヌコトガアルカラ、御質問ヲ致シテ置キタイ、第一ニハ政府ハ責任ヲ以テ支出シタ云々ト云フコトガアリマスガ、是ハドウ云フコトデアルカ、御考ヲ伺ヒタイ、凡ソ無責任ト云フコトハ大抵ナイ、ソレニ特ニ責任ヲ以テ支出シタト云フコトハ、ドウ云フコトニ了解シテ宜シウゴザイマスカ、第二ニハ委員會ノ速記録ヲ見マスルト、政府委員田尻男爵ノ説明ニ於テ、ドウモ憲法ニハ明文ハゴザラヌガ、據ナイ捨テ、置カレヌカラ出シマシタ、強テ言フナラバドウ云フ法律ニ依ッタカ、強テ言フナラバ先ヅ從來ノ行掛リデ、憲法六十四條第二項ニ依ッタト云フ位ノ事デ置カナケレバナルマイ、據ゴザラヌト云フコトガゴザイマス、所ガ國務大臣ヨリ承諾ヲ求メテ來タ所ノ通牒ト云フモノニ依レバ、憲法六十四條第二項ニ依ルト云フコトガ特記シテアル、田尻政府委員ノ御説明ハ、果シテ其當ヲ得テ居ルモノデアルト心得テ、委員會ハ御濟ミニナッタガ、田尻君ノ言ハレタ所ニ依ルト、憲法ノ明文ニハナイシイガ、強テ問ハレルナラバ、據ナシニ斯ウデモ言ッテ置カウト云フ位ノ事デアアル、又委員會カラ質問セラレタ所ヲ見ルト、憲法ニ明文ガナイト云フコトニ了解シテ議論ガシテアル、本員ハ其邊ヲ明ニシタイノデ、田尻君ノ委員會ノ説明ト云フモノガ本當デアアルカ、憲法六十四條ノ二項ニ依リ、承諾ヲ求ムルト云フ國務大臣ノ通牒ガ本當デアアルカト云フコトヲ確メテ置キタイ、ソレハ委員會ニ於テ如何ニ御開取ニナッタカト云フコトヲ聞イテ、併テ政府委員ノ田尻男爵モ此處ニ居ラレルカラ、黙ッテ居レバソレニ相違ナイモノト本員ハ認メマス、ソレニ依ッテ贊否ヲ決シマス

○水暮武太夫君(七十七番) 御答致シマス、最前ノハ、憲法ノ中ニ剩餘金ヲ使ッテ宜イトモ惡ルトモ書イテナイ、サリナガラ第一豫備金、第二豫備金ガ既ニ使ヒ拂ッテシマッテ金ノナイ所ニ、朝鮮事件等已ムヲ得ナイコトガ起ッタ、傳染病ノ如キ左様ナ場合ニ於テハ、政治ヲ爲スモノハ責任ヲ持ッテ、ソ

レダケノ事ヲシテ議會ノ承諾ヲ求メルコトヲスル、斯ウ云フ意味ニ爲ル、ソレカラ其次ノ……

○元田肇君(七十四番) 一寸御中言デアリマスガ、憲法何條ニ依ッタ、法律第何號ニ依ッタト云フコトナシニ、ヤッタト云フノデスカ

○水暮武太夫君(七十七番) 委員會ノ方デハ、法律ノ何ニ依ッタト云フコトニ話サヌ、速記録ヲ御覽ニナレバ分ル

○元田肇君(七十四番) 何ンダカ、アル如クナイ如ク、分ラヌカラ聞クノデス

○水暮武太夫君(七十七番) 詰リ速記録ニ在ル通、其外ノ事ハ聞キモシマセヌ

○議長(楠本正隆君) 大津淳一郎君

○大津淳一郎君(五十五番) 少數者ノ意見ヲ報告スルト同時ニ、併テ私ノ意見ヲ述ベテ宜シウゴザイマスカ

○議長(楠本正隆君) 今ハ免ニ角少數者ノ意見ダゲノ御報道ヲ請ヒマス

(大津淳一郎君演壇ニ登ル)

○大津淳一郎君(五十五番) 少數者ノ意見ヲ御報道申シマス、明治二十七年年度ニ於テ剩餘金ヲ以テ豫算超過豫算外支出ノ件、是ハ丁度三月十八日ニ委員會ニ於テ決シマシタノデアリマス、當時出席ヲ致シタモノハ六名デゴザイマス、此事ニ大層先年カラ委シイ議論ノアッタ石田君杯ハ、出席ハ一度モシナカッタノデアリマス、又伴直之助君モ出席ヲセズ、山本三太郎君モ同様、ソレデ丁度六人ニ爲リマシタ、六人ノ中第一承諾ヲ與ヘルト云フ議論ガ、唯今

○水暮武太夫君、次ニ中村克昌君ガ賛成シ、佐藤里治君カラ承諾ヲ與フル議論ガアッタ、遂ニ承諾ト云フコトハ、不肖及田邊久藏君ガ六人ノ中不承諾ノ意見ヲ持ッテ居ッタノデアリマス、ソレデ二人デアリマスカラ、衆議院規則ノ五十七條「出席委員二分ノ一ニ及フトキハ云々」ト云フコトデ、少數者ノ意見ヲ報告スル譯ニ爲リマシタ、併シ是ハ少數者ノ意見ト云フノハ、固ヨリ承諾ヲ與フベキモノデナイ憲法六十四條第二項ニ依ッテ承諾ヲ與フベキモノデナイト云フ意見ヲ持ッテ居リマシテ、此通ニ少數者ハ考ヘマシタカラ意見ヲ出シマシタ、此問題ハ憲法ノ六十四條第二項ニ依ッテ承諾ヲ求ムルト云フ

ノデゴザイマスカラ、固ヨリ憲法ノ上カラ考ヘナケレバナラナイ、已ムヲ得ザル支出デアアルカラ、憲法ニ使ッテハナラナイト云フ明文ガナイ、又使ッテ宜シイト云フ明文モナイカラ、斯ウ云フ金ヲ已ムヲ得ズ使ッタノデアアルカラ、承諾ヲ與ヘルト云フヤウナ議論デ、承諾ヲ與ヘルト云フコトニ決スベキモノデナイト信ジマス、即チ國務大臣ガ廉耻ヲ以テ議會ニ承諾ヲ求メテ來マシタ、此六十四條第二項ニ依ッテ判斷下シマシタナラバ、三尺ノ童子モ是ハ承諾ヲ與フベキモノデナイト云フコトハ分ルノデアアル、然ルニ是ニ承諾ヲ與ヘルト云フヤウナ議論ト二ツニ分レテ居ルノハ、一ハ憲法ヲ擁護シテ、立憲政體ノ基礎ヲ固メヤウト云フモノハ、皆三尺ノ童子モ分ッテ居ルト同ジヤウ

ニ解釋シテ居ル、何カ浮雲ニ蔽ハレテ、惡魔ニ誘ハレテ居ルト云フ人デナケ
レバ、承諾ヲ與フルト云フコトハ解釋ニハナラレナイ筈デアラウト本員ハ信
ズルノデアアル、故ニ私ハ之ヲ承諾ヲ與フベカラズト云フコトニ就イテ、分リ
切ツテ居ル諸君ニ對シテ此議論ヲ致シタクモナイ、併ナガラハ是ハ公開ノ議場デ
アル、速記録ハ世ノ中ニ現レルト云フモノデアアルカラ、一應筋道ガ分ツテ
居ルカラ宜イト云フ譯ニハ行キマセヌカラ、已ムヲ得ズ一言ヲ述ベル、又私
ノ述ベマスル意見ハ、固ヨリ私ノ意見ニハ相違ナイノデゴザリマスゲレド
モ、先キニ憲法發布ノ頃カラ筆ニ依ッテ書キ、又第二議會カラ以來議場ニ於
テ議論ヲ致シタト云フ人ハ、意思ヲモ繼續シテ述ベルノデゴザリマス、倍テ
憲法發布ノ時ニ筆ヲ以テ世ノ中ニ拙者共ト同意見ヲ述ベタ人ハ誰カト云ヘ
バ、現任總理大臣侯爵伊藤博文君デアアル、彼ノ人ガ憲法義解ヲ著シテ、拙者
ハ憲法ノ起草者デアルト云ハレル人ガ、憲法義解ヲ著シタ時ノ六十九條ノ
解釋ヲ諸君ガ御覽ニナリマシタナラバ是デ明ニ分ルノデアアル、是ハ今讀上デ
テ諸君ニ御話スルマデモナイ、六十九條ノ解釋ヲ諸君ガ後トデ御調ベニナ
リ、或ハ御記憶ニナツテ居ルト思フ、其次ハ第二議會ノ際ニ拙者共ト同シヤ
ウニ憲法擁護ノタメニ、正義ノ議論ヲサレタ自由黨員、先キノ代議士伊藤大
八君、自由黨ニシテ先キノ代議士山田東次君等ノ御意思ヲ私ハ繼續ヘル、又
第三議會ニ方ツテ自由黨員、先キノ代議士齋藤桂次、同シク此際ニモ山田東
次君等ノ御意見ハ、誠ニ憲法擁護ノタメニ御尤ト思フテ繼續スルノデアアル、
又第四議會デハ即チ委員長ヲ致シタ自由黨員デ名モ高キ、石田貫之助君ノ御
辯論モアリ、之ヲ拙者ハ繼續致スノデ、第六議會ニ自由黨員現任代議士江原
素六君ガ委員長デアッテ述ベラレタモノヲ、拙者ハ繼續シテ述ベルノデア
アル、又此第六議會ニ當ッテ自由黨員現任代議士石田貫之助君ガ、剩餘金支出
ニ對シテ、内閣諸大臣ノ責任ヲ問フト云フ決議案ヲ出シテ、此案ハ立派ニ議
場ヲ通過シテ居リマス、是モ憲法擁護ノタメニ斯クナラナケレバナラズト思
フテ之ヲ繼續致シマス、ソレカラ此事ニ就キマシテハ固ヨリ第三議會ニ當ッ
テ剩餘金支出ヲ承諾スルト爲リマシタ當時ハ、即チ第三議會ノ齋藤君、山田
君ガ述ベマシタ通、第三議會ト云フモノハ選舉干渉ヨリ來ッタノデアアル、ソ
レデサヘモ十票ノ違デ、ヤツト承諾ヲ與フルコトニ爲ッタカラ、彼ハ國民ノ
意思、議會ノ意思ト見ルコトガ出來ナイト述ベテアリマスカラ、是モ御尤ナ
話デ、諸君モ御承知ニ爲ッテ居リマセウ、ソレカラ第四議會ニ當ッテ、全ク
不承諾ニ決シマシタ、又第六議會ニ當ッテハ全ク不承諾ニ決シテ、而シテ石
田君ノ決議案ガ出テ、是モ異議ナク通ツタ、唯第七議會ニ當ッテ二千六百餘
萬圓ノ剩餘金支出ガ、是ハ承諾ヲ與ヘテアルト云フ御論ガ起ルデアラウト思
ヒマスガ、是ハ廣島議會ノ當時、軍費一億有餘萬圓ノ中ニ籠ツテ來テ、是ダ
ケノ剩餘金ガ其中ニ這入ッテ居ルト云フ説明ヲ出シテアルノデ、別ニ承諾ヲ
求ムルト云フコトノ提出ハナカッタ故ニ、豫算會ニ於テモソレハ都合デア
ルカラ、承諾ヲ求ムルモノトハ見ナイト云フコトガ石田貫之助君ノ御論デア

ル、マダ其他ノ御論モ澤山アツテ、憲法第七十條ニ依ッタモノトシテ決シヤ
ウト云ッテ決シタト云フコトハ、速記録ヲ調査スレバ分ツテ居リマス、然ラバ
第三議會ヲ除ク外、第四、第六及今日ニ至ルマデ憲法違反ノ支出ト云フ決
議ニ爲ッテ居ルトハ信シテ居リマス、即チ是ハ申シマスデモナイ、憲法
六十四條ノ第一項ニ「國家ノ歳入歳出ハ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協贊ヲ經
ヘシ」トアル以上ハ、凡ソ國家ノ歳入ニ爲ルベキモノハ、一錢タリトモ使ヒ拂
フトキハ、帝國議會ノ協贊ヲ經、又之ヲ收入スルトキハ、一錢タリトモ議會
ノ協贊ヲ經タモノデナケレバ取レナイト云フコトヲ規定シテアル、而シテ豫
算ノ上デ款項ニ超過シ、又豫算外ニ生シタル支出アルトキハ、後日帝國議會
ノ承諾ヲ求メヨトアルノデ、伊藤博文君ノ解釋ヲセラレタ如ク、豫算ノ款項
ニ超過シタリ、豫算外ニ支出ノアルトキノ途ヲ開キ置クノデアアルガ、其財源ガ
何處ニ出ルカト云フト、六十九條ニアル「避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フ
爲ニ又ハ豫算ノ外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ」此
處デ財源ヲ示シテ、六十四條ノ第二項ヲ包シテアルモノデアルト云フ御解釋
ハ、誠ニ正當デアルト私ハ信ズルノデアアル、是ガ即チ第二議會以來ノ事柄デ
ゴザリマスカラ、一應斯ク御話致シタマデ、宜シイケレドモ、倍テ世ノ中ト
云フモノハ實ニ頼ミナイモノデ、斯様ニ憲法ノ義解マデモ著シテ、憲法制定
ノタメニ世ノ中ニ賞賛サル、所ノ伊藤博文ノ君デサヘモ、忽チニ御自分ガ是
ハ内閣ニ這入ッテ來ルト斯ノ如ク立派ニ書籍マデ著シテ置キナガラ、曩キニ
松方内閣ノ時ニ間違ッテ岐阜愛知ノ震災ニ支出シタノガ、ヤツト第三議會ニ
通過シタノヲ見テ、是ハ便利ノ法デアルト、己ノ御都合ノ宜シイヤウナ風ニ、
先キノ議論ヲ打捨テ、解釋セラレ、ズン／＼使ヒ拂フト云フヤウナ有様デゴ
ザリマス、先程江藤君ノ言ハル、ガ如ク、何モ李鴻章ニ對シテ阿片ハ禁ジテ
シマフ、奇麗ニ禁ジテ見セルト言ツタ、其舌ノ根ノ乾ハカナイ中ニ、阿片ヲ
喫マセルト云フ法案ヲ出ス位ノ事ハ朝飯前ノ話デ、憲法擁護ト云フ人ガ憲法
ヲ破ツタ支出ヲシテ、平氣デ居ラレルノデアリマスカラ、誠ニ阿片ヲ禁ジテ
見セルト云フテ、支那ノ使臣ニ對スル間違ッタ仕事位ハ朝飯前ノ事デアラウ
ト思ヒマス、併ナガラハ是ハ伊藤博文君ノ爲サレルコトデアアル、滿場ノ諸君ハ
先キニ不承諾ヲ唱ヘラレタル前代議士齋藤桂次君、山田東次君、又今ノ江原
素六君、石田貫之助君等ノ陳ベラレタ御意思ニ於テハ、伊藤君ノ様ニ宜イリ、
ソレハ右様ノ事モ其時ハ斯ウデアッタケレドモ、今日ハ斯ウダト決シテ陳
ベラレナイ話ト私ハ思ヒマスガ、同シク自由黨員デアッテ、立憲政體ノ主唱
者ト云ツテ、伊藤博文ノ君ヨリ賞セラレタ所ノ板垣伯ヲ總理ニ戴イテ居ル所
ノ木暮武太夫君、中村克昌君——是等ハ已ムヲ得ナイモノデアアルカラ、憲法
ニハ判然トナイガ、承諾ヲ與フルト云フガ如クニ言ハレタノハ何ノ譯ヤラ、
是ハ定テ御兩君ノ心得違デ、滿場ノ諸君ハ必ズ左様ノ御考ハナカラウト思ヒ
マスカラ、憲法擁護、即チ此立憲政體ノ基礎ヲ固クシヤウト云フ諸君ハ、是
ハ勿論前志ヲ繼イデ不承諾ト云フコトニ決スルノガ當然ト私ハ思フノデアアル

(餘計ノ事ヲ言フナ)ト呼フ者アリ又「議長々々」ト呼フ者アリモウ是デ諸君ガイヤダト云フナラバ、是デ止メヤウヂヤナイカ、諸君ハ分ツテ居テ、何時デモ説杯ヲ變ジナイヤウニスルガ宜シイ

○議長(楠本正隆君) 元田肇君

○木暮武太夫君(七十七番) 大津君ノ御言葉ニ就イテ一言申シテ置キマスガ、私ノ述べマシタノハ、大津君ヲ含蓄シテ居リマス、委員會ヲ代表シテ意思ヲ報告シタノデス、別ニ木暮武太夫ガドウシタト云フヤウナ事ハアリマセヌ、詰リ此中ニハ大津君モ這入ツテ居ルノデアリマス

(元田肇君演壇ニ登ル)

○元田肇君(七十四番) 諸君、私ハ成ルベク簡單ニ述べマスデアリマスルガ、病中デハアリ、又始デ登ツタノデアリマスルカラ、少シノ間ドウカ御耳ヲ煩シタイト考ヘマス、私ハ唯今登壇セラレタ所ノ大津淳一郎君トハ正反對ノ意見ヲ持ツテ居ルノデアアル、又感情ニ於テモ正反對ノ感情ヲ持ツテ居ルノデアリマス、大津淳一郎君ハ吾々ハ自由黨中ノ何某代議士ト云フモノ、意思ヲ繼ギテ斯クミミノ事ヲ主張スルノデアアルト云フコトヲ言ハレマシタガ、私ハサウデハナイ、今日——昔ニ在ッテハ實ニ吾々ノ説ガ動モスレバ少數ニ爲ッテ居リマシタガ、今日ニ爲ッテハ大多數ト云フモノガ、吾々ノ説ヲ賛成スルニ至ツタト云フモノハ、實ニ喜デ茲ニ賛成ノ演説ヲ致スノデアリマス、然ルニ唯今年度ノ議會ハ、久シク居リマセヌデ存ジマセヌガ、見渡シマスルト云フト、何ンデモイ、ヂヤナイカト云フコトガハヤリモ、ヤウニ見エル、私ハ此問題ニ就イテ、既往ノ議事筆記等ヲ見マシタガ、當時ハ新シイ議員デモアリ、慣レモシナカッタカラカハ存ジマセヌガ、随分粗暴極ル言論モアルケレドモ、併ナガラ議場ニ出テ、互ニ辯論ヲスルト云フ上ニ於キマシテハ、非常ナル熱心ト勇氣トヲ以テヤッタト云フコトハ、自ラ議事筆記ニ見レテ居ルノデゴザイマス、然ルニ此既ニ帝國議會ノ歴史ニ於キマシテモ、豫備金支出ノ事後承諾ト云フコトニ就イテハ、非常ナル議論モ致シ來ツテ居ルニモ拘ラズ、今回ノ委員會ノ速記録ヲ見マスルト云フト、第一政府ヨリ求メテ來タノハ、憲法六十四條第二項ニ依リ事後承諾ヲ求ムルト云フコトニ爲ッテ居ル、然ルニ政府委員田尻男爵ノ述べラレタ所ヲ見マスルト、諸君ハ御覽ニナツテ居リマセウカラ讀上ゲハ致シマセヌガ、マア第一ニ委員會ノ中村君カラシテ、是ハ斯ウ云フ積デ御出シニナツタノデゴザルカ、先ツ左様デゴザル、斯ウ云フヤウナ風ニ爲ッテ居ッテ、サウシテ其支出ハドウナツテ居ルカト云フト、憲法ニ依ツタモノデアアルカ、依ラナイモノデアアルカ、法律ニ依ツタモノデアアルカ、依ラナイモノデアアルカ、有耶無耶ノ中ニ、不思議ニモ委員會ハ通過シテシマツタノデアリマス、如何ニ今日ハ速ニ早ク議決シテシマフガ宜シイカラト云ツテモ、斯ノ如キ歴史上ノ憲法問題ニ爲ッテ居ル事ヲ容易ク唯有耶無耶ノ間ニ何デモ宜シイト云フノデ、失禮ナガラ委員會ガ經過シタト云フノハ、私ハ本院ノタメニ甚ダ惜ムノデアリマス、併ナガラ是ハ改メテ私ガ此

處デ喋々致シマスルト、何カ可笑シク御聽取リニナルトイケマセヌカラヨシマスルガ、定テ此政府委員ガ六十四條ニ依ツタ如ク言ヒ、又依ラザルガ如ク言ヒ、唯見テ居ラレマセヌカラ、據ナシニ政府ハ出シタノデゴザル、此事情ヲ察シテ下サイ、左様ナレバ宜シイト云フコトニ爲ッタト云フ、此間ノ消息ニ就キマシテハ、唯私ハ田尻政府委員ガ國務大臣ノ提出セラレタル所ハ、憲法六十四條第二項ニ依リ承諾ヲ求ムルト云フコトニ爲ッテ居ルニモ拘ラズ、斯ル註釋ヲ附セラレタト云フモノハ、唯御苦心ノ程察シ入ルト云フ一言ヲ以テ十分足リルコト、考ヘマス、茲ニ於キマシテ私ハ之ニ賛成スルト云フ理由ヲ今新シク云フ譯デアリマセヌガ、自分ハ聊カ此問題ニ關係シテ、始終演壇ニ登ツタコトガアリマスルカラ、申シテ置クノデアリマスルガ、憲法六十四條第二項ノ規定ニ於テ斯ノ如キ豫備金等ノ中ヨリ支出シタノヲ、事後承諾ヲ求メルコトガ出來ルト云フ解釋ノ起ツテ來タ抑々原因ト云フモノハ、會計法ノ不備ナルカラデアリマスル、憲法ヲ解釋スルノハ憲法ツレ自身ニ於テハ甚ダ明瞭デアツテ、法律ヲ待タヌ事モアリマスガ、法律ガ既ニ成立ツテ、議會ガ之ヲ是認シテ居ル間ハ、即チ其法律ヲ以テ憲法ノ精神ヲ窺ハナケレバナラヌト云フ結果ニ爲ルノデゴザイマス、然ルニ會計法ノ六條ヲ見マスルト、昨年ノ議會ニ於テ本員ガ説明致シマシタ通ニ、總豫算ト云フモノガ款項ニ爲ッテ居リマスルカラシテ、豫備金モ亦款項ノ中ニ這入ッテ居ル、ソレ故ニ憲法六十四條ノ豫算ノ款項ヲ超過シタル支出アルトキハ、後日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルト云フ文句ガ、飽クデ今日政府ガ唱ヘル所ノ六十四條第二項ニ依ッテ、豫備金ガアレバドシノ、支出スルコトガ出來ルト云フ見解ヲ下スニ至ツタノデアリマス、既ニ法律ガ出來テ居ル以上ハ、斯ク解釋ヲサレルノモ致方ガナイト私共ハ思フノデアアル、又獨リ政府ガカト云ヘバ、議會ニ於テモ之ヲ是認シテ居ルノデアアル、會計法ハ其儘ニ今日ト爲ッテ居ルデハナイカ、此會計法ト云フモノヲ修正シヤウト圖リマシタ時分ニ、議會ハ之ニ反對ヲシテ、而モ當時反對サレタ人ノ中ニハ、今日ハ吾々ト同論デアラウト思ヒマスルガ、否決ニ爲ッテ居ル、改正案ガ否決ニ爲ッテ居ル、既ニ改正案ガ否決ニ爲ッタ事デアリマスレバ、則チ會計法六條ノ法文ニ就キマシテ、憲法六十四條ノ第二項ナルモノハ、ドウモ豫備費ノ如キモノガ含ムモノデアアル、豫備費ヲ支出シタコトガ含ムモノトシタナラバ、強ク之ヲ不當デアルト云フコトハ出來マイト思フ、若シ是ガ不當デアラナラバ、會計法ヲ其儘ニシテ置イタ議員モ議會モ亦其責ヲ分タネバナラヌノデアアル……

○議長(楠本正隆君) 少シ時間ヲ延バシマス

○元田肇君(七十四番) 又獨リ會計法ノミデアリマセヌ、會計法ニ基イテ編制サレタ所ノ豫算案ト云フモノヲ置イテ、又款項ノ中ニ豫備費ヲ置イテアルノデアリマスカラ、款項ヲ超過シタル支出アルトキハ云々ト云フ法文ヲ適用シテ、政府ガソレダケヲ求ムルト云フコトハ、已ムヲ得ザル次第デアルト思フノデアリマス、ソレ故ニ本員ノ考デハ、年々歳々此憲法問題ガ是等ノ事

ニ就イテ不幸ニモ起リマシテ、議會ノ爭論ガ烈シクナツテ來ル、政略上其當ヲ得タトカ、其當ヲ得ナイトカ云フコトデ、政府ノ行爲ヲ攻撃スルコト云フコトハ、是ハ今日ナケレバナラヌコトデアリマスガ、憲法ノ解釋上ニ就イテ、年百年中議會ガ開ケルタニヒニ、憲法違反デアアル、違反デナイト云フ解釋ノ爭ヲシテ居ルノハ甚ダ嫌ハシイ事デアアルカラシテ、左様ノ事ノナイヤウニ、即チ政府ニ於テハ所謂口ヲ憲法六十四條第二項ニ藉リテ、何シデモ金ガアレバ支出スルコトガ出來ルト云フヤウナ不當ナ處分ヲシナイヤウニ法律デ之ヲ喰止メルト云フ考デ、即チ會計法第六條ノ改正案ヲ提出シタ處ガ、當時金尾稜君デアツタト私ハ思フ、金尾君ハ大多數ヲ代表シタル、吾々ノ同志以外ノ大多數ヲ代表シタル人ノ總代トシテ壇ニ登ラレマシテ、何ト言フタカト云ヘバ、即チ此改正案ニ對シテ反對ヲ表スル、詰リ私ノ案ハ消滅シテシマッタノデアリマス、加何ニモ残念ナコトデアアル、若シ此案ト云フモノガ成立シテ居ッタナラバ、今日ニ於テ事後承諾ヲ求ムル點ニ於キマシテ、政府ハマサカニ法律ヲ蹂躪シタルヤウナコトヲセズシテモ濟ンダニ相違ナイト思フ、又議院ニ於テモ是等ノ問題ニ就イテ繰返シテ意見ヲ此處ニ提出スルコトナシニ濟ンダデアラウト思フ、然ルニ昨年ノ議會ニ於テハ軍國多事ノ際デアアルカラ、大抵ハ諸君モ行掛リヲ御忘レニ爲ッタデアラウト思フタ處ガ残念ナルカナ、マダノ矢張既往ノ行掛リト云フモノヲ御忘レニナラヌ、而モ金尾君ハ其行掛リト云フモノヲ大聲疾呼シテ喚起シタメニ、私ノ改正案ト云フモノハ遂ニ潰レテシマッタコトデアリマス、今日ニ爲ッテ見マスルト云フト、先キニ大津君ガ話サレタ第三議會ノ時ニ於テ、第二議會ノ時ニ於テ、斯ル問題ヲバ解散ヲ賭シテ爭フ決心ヲ以テ、憲法違反デアルト云ツテ爭ッタ所ノ自由黨ノ諸君モ、今日デハ承諾スルト云フノデアアル、唯委員會ノ經過ヲ見マスルト云フト、私ハモウ少シハッキリシテ戴キタイト思フノデアアル、贊成スルナラバ、如何ニモサウ云フ解釋ヲ此處ニスルノハ當リ前デアアルカラト云フノデ贊成スルコトナラバ明白デアリマスガ、遺憾ナルコトニハ、此委員會ノ報告ヲ見ルト云フト、ドウ云フ譯デ贊成スルノデアアルカ、必要已ムヲ得ザルコトデアツタカラ贊成スルト云フノハ、政略上ノ不當ヲ論ズルノデアアルナラ宜シウゴザリマスガ、憲法ノ何ニ據ッタノデアアルカ、甚シキニ至ツテ見ルト、中村委員ノ事實ガ斯ウアツタト聞イテ、憲法ニ明文ガナイ、憲法ニ明文ノナイコトデアレバ、憲法ニ規定シテナイコトデアアルカラ差支ナイ、政府ノヤツタコトヲ認メテ宜シイカト云フヤウナ問ガ出テ、是ニ政府委員ハ默諾シテ居ルヤウニアル、默諾シテ居ルヤウニ思ハレルガ、請求シテ來タ所ハ憲法第六十四條第二項ト云フノデアリマスカラ、公然當議會ニ向ツテ申込ンデ來タノガ本當デアラウト思ヒマスカラシテ、田尻政府委員ノ一言一句ヲツカマヘテ彼此云フコトハシマセヌガ、實ニ是マデハ非常ナ大問題トシテ討論シ來タ處デハ、隨分殆ド廊下ニ於テナグリ合ワスル位ナ決心デアツタ此問題ガ、今日ニ至ッテハドウデアアルカト云フト、殆ド何ノ法律ニ依ツテ支出シタカ、

一向委員會モ糾サズ當議會モ默ツテ居ッテ之ヲ通過サセルト云フ經過ガアルノデアリマス、是ハ私共ガ贊成ノ多イコトヲ希望スルノデアアルガ、希望スル中ニ就イテモ寧ろ是等ノ點ハモウチツト明白ニシテ、愈々贊成ヲ表セラレタナラバ、以前ニ反對シテ贊成ヲ表セラレタナラバ、如何ニモ今日ノ法律ガ不備ナルタメデアツテ、憲法ノ不備デハナイデアアル、法律ノ不備、會計法ノ不備ナル所カラ以テ、斯ル誤謬ヲ來スノハ敢テ政府ノミヲ咎ムルコトハ出來ヌノデアルト云フテ、吾々ガ從來取リ來ッタ方針ニ同意セラレテ、之ヲ明ニセラレタナラバ私共ハ尙更満足ニ思フノデアリマス、然ルニ事茲ニ出デズシテ、如何ニモ曖昧極タ所ノ何ヲ以テ通過サセルト云フコトハ、實ニ遺憾ニ思フノデアリマス、就キマシテハ私ハ別ニ言フノデアアリマスガ、ドウカ此問題ト云フモノハ、イツモイツモ斯ル爭論ノ熾點ト爲スコトノナイヤウニ、本議會ハ間モゴザイマセヌシ、病中デ出シマセヌデアリマシタデ、次ノ議會ニ於テハ會計法ノ改正案ヲ出ス積デアリマスカラ、ドウカ今日大多數デ之ヲ通過サレタナラバ、通過サレタコトヲ御忘レニナラヌヤウニシテ、次ノ議會ニ於テ私ノ案ヲ可決セラレンコトヲ希望致シマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) マダ通告ガアリマスルケレドモ、討論終局ガ問題ト爲リマシタ以上ハ、決議ヲ採リマスル、討論終局ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、討論ハ終局ト爲リマシタ、第四ノ日程、明治二十七年年度國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出ノ件、決議ヲ採リマス右ニ承諾ヲ與フルコトニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數ト認メマスル、因テ承諾ヲ與フベキモノト決シマスル、次ハ日程ノ第五ニ移リマス、明治二十七年年度特別會計東京大阪兩砲兵工廠豫備費支出ノ件、是ハ報告ハ相濟ミマシタニ依ツテ、直チニ決議ヲ採リマス

第五

明治二十七年年度特別會計東京大阪兩砲兵工廠豫備費支出ノ件(政府提出承諾ヲ求ムル件)

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 御動議ガナイト認メマスルニ依ツテ、承諾ヲ與フルコトニ決シマス、次ハ第六、明治二十七年年度特別會計豫算超過及豫算外支出ノ件

第六

明治二十七年年度各特別會計豫算超過及豫算外支出ノ件(政府提出承諾ヲ求ムル件)

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 是亦御動議ナキヲ以テ、是亦承諾ヲ與フルコトニ決シマス 諸君、時間モ過ギマシタガ、マダ餘程議案モ多イ故ニ、少シク辛抱

ヲ請ヒマス、次ハ日程ノ第七ニ進ミマス、清國及朝鮮國在留日本人取締法案

第七 清國及朝鮮國在留日本人取締法案

第一讀會ノ續

(政府委員外務次官原敬君演壇ニ登ル)

○政府委員(原敬君) 清國及朝鮮國在留日本人取締法案ト云フ、唯今議題ニ爲テ居リマス事ニ就イテ一言申シマス、此法ニ就キマシテハ、政府モ多少改正スル見込ヲ以テ居リマス事ノデス、故ニ今日改メラレタ此案ノ成立スルコトニ於テハ、無論大體ニ於テ不同意ハゴザイマセヌ併ナガラ此提出案ノ儘デハ、御同意ハ出來兼ネマス事ノデス、其重ナル點ハ、第三條、第四條、第五條ニ在ルノデス、之ヲ第三條ニ依ッテ見マスルト、在留禁止ノ命令ヲ受ケタル者ニシテ不服ナルトキハ、三日以内ニ駐劄ノ公使ニ取消ヲ請求スルコトニ爲ッテ、其取消ノ請求アツタトキニハ、執行ヲ停止スルト云フ原案ニ爲ッテ居リマスガ、是ハ實際ニ於テハ甚ダ不都合ヲ感ジマスル、ナゼト云フニ、朝鮮デ申セバ京城、或ハ支那デアレバ天津ト申ス如キ土地ハ、三日以内ニ取消ヲ請求シ、其間命令ヲ停止シテ居ッテモ、ソレハ往キマスルガ、假ニ是ガ元山デ起ツタ事トスル時ハ、隨分長イ日數ヲ要スルデアラウ、又支那ニ於テハ上海ニ起ツタトカ、若クハ東京ニ起ツタトカ、斯様ナ場合デアレバ、殆ド命令ヲ爲シタ後、上告シタ者ガアツタトキハ、二箇月以上其儘ニ在留セシメラル、ト云フコトニ爲ルト、是ハ如何ニモ其點ニ於テ不都合ト感ジマスルカラ、斯様ナル所ニ修正ガナケレバ、政府ハ御同意ガ出來ヌノデアアル、而シテ第三條ハ唯今申シタヤウナ理由デアツテ、第四條モ殆ド之ニ附帶スル簡條デアリマスカラ、多少ノ修正ガアリ、而シテ第五條モ其結果トシテ削除ニ爲ルコトデアレバ、政府ハ此案ヲ通過スルコトニ就イデハ、悅デ御同意ヲ致スコトデゴザイマス、又終ニ臨ンデ一言シテ置キマスガ、此表題デゴザイマス、表題ハ「清國及朝鮮國在留日本人取締」トアリマスガ、明治十六年、若クハ十八年ノ頃ニ在ッタ法律ノ名前ヲ、其儘用ヒラレテ居ルト思ヒマスルケレドモ、其時分デハ成ル程日本人取締ト云フ名稱モ用ヒラレタデアリマセウガ、今日ニ爲ッテハ、ドウモ日本帝國ノ法律トシテ、日本人取締ト云フノハ、如何ニモ不當ニ考ヘマスルカラ、之ヲ改メラレテ、帝國臣民ト云フヤウナ文字ニ換ヘラレル方ガ適當デアラウカト考ヘル、是ハサマデ法律其物ニハ重大ノ關係ハ持チマセヌケレドモ、序ニ此事ヲ表白シテ置キマス

○小室重弘君(八十八番) 昨日修正案ヲ出シテ置キマシタカラ

○議長(楠本正隆君) 二讀會ノ時ニ……

○小室重弘君(八十八番) 是ハ讀會ヲ省略シテ、ヤツテ戴キタウゴザイマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 小室重弘君ヨリ讀會省略ノ意見ガ出デ居リマス、是ハ御異議ナシト認メマスル、即チ讀會ヲ省略シマスル、就イデハ小室重弘君ノ

修正說ヲ朗讀致シマス

清國及朝鮮國在留日本人取締法案

(町田書記官朗讀)

確定議

表題中日本人トアルヲ帝國臣民ト改ム

第一條 「日本人」ヲ「帝國臣民」ト改メ「風俗ヲ壞亂セムトスルニ至ルヘキ者」ト認定スル「ノ」以下十字ヲ削リ「者」アルトキハ「ト」改ム

第三條 三日以内ニ領事ヲ經テ「下」外務大臣若クハ「七」字ヲ加ヘ此以下總テ削ル

第四條 帝國公使ノ上ニ「ト」キハ外務大臣若クハ駐劄「十二」字ヲ加フ

第五條 全ク削ル

第九條 「十一」日以上一箇年以内「ノ」年「ハ」月「ノ」誤「箇」ハ衍「内」ハ「下」ノ誤

修正者 小室 重弘

○小室重弘君(八十八番) 是ハ唯今外務次官ノ御演說ニ爲リマシタ通デアリマシテ、是ナレバ政府ハ御承諾ニ爲ルコト、思ヒマス、即チ此通ニ直チニ確定セラレンコトヲ希望致シマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 表題ヲ始メ第一條、第二條、第三條、第四條、第五條ハ削除、及第九條、是ニ就イテ小室重弘君ノ修正說ヲ一括シテ決議ヲ採リマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 小室君ノ修正說ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、御動議ナクバ其他ハ原案ニ決シテ總テ該案ノ確定ヲ報ジマス

○深山聳曙君(二百三十番) 本員ハ此本日ノ議事日程第二十二及二十三ヲ日程第八、第九ト入換ヘタイ、以下順ニ繰下ゲヲ致シタイ、其譯ハ二十二、二十三ノ兩案ハ、是非此本會期中切迫ニモ拘ラズ、此會期中ニ本案ノ成立ヲ求ムル、其成立ヲ望ム所ハ言フマデモアリマセヌケレドモ、私共ノ考ヘルニハ是非此二案ハ成立ヲ實ハ希望致シマスル故ニ、今日此二案ハ共ニ本院ノ通過ヲ經テ、速ニ貴族院ニ送付シ、貴族院ニ於テモ亦通過ヲ得テ、此會期中ニ成立アラソコトヲ欲スルガタメニ、此日程ノ變更ヲ求メマスル譯デゴザイマス

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 第二十二、第二十三ヲ第七ノ次ニ繰上ゲテ、議事日程ノ變更ヲ求ムルト云フ深山君ノ動議ガゴザイマス

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 深山君ノ動議ニハ御異議ナシト認メマス、即チ議事日程ハ變更致サレマシタ、家祿ノ件ニ關スル法律案

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 小室重弘君ヨリ讀會省略ノ意見ガ出デ居リマス、是ハ御異議ナシト認メマスル、即チ讀會ヲ省略シマスル、就イデハ小室重弘君ノ

(贊成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 深山君ノ動議ニハ御異議ナシト認メマス、即チ議事日程ハ變更致サレマシタ、家祿ノ件ニ關スル法律案

第八 家祿賞典祿處分法案 第一讀會ノ續(特別委員)

議長(楠本正隆君) 小鷹狩元凱君
(小鷹狩元凱君演壇ニ登ル)
(「簡單ニヤルベシ」ト呼フ者アリ)

○小鷹狩元凱君(二百六十三番) 極簡單ニ致シマス、此家祿賞典祿處分法案ノ委員長ハ多田作兵衛君デゴザイマスガ、私ニ代理セヨト云フコトデゴザイマスカラ、一寸委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ此法案ニ對シマシテハ、全會一致ヲ以チマシテ贊成ニ爲ッタ譯デゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 小鷹狩君、定足數ヲ缺キマシタカラ停止ヲ致シマス、明日ノ議事日程ハ餘程多數ニアリマスカラ、書式ヲ以テ今夕中ニ御通知ヲ致シマス、茲ニ散會ヲ報シマス

(左ノ日程ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

議事日程 第四十六號 明治二十九年三月二十五日(水曜日)

午後一時開議

第一 地方學事通則中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第二 貴族院送付) 地方稅經濟ニ於テ臨時土木費ノ爲ニ起債及地租制 第一讀會

第三 限外賦課ノ件法律案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第五 重要輸出品同業組合法案(政府提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第七 北海道鐵道敷設法案(貴族院提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第八 家祿賞典祿處分法案 第一讀會ノ續(特別委員)

第九 明治二十七年法律第二十號中改正法律 第一讀會ノ續(特別委員)

第十 帝國圖書館設立ノ建議案(鈴木充美君外三名提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十一 棉作改良獎勵費豫算案ニ關スル建議案(喜多川孝經君外二名提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十二 牛痘苗製造業者處分ニ關スル建議案(脇坂行三君外三名提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十三 絹織物保護建議案(久保九兵衛君外三名提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十四 水產傳習所官設建議案(改野耕三君外五名提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十五 測候所増設ニ關スル建議案(濱田儀一郎君外二名提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十六 天氣豫報暴風警報ヲ全國ニ普及スル建議案(多田作兵衛君外三名提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十七 高等學校ヲ獨立セシムルノ建議案(波多野傳三郎君外五名提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十八 義勇兵團設置建議案(直原守次郎君外一名提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十八 別格官幣社ヲ臺灣ニ建設スルノ建議案(北原信綱君外二名提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十九 水火消防組ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(特別委員)

第二十 山形縣下郡界變更法律案 第一讀會ノ續(特別委員)

第二十一 日光神社殿修繕ニ關スル請願 第一讀會ノ續(特別委員)

第二十二 大和國古社寺保存ニ關スル請願 第一讀會ノ續(特別委員)

第二十三 鐵道敷設上本位軌道採用ニ關スル建議案 第一讀會ノ續(特別委員)

第二十四 廣軌鐵道ニ關スル建議案 第一讀會ノ續(特別委員)

第二十五 明治二十二年法律第十號改正法律案(片岡健吉君外八名提出) 第一讀會

第二十六 港灣調査ノ建議案(目黒貞治君外四名提出) 第一讀會

第二十七 炭量調査所設置ニ關スル建議案(藤金作君提出) 第一讀會

第二十八 裁判所管轄ニ關スル法律案(山田泰造君外一名提出) 第一讀會

第二十九 保安條例廢止法律案(西村眞太郎君外二名提出) 第一讀會

第三十 開港法案 第一讀會ノ續(特別委員)

第三十一 府縣農事試驗場國庫補助法案 第一讀會ノ續(特別委員)

第三十二 府縣制改正法律案 第一讀會ノ續(特別委員)

第三十三 大分縣豐後國佐賀關海峽ニ燈臺及浮標設置ニ關スル建議案(毛利莫君外二名提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第三十四 國勢調査執行建議案(江原素六君外三名提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第三十五 水會振斐兩川間閘門設立ニ關スル請願 第一讀會ノ續(特別委員)

午後六時二十一分散會

衆議院議事速記第四十四號正誤

頁	段	行	誤	正	頁	段	行	誤	正
七四四	下	一〇	丙癸	丙己	七五〇	上	一〇	調製	強制
七四四	下	一〇	丙癸	丙己	七五〇	上	一二	調製	強制
七四四	下	二六	癸ノ癸	己ノ己					

